

江別市
障がい福祉計画等策定に関する
アンケート調査
集計結果報告書

令和3（2021）年3月
江別市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の概要.....	3
2. 調査結果項目.....	4
3. 調査結果を見る上での注意事項.....	4
第2章 障がい者調査結果の詳細	5
1. 調査票記入者.....	7
2. 本人のことについて.....	7
(1) 本人の年齢.....	7
(2) 本人の性別.....	8
(3) 本人が所持する手帳や障がい.....	8
(4) 障がいの部位.....	10
3. 一緒に生活している方について.....	11
(1) 同居者.....	11
(2) 世帯で主に生計を立てている方.....	12
(3) 主な収入.....	13
4. 本人の暮らしについて.....	14
(1) 現在どのように暮らしているか.....	14
(2) 今後3年以内に地域で生活したいか.....	15
5. 介護や支援の状況について.....	16
(1) 主な介護者や支援者.....	16
(2) 支援してくれる家族の年齢、健康状態.....	17
6. 障がい者手帳や自立支援医療受給者証（精神通院）の交付を受けたときのことについて.....	18
(1) 手帳や受給者証の交付を受けたときに、説明してほしかったこと.....	18
7. 福祉に関するサービスについて.....	19
(1) 障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用状況、評価、今後の利用意向.....	19
(2) どのようなことがあれば「満足」またはサービスを利用しようと思うか.....	22
(3) 介護保険によるサービスを利用しているか.....	23
(4) 要介護度.....	23
8. 外出の状況について.....	24
(1) 外出する頻度.....	24
(2) 外出する主な目的.....	25
(3) 外出時の主な交通手段.....	26
(4) 誰と外出するか.....	27
(5) 外出しやすくなるために必要と思うこと.....	28
(6) 市内で利用しづらい場所.....	29
(7) 普段どれくらいスポーツをしているか.....	30

9. 社会参加の状況について	31
(1) 家族以外とどのような交流があるか	31
(2) 障がい者が社会参加するときに必要だと思うこと	32
(3) 参加している社会活動と今後参加してみたい活動	33
10. 就労について	35
(1) 現在働いているか	35
(2) 仕事に就くきっかけ	37
(3) 現在の仕事の悩みや不満	38
(4) 今後どのように働きたいか	39
(5) 障がい者が働くために必要なこと、どのようなことがあれば働けると思うか	40
11. 人権・権利擁護について	41
(1) 差別や嫌な思いをした経験	41
(2) 差別や嫌な思いをした内容と場所	42
(3) 成年後見制度の認知度	43
(4) 成年後見制度の利用意向	43
(5) 成年後見制度を利用しない理由	44
(6) 成年後見人ができると思う内容	45
(7) 将来において不安に思っていること	46
(8) 江別市成年後見支援センターの認知度	47
(9) 成年後見制度に関する相談機関	48
12. 安全対策について	49
(1) 避難行動要支援者避難支援制度の認知度	49
(2) 災害時に困ること	50
13. 障がい福祉に関する情報について	51
(1) 障がい福祉に関する情報の入手手段	51
(2) 障がい福祉の情報について必要とする内容	52
14. 相談したいことや相談方法について	53
(1) 困ったことや疑問に思うことの相談先	53
(2) 相談したい内容	54
(3) 望ましいと思う「相談場所・体制」	55
15. 江別における障がい者の生活について	56
(1) 江別のまちの暮らしやすさ	56
(2) 江別のまちが暮らしにくいと思う理由	57
16. 地域生活支援拠点について	58
(1) 江別市に地域生活支援拠点ができた場合に期待する機能	58
17. 障がい福祉施策について	59
(1) 江別市の取り組みへの満足度、江別市の取り組みの重要度	59
18. 自由記載	65

第3章 障がい児調査結果の詳細	69
1. 調査票記入者.....	71
2. 子どものことについて.....	71
(1) 子どもの年齢.....	71
(2) 子どもの性別.....	72
(3) 子どもが所持する手帳や発達の不安.....	72
(4) 主な障がいの部位.....	75
(5) 子どもの日常的な医療的ケアの状況.....	76
(6) 子どもが現在受けている医療的ケアの種類.....	76
(7) 子どもの発達の不安や障がいに気付いたきっかけ・年齢.....	77
(8) 発達の不安や障がいに気付いたときの相談先.....	79
(9) 発達の不安や障がいに気付いたときに、説明してほしかったこと.....	80
3. 子どもの暮らしについて.....	81
(1) 現在、子どもが主に暮らしているところ.....	81
(2) 子どもとの同居者.....	81
(3) 子どもの両親の就労状況.....	82
4. 保育や教育について.....	84
(1) 子どもが平日の昼間、主に過ごす場所.....	84
(2) 子どもの高等学校期に希望する進路.....	85
(3) 子どもの学校等の卒業後に希望する進路.....	86
(4) 保育や教育のことで希望することや充実させるべき点.....	87
(5) 下校後や長期休暇時などの子どもの過ごし方.....	88
(6) 子どもが受けている療育や支援で、さらに充実させるべき点.....	89
5. 介護や支援の状況について.....	91
(1) 子どもの介護や支援をしている方.....	91
(2) 介護や支援をしている主な方.....	92
(3) 子どもや同居する家族のことで悩んだり困っていること.....	93
(4) 困ったことや疑問に思うことの相談先.....	95
(5) 現在の相談体制の満足度.....	97
(6) 相談機能を充実させるために必要なこと.....	98
6. 福祉に関するサービスについて.....	99
(1) 障害福祉サービスの利用状況と利用意向.....	99
(2) 福祉に関するサービスを利用するときに困ったこと.....	100
(3) 福祉に関するサービスで、今後、力を入れてほしいこと.....	101
7. 福祉に関する情報について.....	102
(1) 障がい福祉に関する情報の入手手段.....	102
(2) 障がい福祉の情報について必要とする内容.....	103
(3) 情報入手手段の満足度.....	104
(4) 情報入手手段で不満に思うこと.....	104

8. 地域活動や外出の状況について	105
(1) 子どもの地域での活動参加状況	105
(2) 地域活動に参加する場合、困ること	106
(3) 地域活動や外出に関する支援やサービスの満足度	107
(4) 子どもと一緒に外出しやすくなるために必要と思うこと	108
9. 差別解消について	109
(1) 障害者差別解消法の認知度	109
(2) 差別を受けたり、嫌な思いをした経験	109
(3) 差別を受けたり、嫌な思いをしたりした場所（場面）	110
(4) 差別を受けたり、嫌な思いをした内容	111
10. 将来について	112
(1) 子どもに望む将来の暮らし方	112
(2) 子どもに将来就いてほしい仕事	113
(3) 卒業後の日常生活等のために学齢期に必要な支援	114
11. 江別における子どもの生活について	115
(1) 江別のまちの暮らしやすさ	115
(2) 江別のまちが暮らしにくいと思う理由	116
12. 障がい福祉施策について	117
(1) 江別市が今後、力を入れるべきこと	117
13. 地域生活支援拠点について	118
(1) 江別に地域生活支援拠点ができただけに期待する機能	118
14. 自由記載	119
第4章 調査票	125

第1章 調査の概要

1. 調査実施の概要

(1) 調査目的

「障がい者支援・えべつ21プラン」が令和2年度で終了となることから、次期計画を策定する基礎資料とすることを目的に調査を実施しました。

(2) 調査対象者

- 18歳以上：障がい者等を無作為抽出
- 18歳以下：障がい児または通所受給者証所持者の保護者

(3) 調査対象者の考え方

身体障がい者（児）	「身体障害者手帳」所持者
知的障がい者（児）	「療育手帳」所持者
精神障がい者（児）	「精神障害者保健福祉手帳」または「自立支援医療受給者証」所持者
難病患者（児）	難病患者のうち、上記手帳の未所持者かつ「障害福祉サービス受給者証」または「通所受給者証」所持者
通所受給者	上記以外の児童のうち、「通所受給者証」所持者

(4) 調査方法

- 無記名によるアンケート方式
- 郵送による配布・回収

(5) 調査期間

- 送付：令和2（2020）年9月7日（月）
- 締切：令和2（2020）年9月18日（金）

(6) 配布・回収結果

区分	発送数	回収数	回収率
身体障がい者	1,447件	944件	65.2%
知的障がい者	800件	517件	64.6%
精神障がい者	950件	536件	56.4%
難病患者	3件	1件	33.3%
障がい児等	885件	532件	60.1%
合計	4,085件	2,530件	61.9%

2. 調査結果項目

障がい者

- 本人のことについて
- 一緒に生活している方について
- 本人の暮らしについて
- 介護や支援の状況について
- 障がい者手帳や自立支援医療受給者証（精神通院）の交付を受けたときのことについて
- 福祉に関するサービスについて
- 外出の状況について
- 社会参加の状況について
- 就労について
- 人権・権利擁護について
- 安全対策について
- 障がい福祉に関する情報について
- 相談したいことや相談方法について
- 江別における障がい者の生活について
- 地域生活支援拠点について
- 障がい福祉施策について

障がい児

- 子どものことについて
- 子どもの暮らしについて
- 保育や教育について
- 介護や支援の状況について
- 福祉に関するサービスについて
- 福祉に関する情報について
- 地域活動や外出の状況について
- 差別解消について
- 将来について
- 江別における子どもの生活について
- 障がい福祉施策について
- 地域生活支援拠点について

3. 調査結果を見る上での注意事項

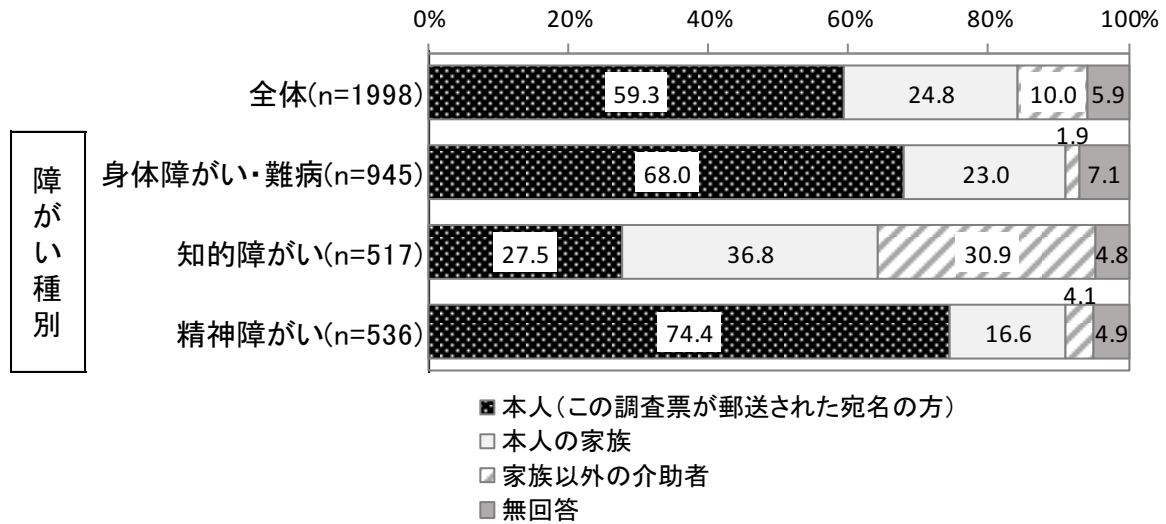
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

第2章 障がい者調査結果の詳細

1. 調査票記入者

◎この調査票を記入した方は、どなたですか。(あてはまる番号1つに○)

調査票記入者については、全体では「本人」が59.3%と最も高く、次いで「本人の家族」が24.8%、「家族以外の介助者」が10.0%となっています。



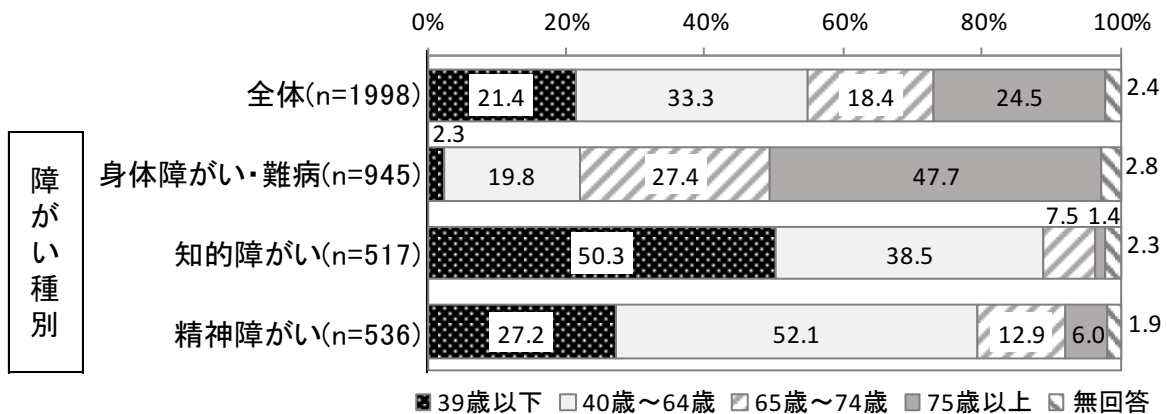
2. 本人のことについて

(1) 本人の年齢

問1(1) あなた(本人)の年齢をご記入ください。

本人の年齢については、全体では「40歳～64歳」が33.3%と最も高く、次いで「75歳以上」が24.5%、「39歳以下」が21.4%となっています。

全体と比較すると、身体障がい・難病(以下「身体・難病」)では「75歳以上」が47.7%と高くなっています。知的障がい(以下「知的」)では「39歳以下」が50.3%、精神障がい(以下「精神」)では「40歳～64歳」が52.1%と高くなっています。

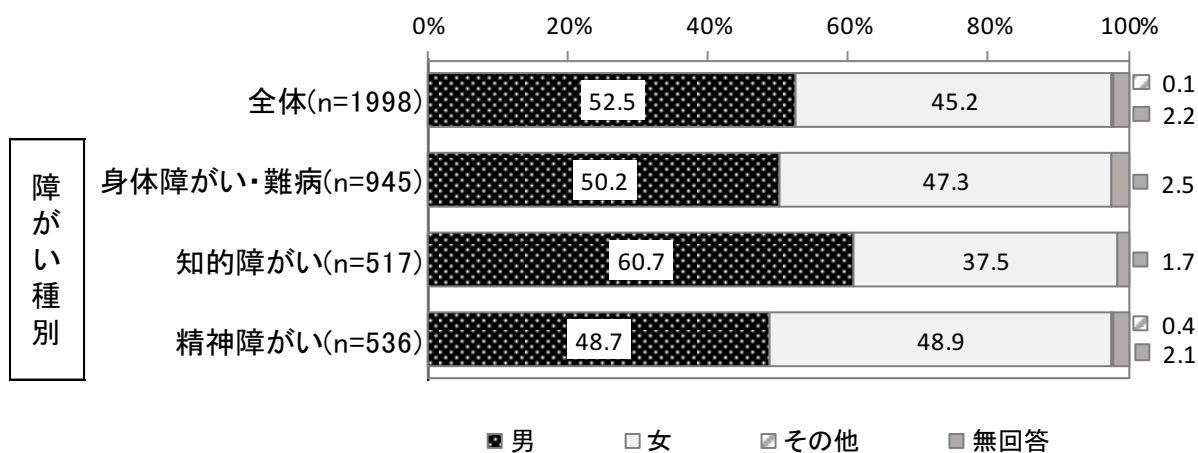


(2) 本人の性別

問1 (2) あなた(本人)の性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○) ※注

※注: 戸籍上の区分にこだわらず、選択肢から1つ選んでご記入ください。

本人の性別については、全体では「男」が52.5%、「女」が45.2%となっています。

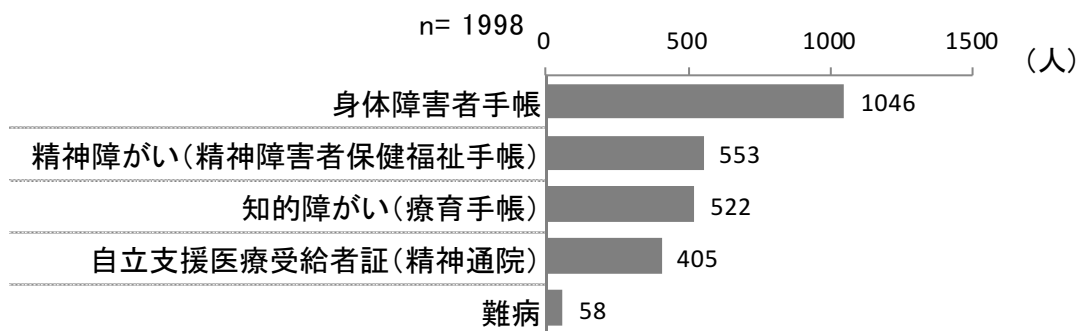


(3) 本人が所持する手帳や障がい

問1 (3) あなた(本人)がお持ちの手帳や障がいについて教えてください。

(あてはまる番号すべてに○)

本人が所持する手帳や障がいについては、「身体障害者手帳」が1,046人(52.4%)と最も多く、次いで「精神障がい(精神障害者保健福祉手帳)」が553人(27.7%)、「知的障がい(療育手帳)」が522人(26.1%)となっています。

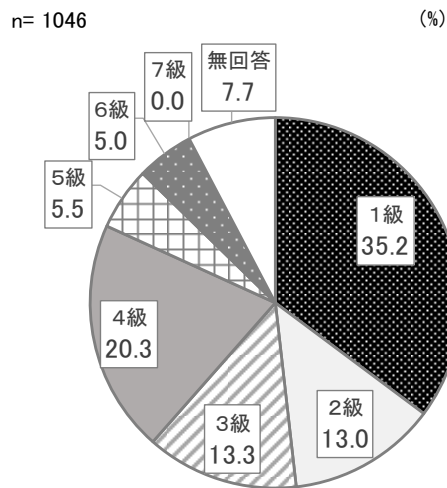


■ 「難病」の主な内容

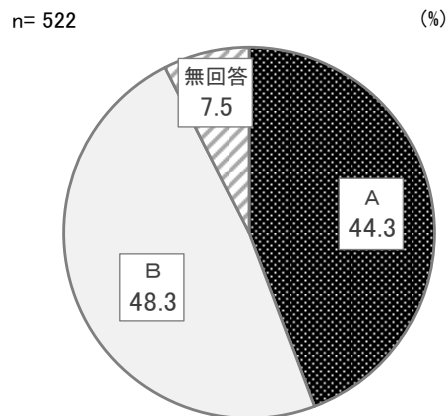
多系統萎縮症/パーキンソン病/大脳皮質基底核変性症/クローン病/脊髄小脳変性症/筋萎縮性側索硬化症/ウィリアムズ症候群/ミトコンドリア病 等

【所持している手帳の種類】

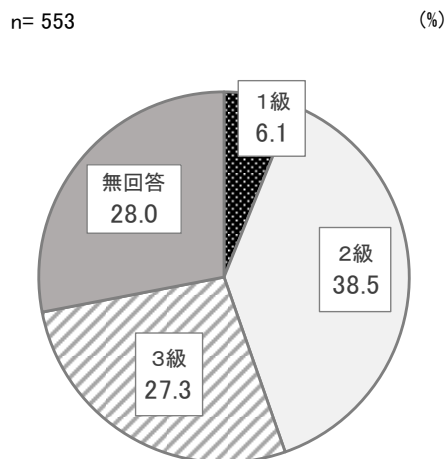
◎身体障害者手帳の等級



◎療育手帳の等級



◎精神障害者保健福祉手帳の等級

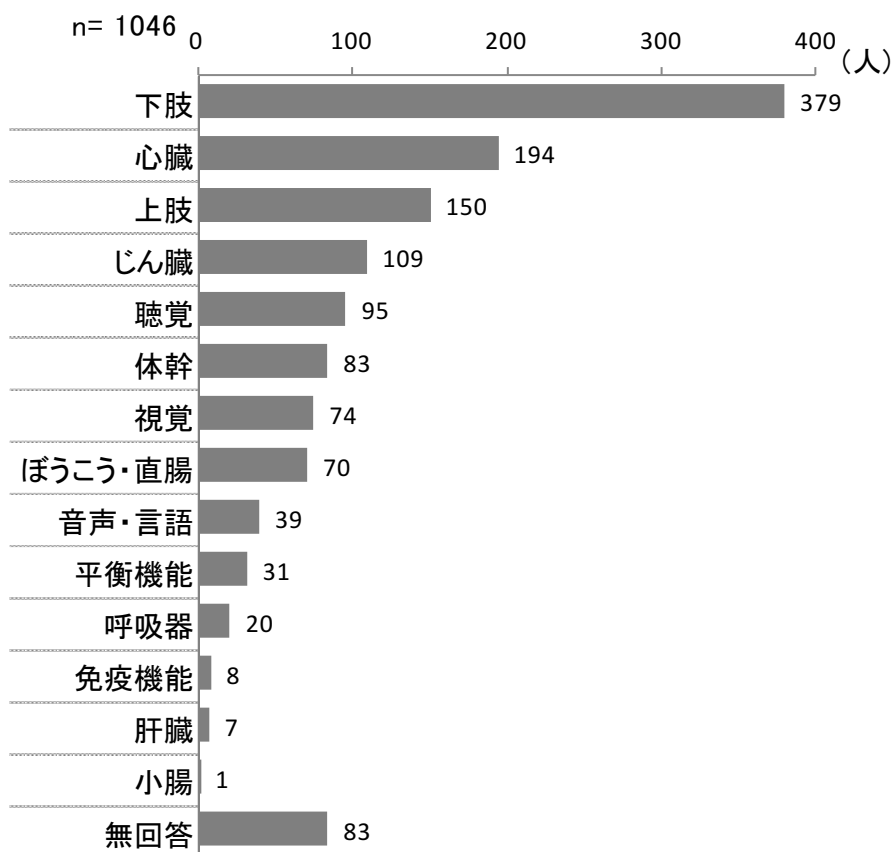


(4) 障がいの部位

【問1(3)で「身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。】

問1(4) 認定を受けた障がいを教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

障がいの部位については、「下肢」が379人(36.2%)と最も多く、次いで「心臓」が194人(18.5%)、「上肢」が150人(14.3%)となっています。



3. 一緒に生活している方について

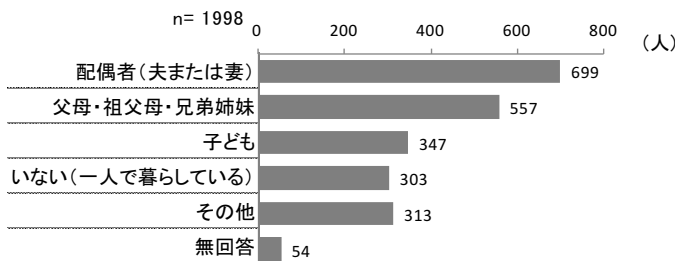
(1) 同居者

問2 (1) あなたと一緒に生活している方は、どなたですか。
(あてはまる番号すべてに○)

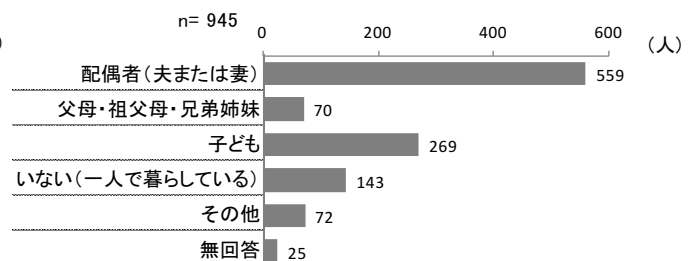
同居者については、全体では「配偶者(夫または妻)」が699人(35.0%)と最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」が557人(27.9%)、「子ども」が347人(17.4%)となっています。

身体・難病では「配偶者(夫または妻)」が559人(59.2%)と多くなっています。知的と精神では「父母・祖父母・兄弟姉妹」がそれぞれ254人(49.1%)、233人(43.5%)と多くなっています。

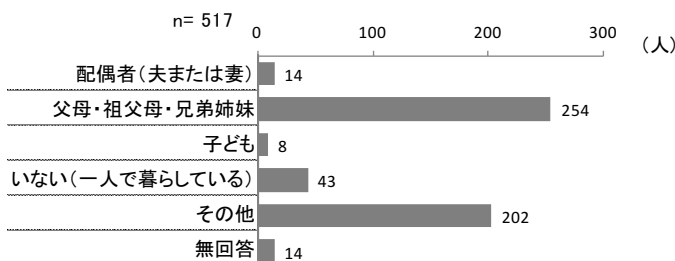
◎全体



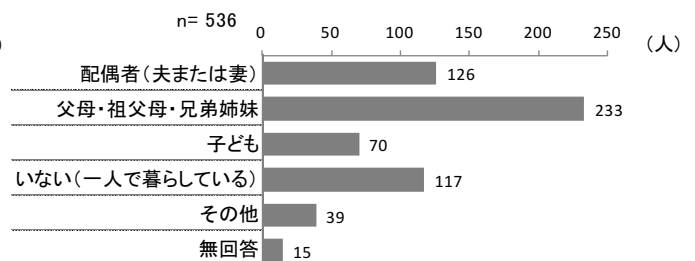
◎身体障がい・難病



◎知的障がい



◎精神障がい



■「その他」の主な内容

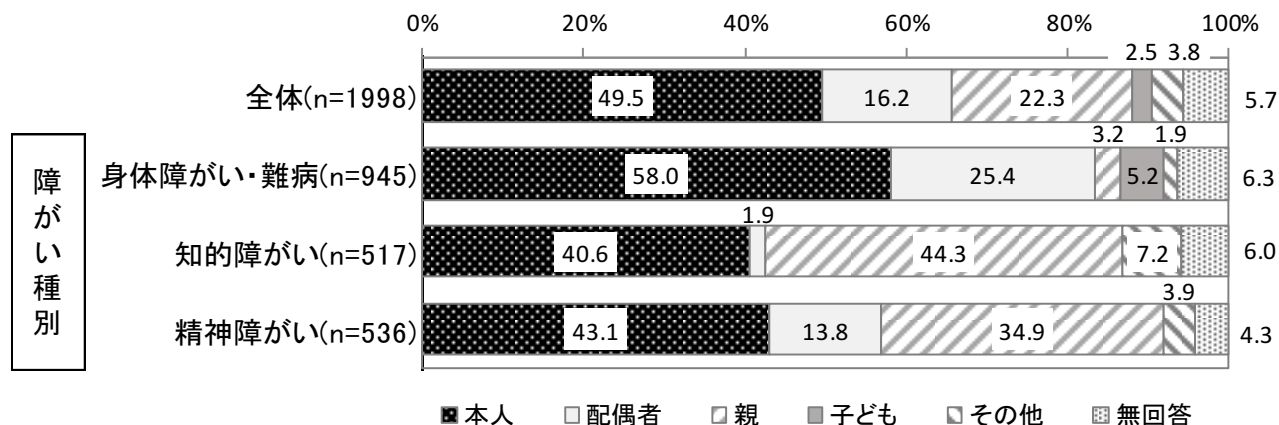
グループホーム・施設入所等で生活／入院中／孫／友人／おじ・おば・おい 等

(2) 世帯で主に生計を立てている方

問2 (2) あなたの世帯で主に生計を立てている方は、どなたですか。
(あてはまる番号1つに○)

世帯で主に生計を立てている方については、全体では「本人」が49.5%と最も高く、次いで「親」が22.3%、「配偶者」が16.2%となっています。

全体と比較すると、身体・難病では「本人」が58.0%と高くなっています。知的と精神では「親」がそれぞれ44.3%、34.9%と高くなっています。



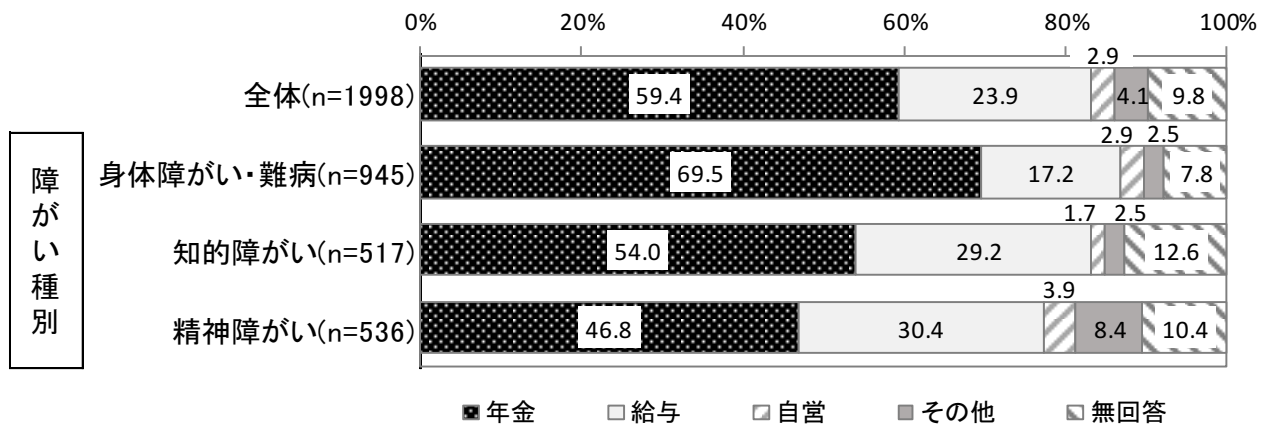
■「その他」の主な内容

兄弟／姉妹／祖父母 等

(3) 主な収入

問2 (3) (2) 主に生計を立てている方の主な収入は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

主な収入については、全体では「年金」が59.4%と最も高く、次いで「給与」が23.9%となっています。全体と比較すると、身体・難病では「年金」が69.5%と高くなっています。



■「その他」の主な内容

生活保護／退職金／預貯金・貯蓄／傷病手当／労災 等

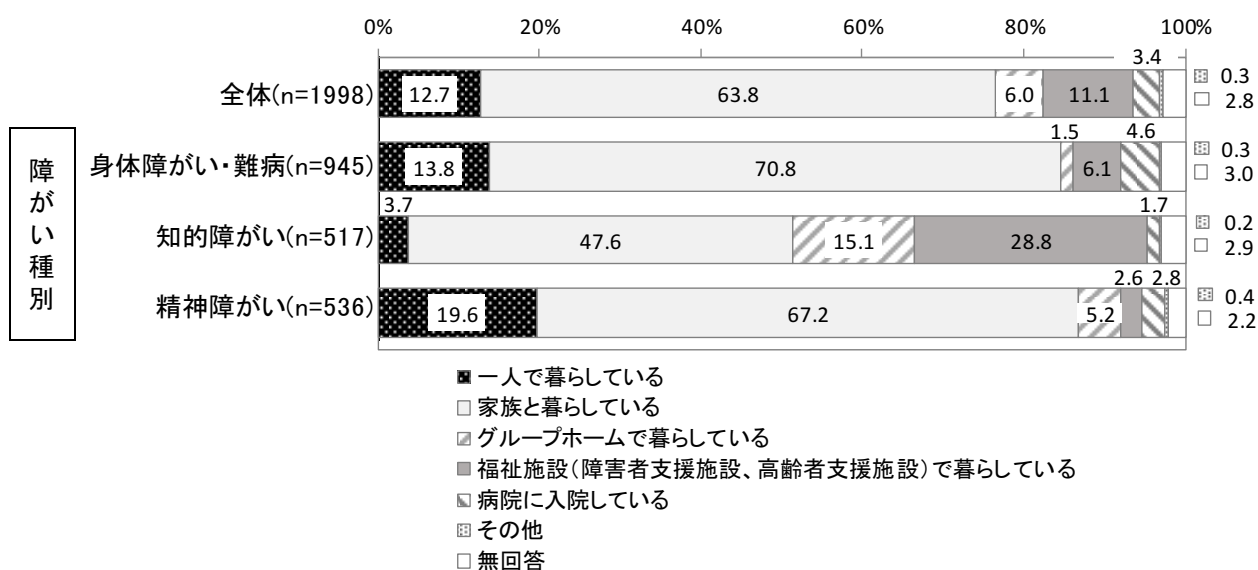
4. 本人の暮らしについて

(1) 現在どのように暮らしているか

問3 (1) あなたは現在どのように暮らしていますか。(あてはまる番号1つに○)

現在どのように暮らしているかについては、全体では「家族と暮らしている」が63.8%と最も高く、次いで「一人で暮らしている」が12.7%、「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」が11.1%となっています。

全体と比較すると、知的では「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」が28.8%と高くなっています。



■「その他」の主な内容

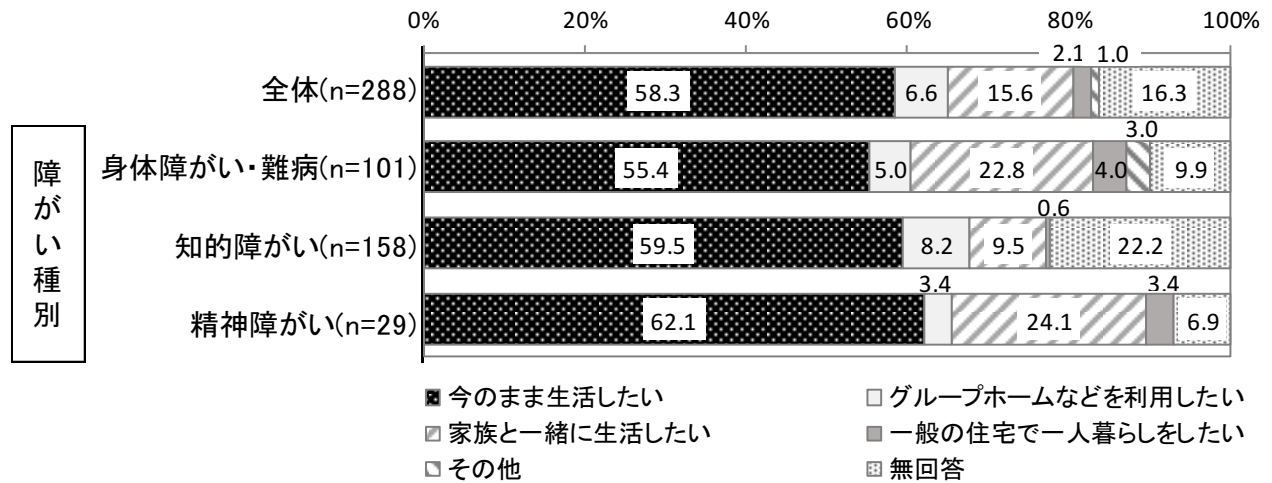
高齢者賃貸住宅／友人 等

(2) 今後3年以内に地域で生活したいか

【問3(1)で「福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている」または「病院に入院している」と回答した方にお聞きします。】

問3(2) あなたは今後3年以内に地域で生活したいですか。(あてはまる番号1つに○)

今後3年以内に地域で生活したいかについては、全体では「今のまま生活したい」が58.3%と最も高く、次いで「家族と一緒に生活したい」が15.6%、「グループホームなどを利用したい」が6.6%となっています。



■「その他」の主な内容

退院の見通しが不明／分からない・考えたことがない／将来自立したい 等

5. 介護や支援の状況について

(1) 主な介護者や支援者

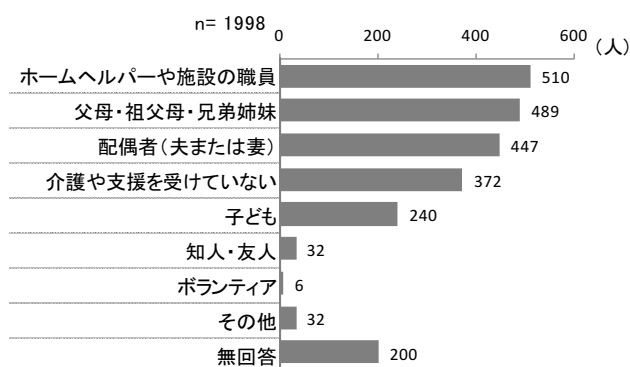
問4 (1) あなたを介護や支援をしている方は、主にどなたですか。
(あてはまる番号3つまで○)

主な介護者や支援者については、全体では「ホームヘルパーや施設の職員」が510人 (25.5%) と最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」が489人 (24.5%)、「配偶者 (夫または妻)」が447人 (22.4%) となっています。

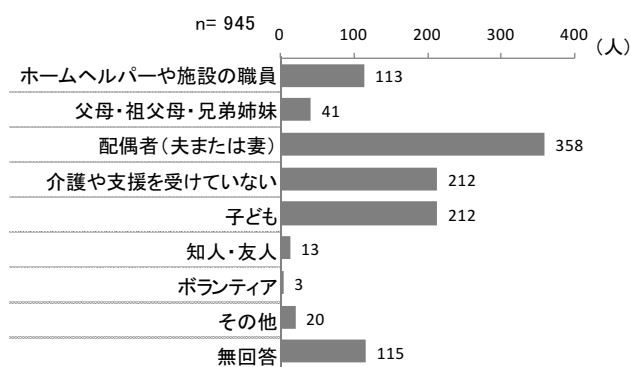
一方、「介護や支援を受けていない」が372人 (18.6%) となっています。

身体・難病では「配偶者 (夫または妻)」が358人 (37.9%) と多くなっています。知的では「ホームヘルパーや施設の職員」が289人 (55.9%)、精神では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が186人 (34.7%) と多くなっています。

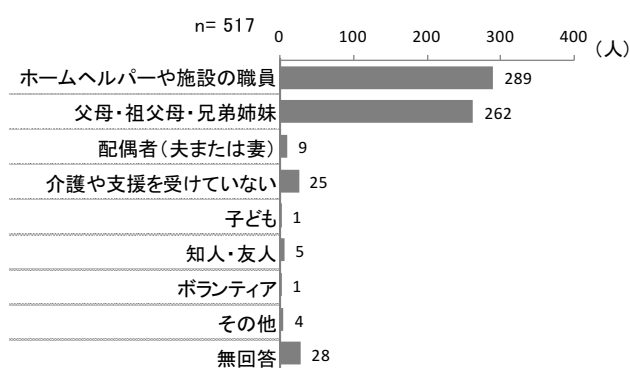
◎全体



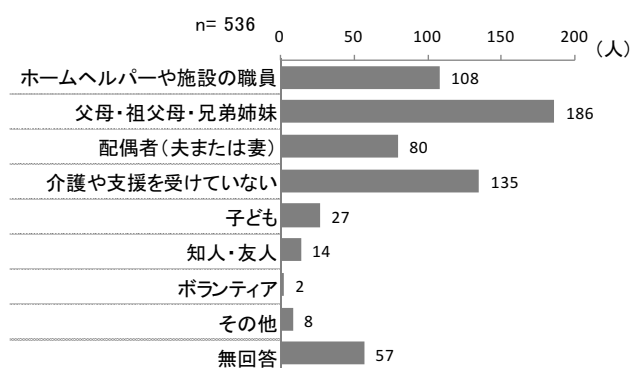
◎身体障がい・難病



◎知的障がい



◎精神障がい



■「その他」の主な内容

入院中／病院職員・看護師／孫／めい／長男の妻・子供の嫁 等

(2) 支援してくれる家族の年齢、健康状態

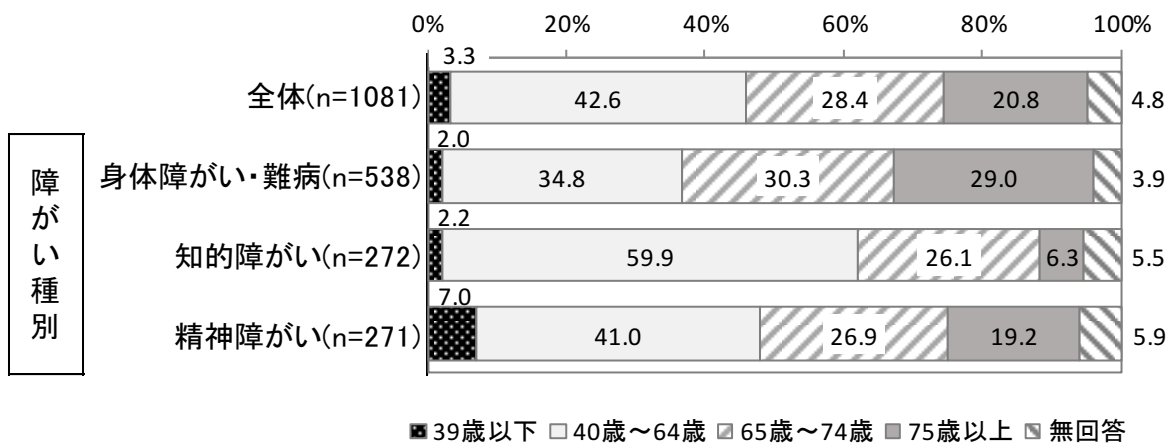
【問4(1)で「父母・祖父母・兄弟姉妹」または「配偶者(夫または妻)」または「子ども」と回答した方にお聞きします。】

問4(2) あなたを支援してくれる家族で、主な方の年齢、健康状態を教えてください。

◎年齢

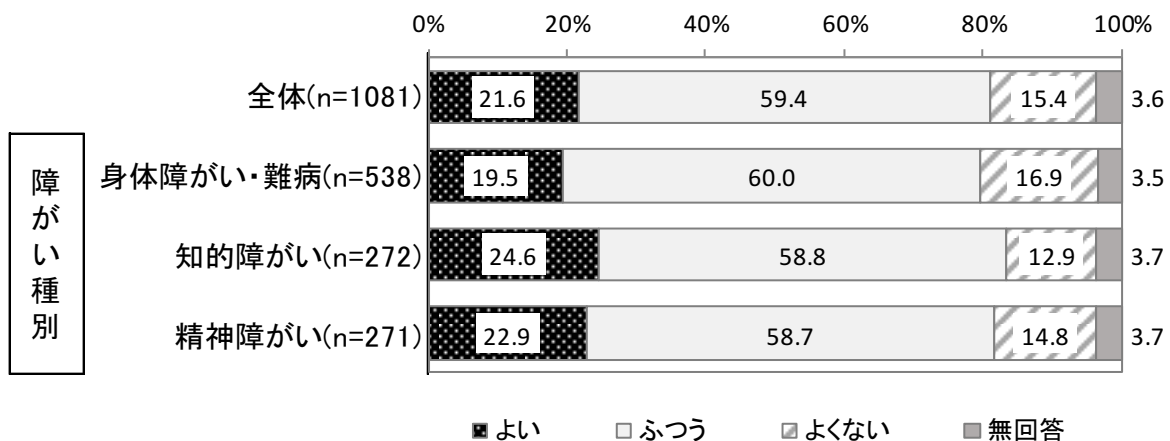
支援をしてくれる家族の年齢について、全体では「40歳～64歳」が42.6%と最も高く、次いで「65歳～74歳」が28.4%、「75歳以上」が20.8%となっています。

全体と比較すると、知的では「40歳～64歳」が59.9%と高くなっています。



◎健康状態

健康状態について、全体では「ふつう」が59.4%と最も高く、次いで「よい」が21.6%、「よくない」が15.4%となっています。

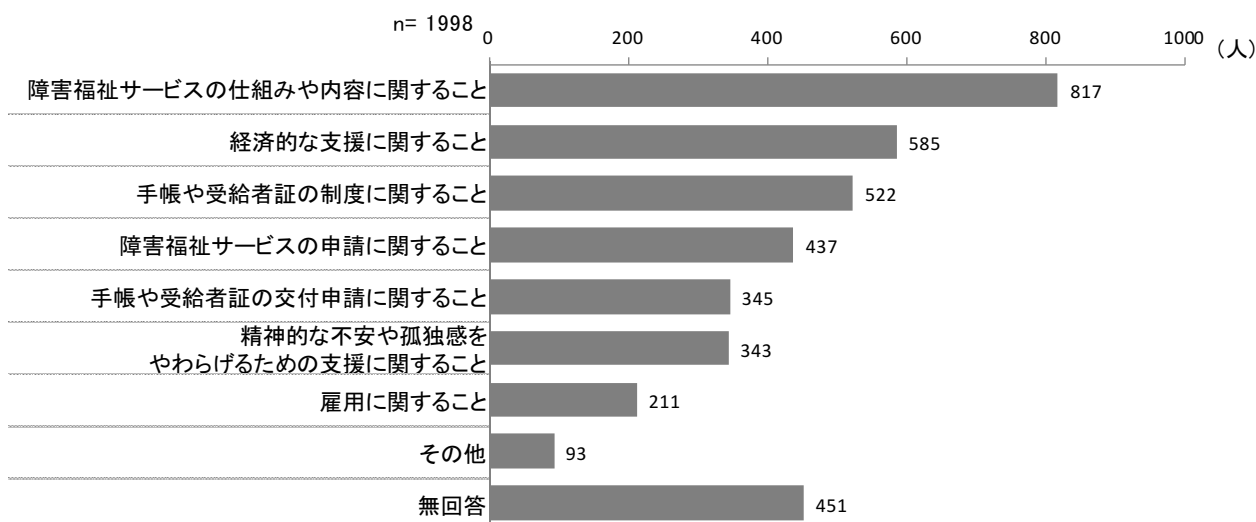


6. 障がい者手帳や自立支援医療受給者証（精神通院）の交付を受けたときのことについて

(1) 手帳や受給者証の交付を受けたときに、説明してほしかったこと

問5 (1) 今から考えて、手帳や受給者証の交付を受けたときに、どのようなことを説明してほしかったですか。(あてはまる番号3つまで○)

手帳や受給者証の交付を受けたときに、説明してほしかったことについては、「障害福祉サービスの仕組みや内容に関すること」が817人（40.9%）と最も多く、次いで「経済的な支援に関すること」が585人（29.3%）、「手帳や受給者証の制度に関すること」が522人（26.1%）となっています。



■ 「その他」の主な内容

事前に調べており必要が無かった／説明は十分受けた／その場で聞いても理解できないことが多く、文書にしてみたい 等

7. 福祉に関するサービスについて

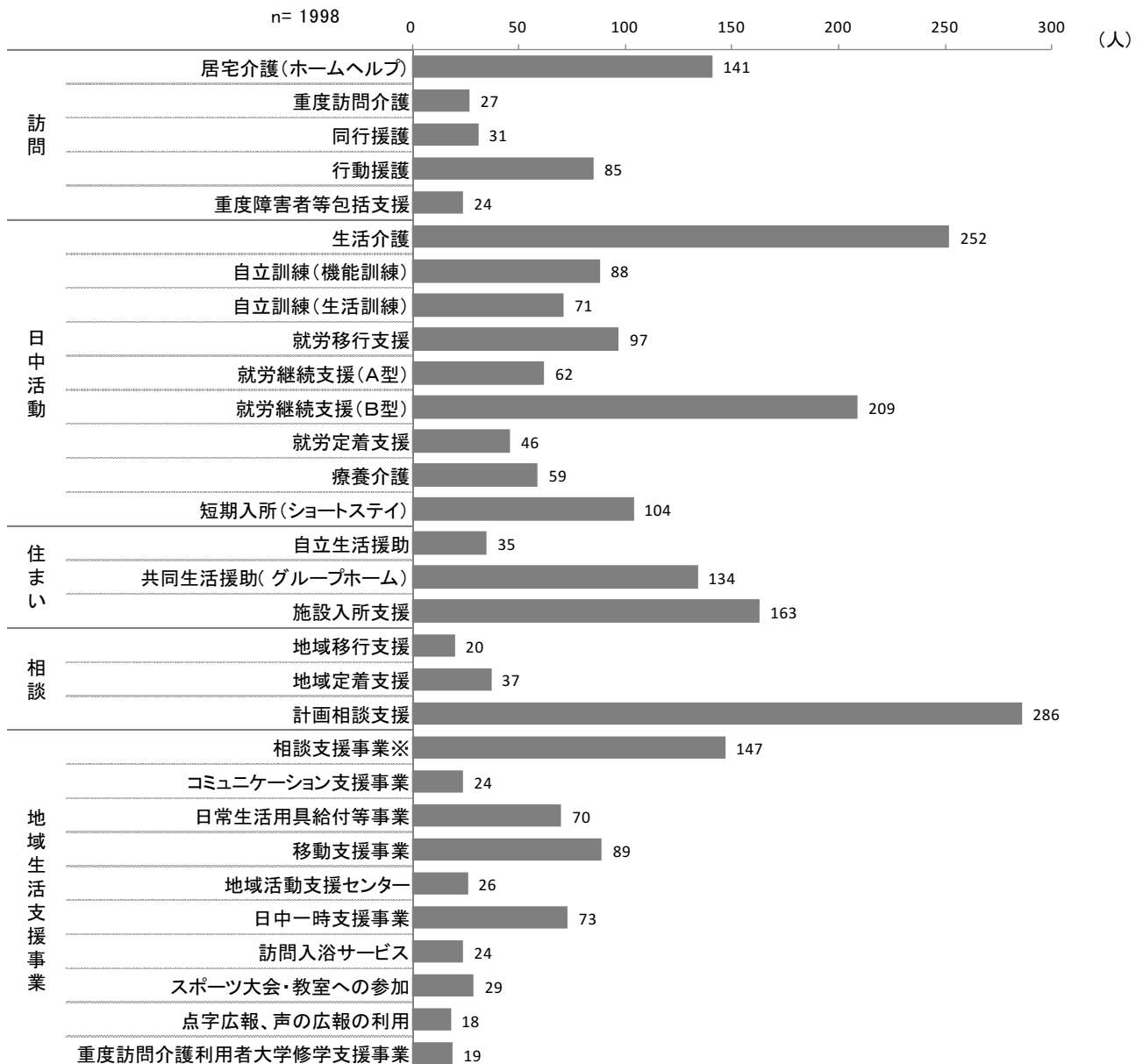
(1) 障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用状況、評価、今後の利用意向

問6 (1) 現在利用している障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用状況、利用してみたの評価、今後、利用したいかについて、【記入例】を参考に、各欄に○をつけてください。(利用しているサービスの種類が分からない方は、お手持ちの障害福祉サービス受給者証をご覧ください。なお、サービスを利用していない方は、今後、利用したい欄にご記入ください。)

※相談支援事業とは…障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室すてら（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）で実施している事業のことです。

◎障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用状況

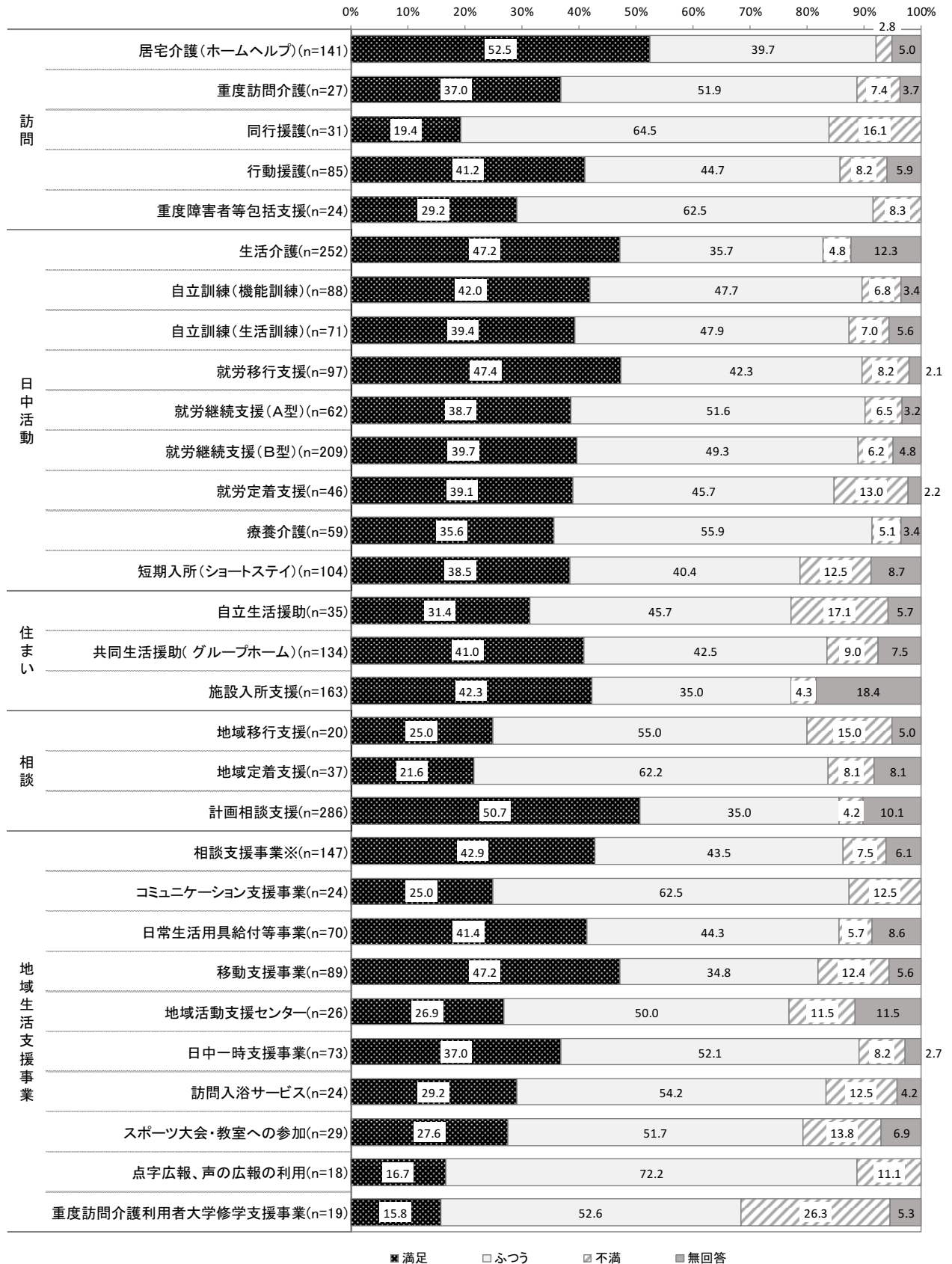
障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用状況について「利用している」と回答した人数は、「計画相談支援」が286人（14.3%）と最も多く、次いで「生活介護」が252人（12.6%）、「就労継続支援（B型）」が209人（10.5%）となっています。



第2章 障がい者調査結果の詳細

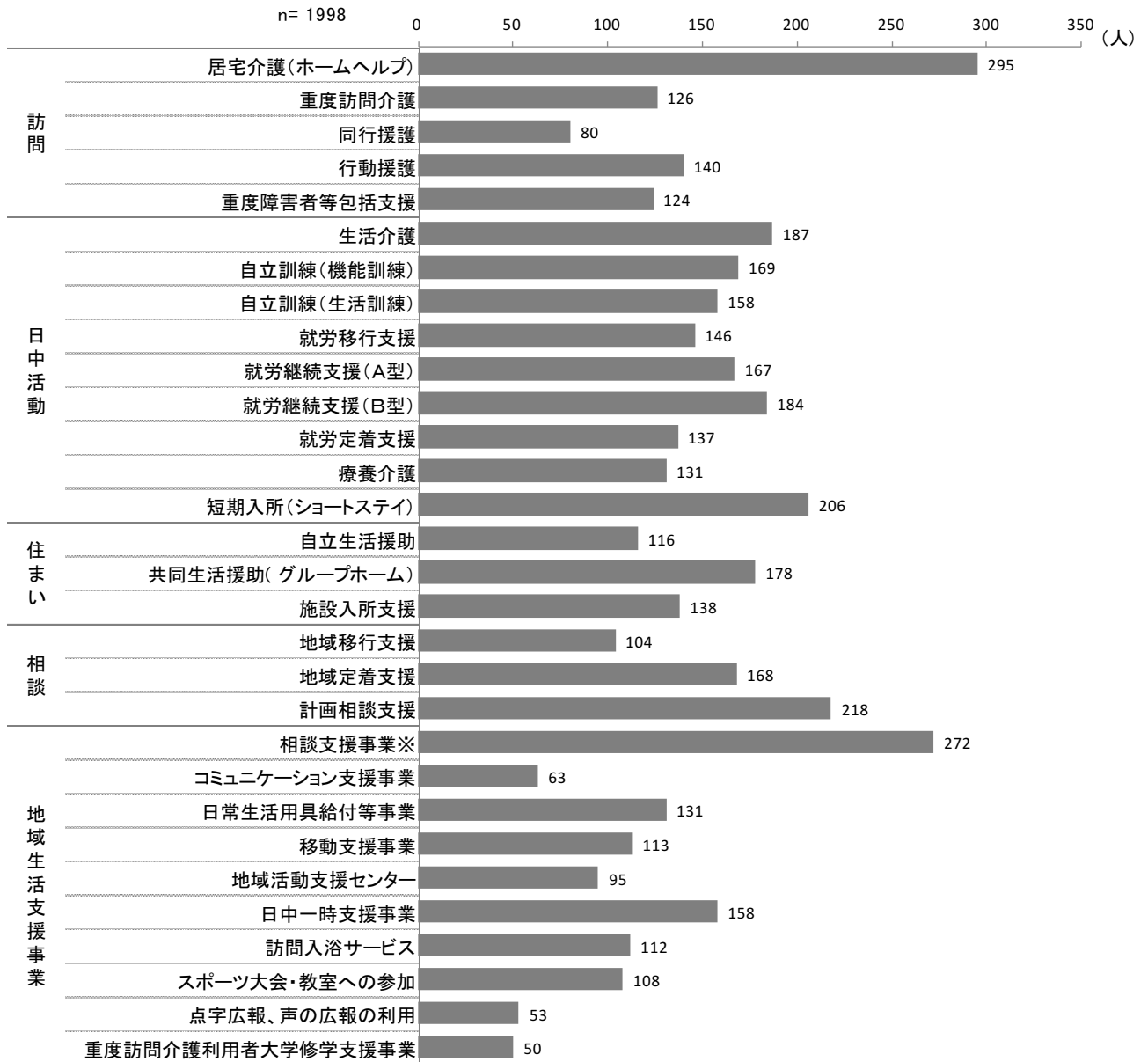
◎障害福祉サービスや地域生活支援事業の評価

障害福祉サービスや地域生活支援事業を利用して初めての評価について「今後、利用したい」と回答した人数は、満足と回答した割合が「居宅介護（ホームヘルプ）」、「計画相談支援」では5割以上を占めています。



◎障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用意向

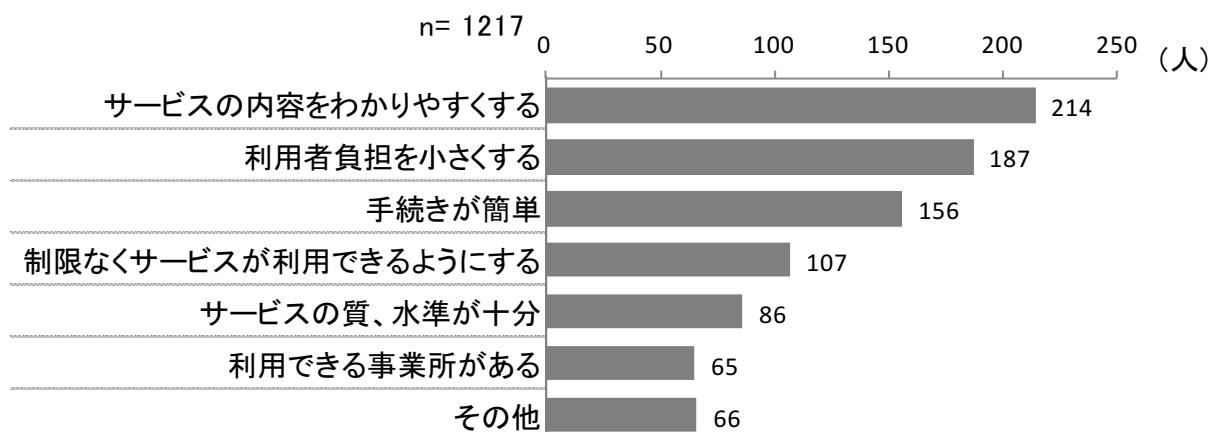
障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用意向については、「居宅介護（ホームヘルプ）」が295人（14.8%）と最も多く、次いで「相談支援事業」が272人（13.6%）、「計画相談支援」が218人（10.9%）となっています。



(2) どのようなことがあれば「満足」またはサービスを利用しようと思うか

問6 (2) (1) 障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用の評価で「不満」と答えた方や現在サービスを利用していない方にお聞きします。どのようなことがあれば「満足」またはサービスを利用しようと思いますか。(あてはまる番号3つまで○)

どのようなことがあれば「満足」またはサービスを利用しようと思うかについては、「サービスの内容をわかりやすくする」が214人(17.6%)と最も多く、次いで「利用者負担を小さくする」が187人(15.4%)、「手続きが簡単」が156人(12.8%)となっています。



■「その他」の主な内容

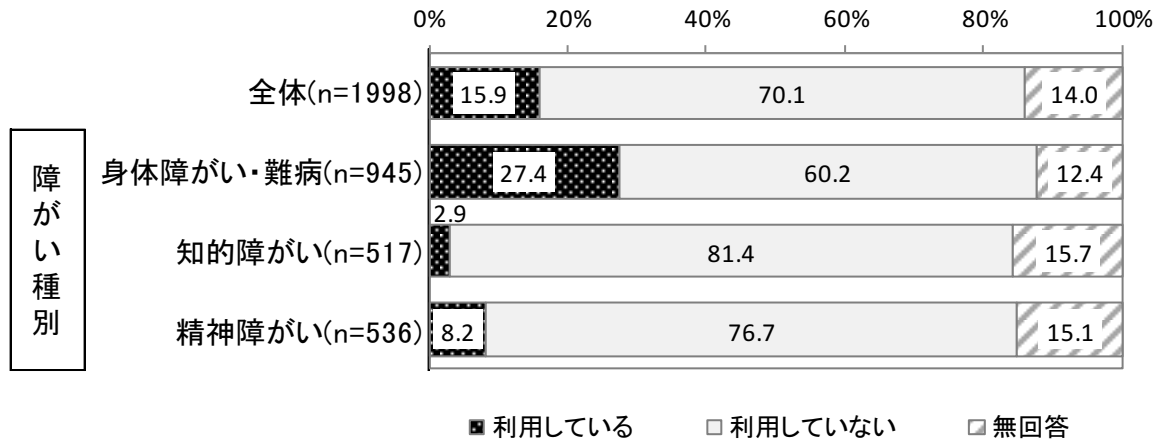
今は必要ない／障がいが重くなったとき／出来るだけ自分でやりたい／介護プライバシーが守られる 等

(3) 介護保険によるサービスを利用しているか

問6 (3) あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

介護保険によるサービスを利用しているかについては、全体では「利用している」が15.9%、「利用していない」が70.1%となっています。

全体と比較すると、知的では「利用していない」が81.4%と高くなっています。

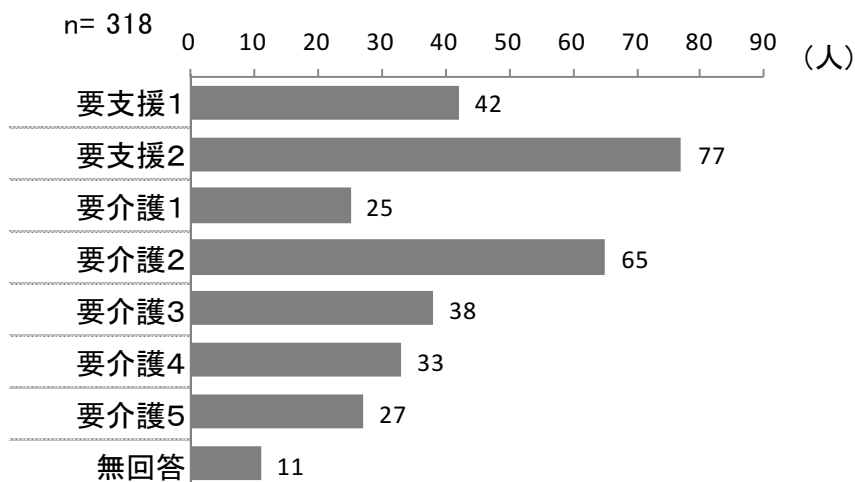


(4) 要介護度

【問6 (3) で「利用している」と回答した方にお聞きします。】

問6 (4) 該当する要介護度は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

要介護度については、「要支援2」が77人(24.2%)と最も多く、次いで「要介護2」が65人(20.4%)、「要支援1」が42人(13.2%)となっています。

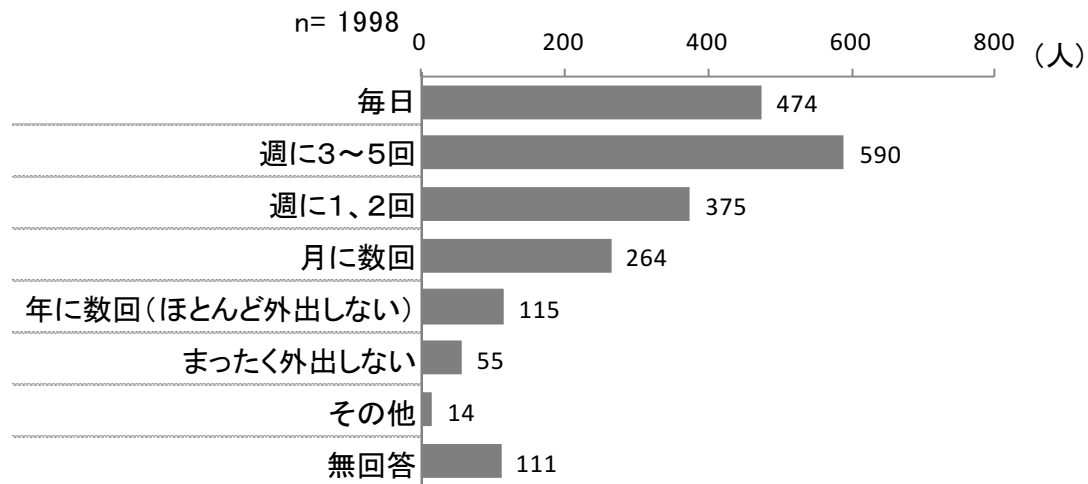


8. 外出の状況について

(1) 外出する頻度

問7 (1) 外出する頻度は、およそどのくらいですか。(あてはまる番号1つに○)

外出する頻度については、「週に3～5回」が590人(29.5%)と最も多く、次いで「毎日」が474人(23.7%)、「週に1、2回」が375人(18.8%)となっています。



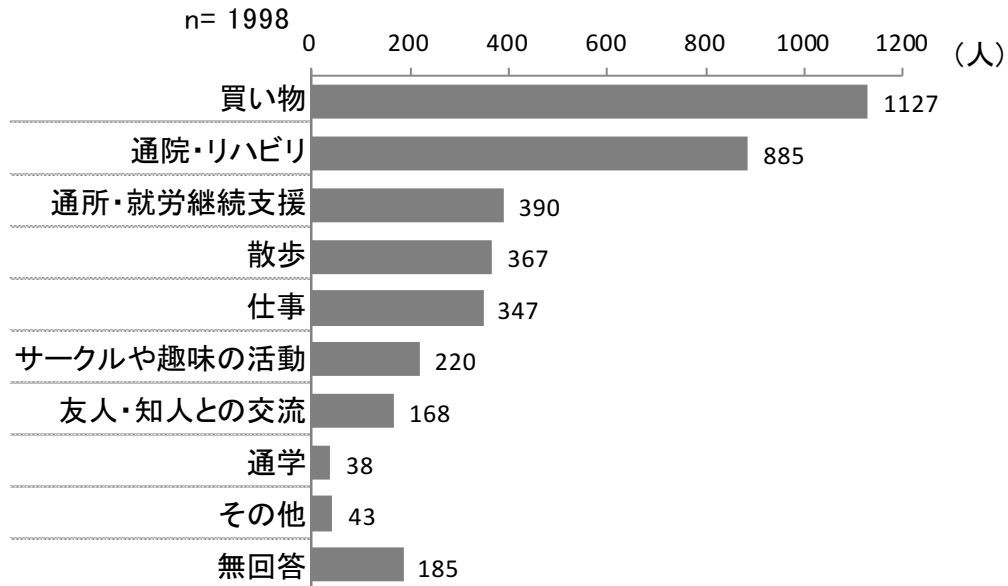
■「その他」の主な内容

入院中／新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛要請により自粛中 等

(2) 外出する主な目的

問7 (2) 外出する主な目的は、何ですか。(あてはまる番号3つまで○)

外出する目的については、「買い物」が1,127人(56.4%)と最も多く、次いで「通院・リハビリ」が885人(44.3%)、「通所・就労継続支援」が390人(19.5%)となっています。



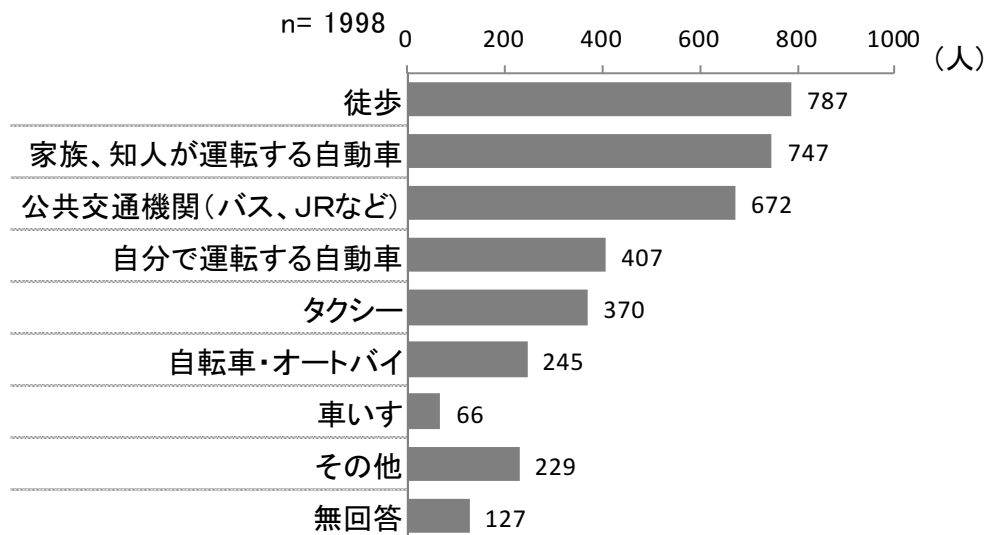
■ 「その他」の主な内容

帰省／入院の面会／子どもの送り迎え／子供達との交流／お墓参り 等

(3) 外出時の主な交通手段

問7 (3) 外出するとき、利用する主な交通移動手段は、何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

外出時の主な交通手段については、「徒歩」が787人 (39.4%) と最も多く、次いで「家族、知人が運転する自動車」が747人 (37.4%)、「公共交通機関 (バス、JRなど)」が672人 (33.6%) となっています。



■ 「その他」の主な内容

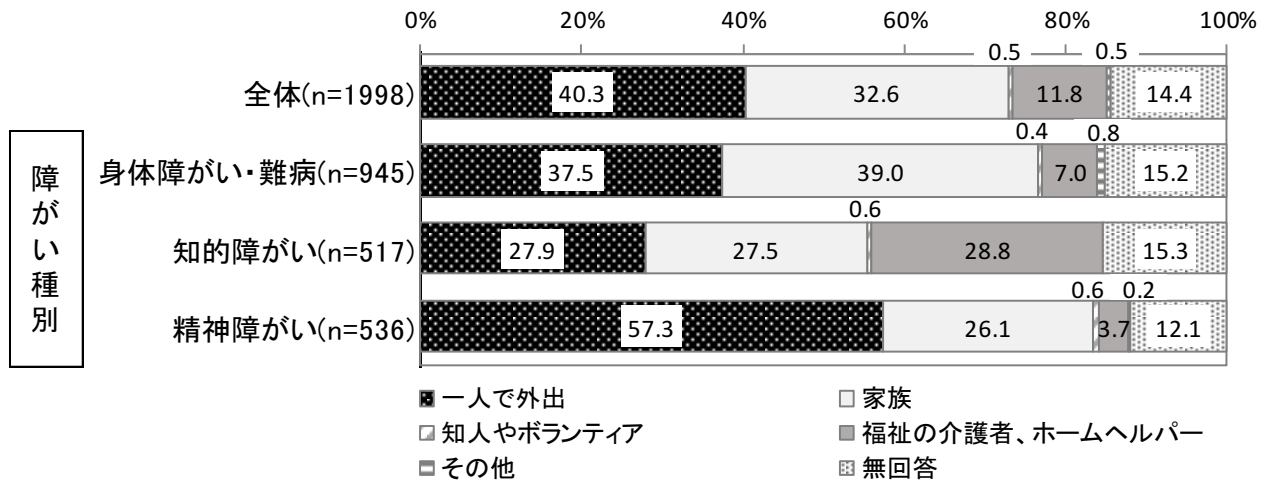
事業所・デイサービス (ケア) ・施設の車／公用車／会社の送迎車／病院の送迎車 等

(4) 誰と外出するか

問7 (4) 外出する際は、主にどなたと一緒にですか。(あてはまる番号1つに○)

誰と外出するかについては、全体では「一人で外出」が40.3%と最も高く、次いで「家族」が32.6%、「福祉の介護者、ホームヘルパー」が11.8%となっています。

全体と比較すると、知的では「福祉の介護者、ホームヘルパー」が28.8%と高くなっています。精神では「一人で外出」が57.3%と高くなっています。



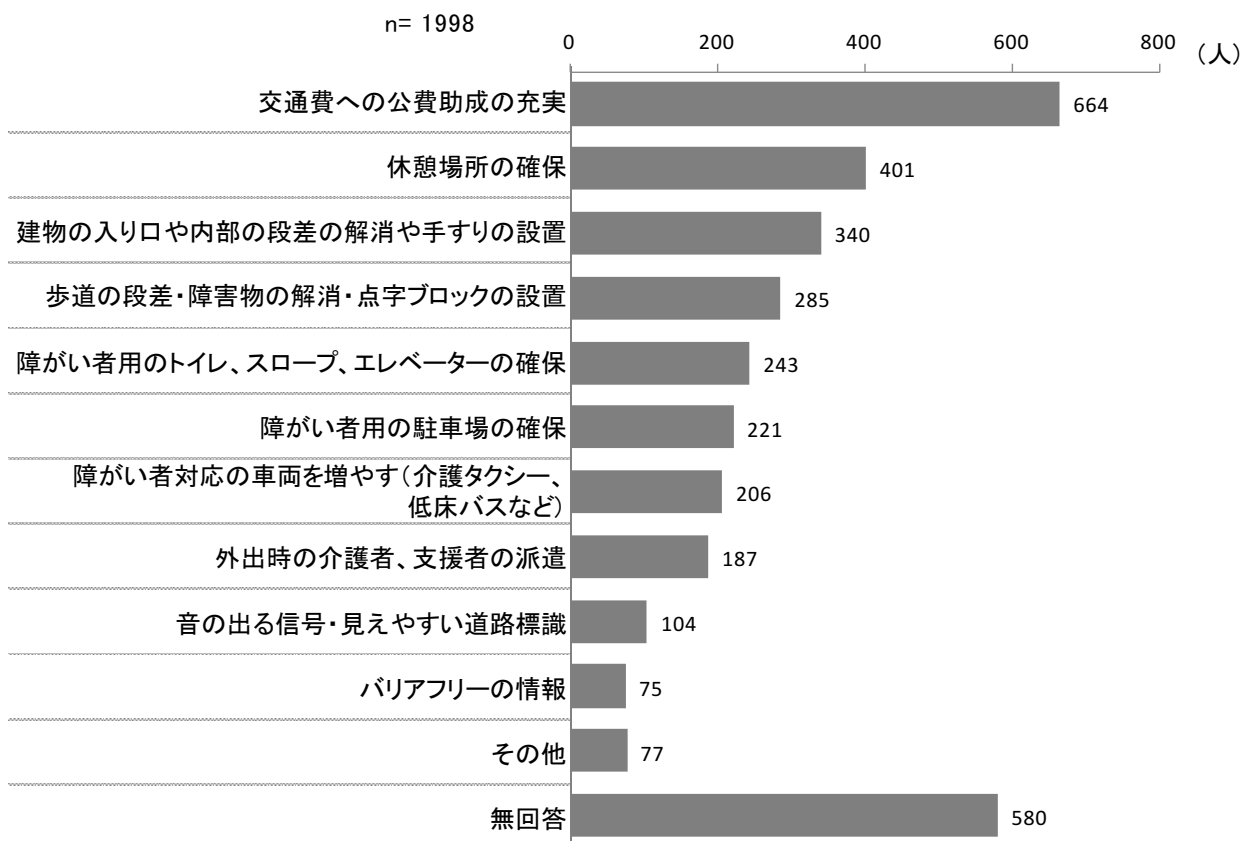
■ 「その他」の主な内容

外出してない／看護師／リハビリの先生 等

(5) 外出しやすくなるために必要と思うこと

問7 (5) 外出しやすくなるために、必要と思うことは何ですか。
(あてはまる番号3つまで○)

外出しやすくなるために必要と思うことについては、「交通費への公費助成の充実」が664人(33.2%)と最も多く、次いで「休憩場所の確保」が401人(20.1%)、「建物の入り口や内部の段差の解消や手すりの設置」が340人(17.0%)となっています。



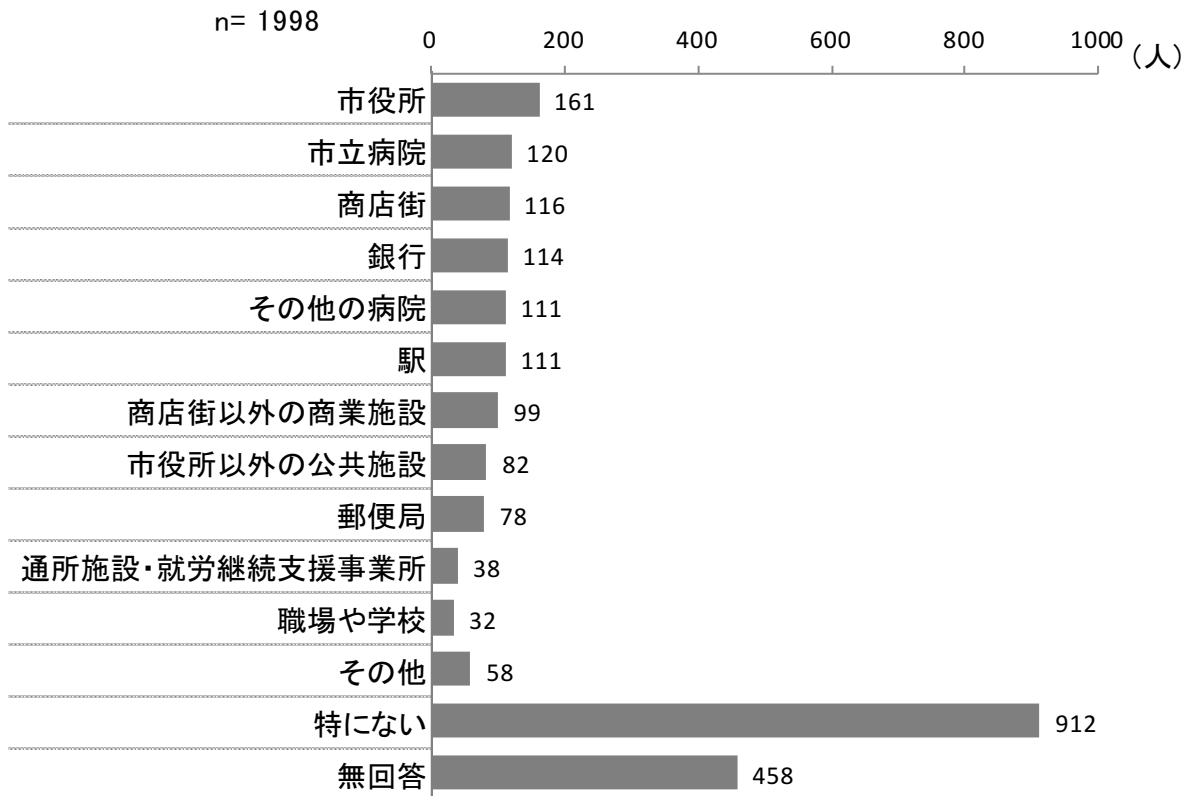
■「その他」の主な内容

歩道の整備／全店に車いすを設置してほしい／バスの本数増加／目に見えない障害に対する周囲の理解／ピクトグラムなど分かりやすい施設の表示／レストラン・食堂／軽い運動ができる公園や施設（インストラクターのいる状況で）等

(6) 市内で利用しづらい場所

問7(6) 市内で利用しづらい場所はどこですか。(あてはまる番号3つまで○)

市内で利用しづらい場所については、「特にない」が912人(45.6%)と最も多く、次いで「市役所」が161人(8.1%)、「市立病院」が120人(6.0%)となっています。



■「その他」の主な内容

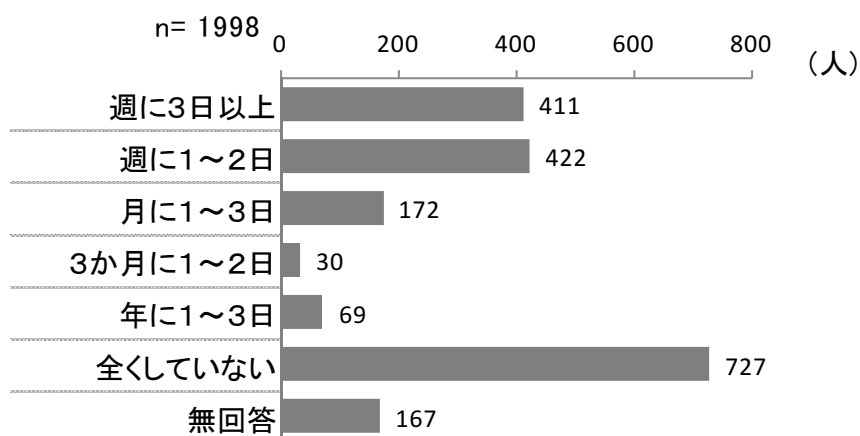
バス／歩道の段差／トイレが和式の施設／公園／入り口前に階段がある施設／外出しない 等

(7) 普段どれくらいスポーツをしているか

問7 (7) あなたは、普段どれくらいスポーツ（ウォーキング・健康体操などの運動、サイクリング・キャンプなどのレクリエーションを含む）をしていますか。
(あてはまる番号1つに○)

普段どれくらいスポーツをしているかについては、「週に3日以上」が411人 (20.6%)、「週に1～2日」が422人 (21.1%) となっています。

一方、「全くしていない」が727人 (36.4%) と最も多くなっています。

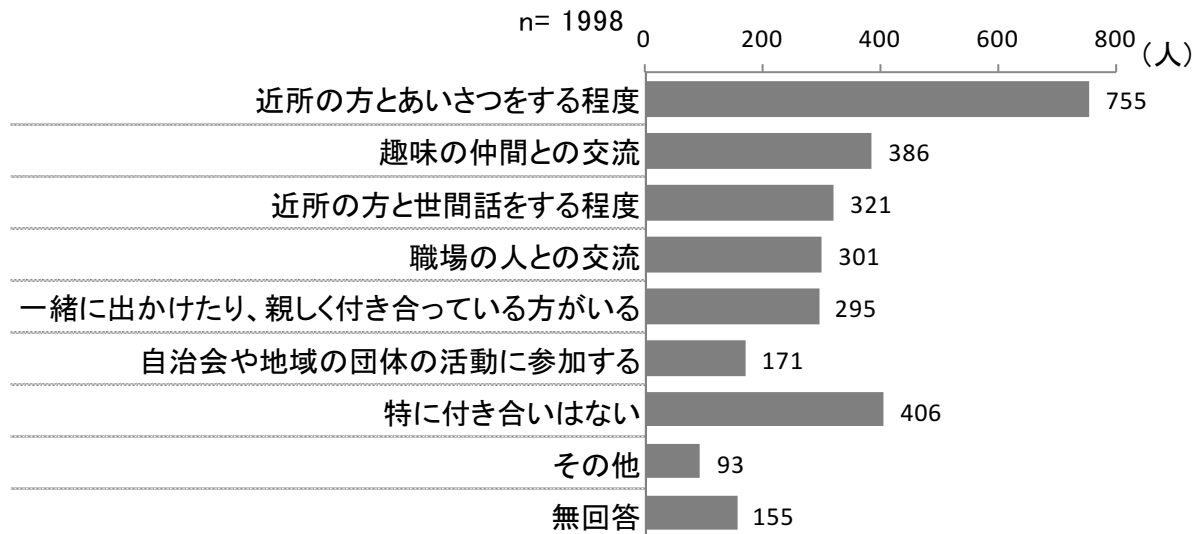


9. 社会参加の状況について

(1) 家族以外とどのような交流があるか

問8 (1) 家族以外の方との交流について、どのようなものがありますか。
(あてはまる番号3つまで○)

家族以外とどのような交流があるかについては、全体では「近所の方とあいさつをする程度」が755人(37.8%)と最も多く、次いで「趣味の仲間との交流」が386人(19.3%)、「近所の方と世間話をする程度」が321人(16.1%)となっています。



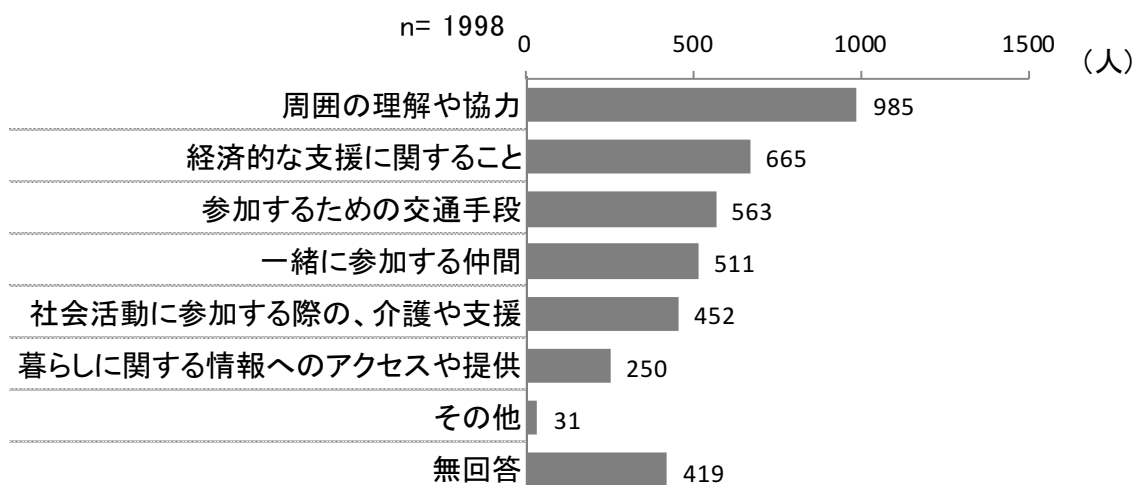
■「その他」の主な内容

グループホーム／デイケアサービス／施設や事業所の職員・利用者／病院の職員 等

(2) 障がい者が社会参加するときに必要だと思うこと

問8 (2) 障がいのある方が社会参加するときに、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまる番号3つまで○)

障がい者が社会参加するときに必要だと思うことについては、「周囲の理解や協力」が985人(49.3%)と最も多く、次いで「経済的な支援に関すること」が665人(33.3%)、「参加するための交通手段」が563人(28.2%)となっています。



■「その他」の主な内容

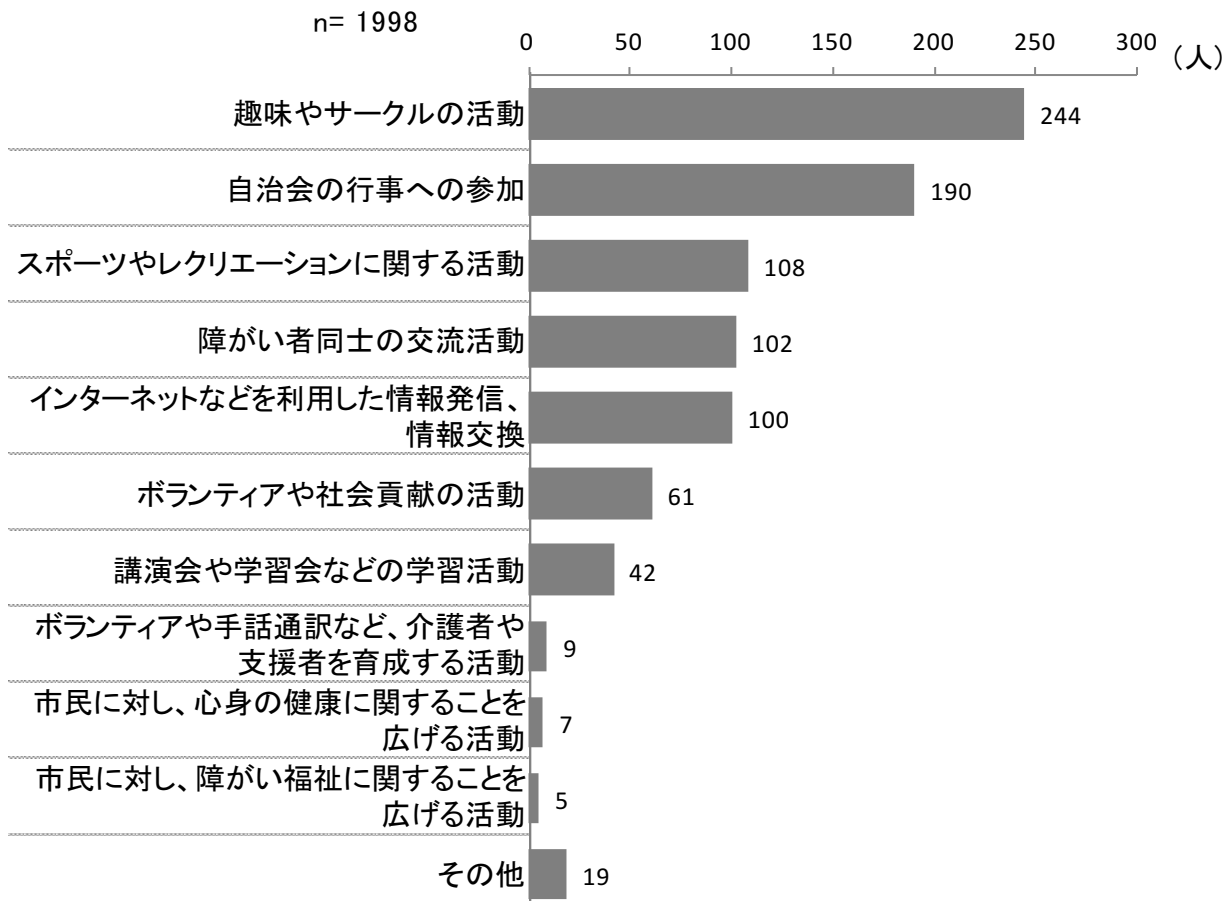
参加しやすい時間／現状で満足／本人のやる気／プライベートとの境界 等

(3) 参加している社会活動と今後参加してみたい活動

問8 (3) 現在、あなたが参加している社会活動は何ですか。また、今後、参加してみたい活動は何ですか。(下の選択肢からそれぞれ3つまで選択し、解答欄に番号を記入してください。)

◎参加している社会活動

参加している社会活動については、「趣味やサークルの活動」が244人(12.2%)と最も多く、次いで「自治会の行事への参加」が190人(9.5%)、「スポーツやレクリエーションに関する活動」が108人(5.4%)となっています。

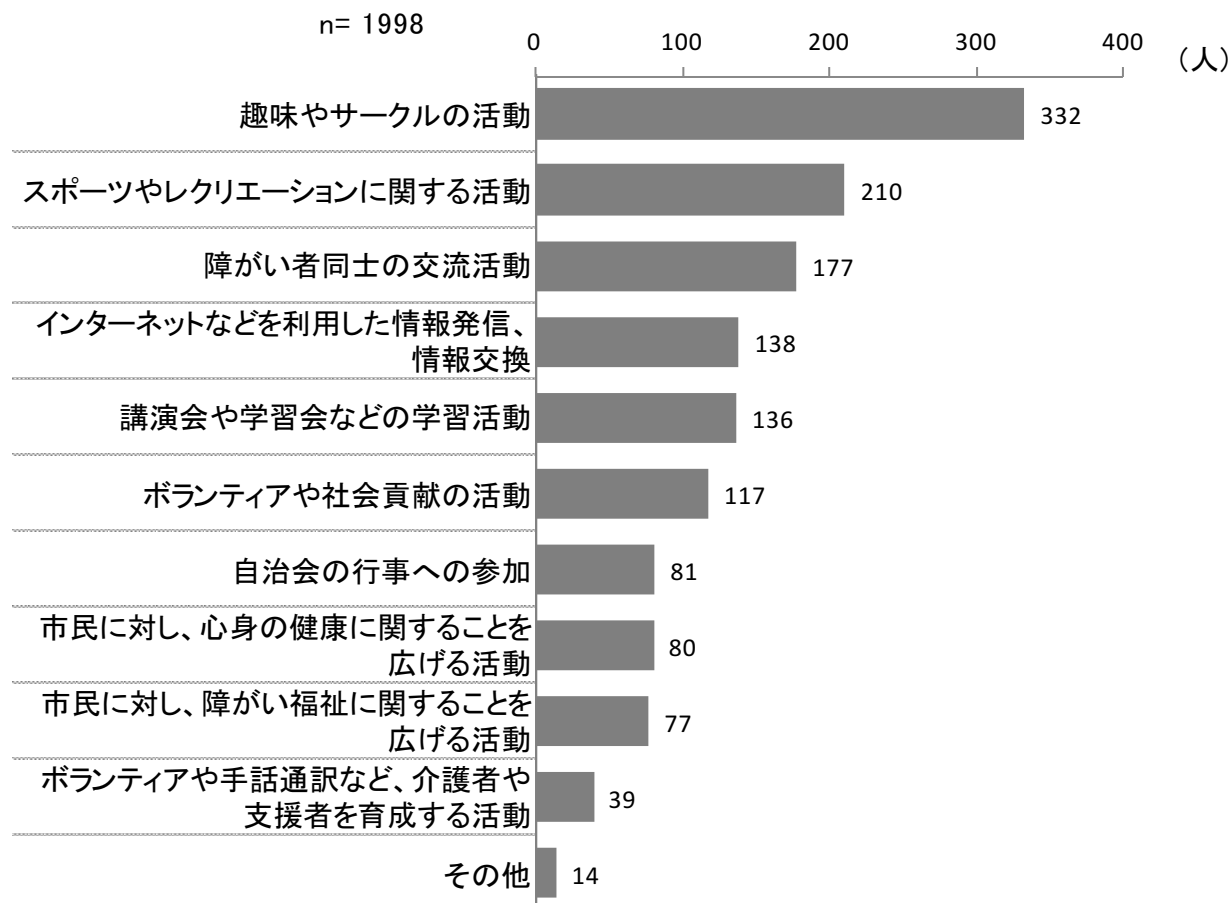


■「その他」の主な内容

病院内での行事に参加している／デイサービスでの様々な活動／宗教活動 等

◎今後参加してみたい活動

今後参加してみたい活動については、「趣味やサークルの活動」が332人（16.6%）と最も多く、次いで「スポーツやレクリエーションに関する活動」が210人（10.5%）、「障がい者同士の交流活動」が177人（8.9%）となっています。



■「その他」の主な内容

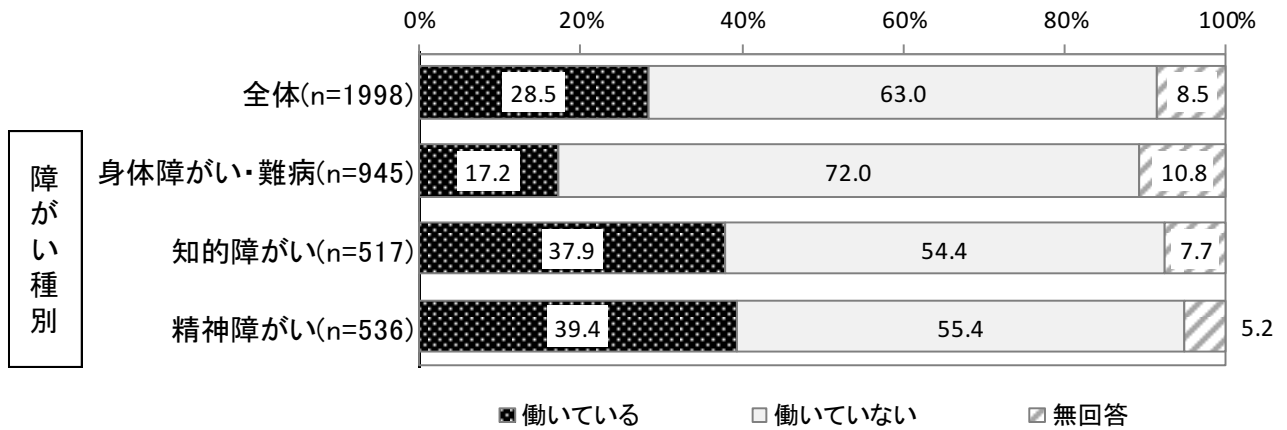
チャリティランを開催して欲しい。地元開催希望！！（毎年札幌の豊平川で参加しているので）

10. 就労について

(1) 現在働いているか

問9 (1) 現在、働いていますか。(あてはまる番号1つに○)

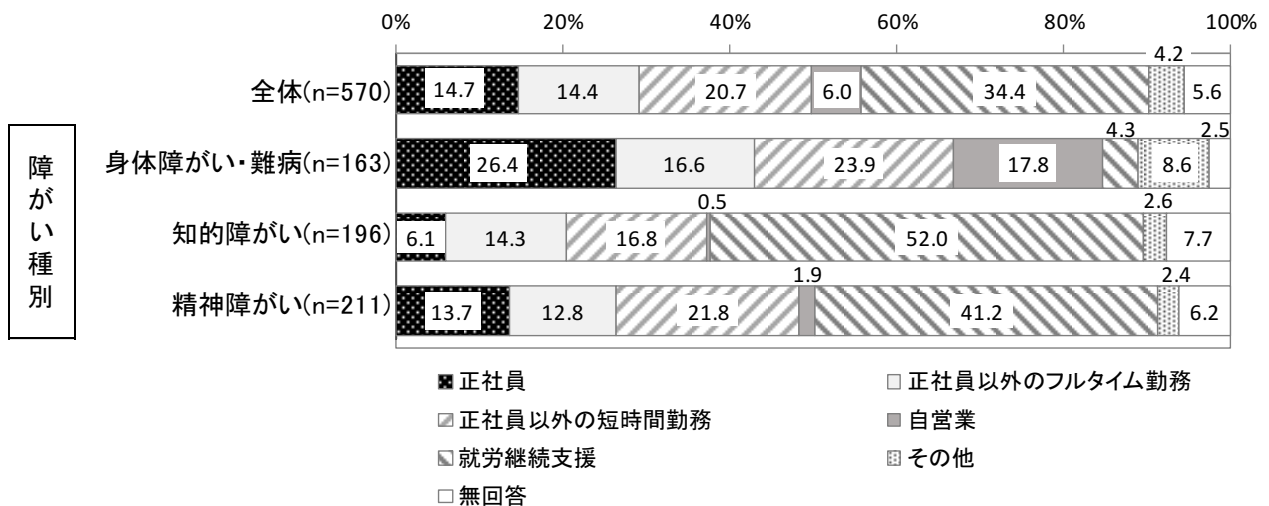
現在働いているかについては、全体では「働いている」が28.5%、「働いていない」が63.0%となっています。全体と比較すると、精神では「働いている」が39.4%と高くなっています。



◎ 「働いている」雇用形態

「働いている」雇用形態については、「就労継続支援」が34.4%と最も高く、次いで「正社員以外の短時間勤務」が20.7%、「正社員」が14.7%となっています。

全体と比較すると、身体・難病では「正社員」が26.4%、「自営業」が17.8%と高くなっています。知的では「就労継続支援」が52.0%と高くなっています。



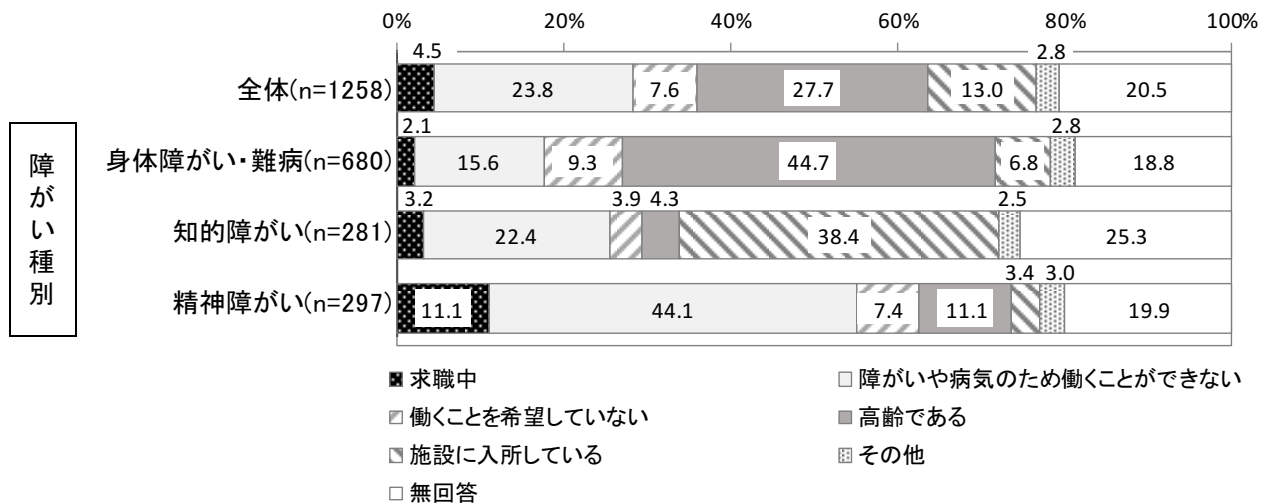
■ 「その他」の主な内容

パート/アルバイト/活動グループ/ボランティア 等

◎「働いていない」理由

「働いていない」理由については、「高齢である」が27.7%と最も高く、次いで「障がいや病気のため働くことができない」が23.8%、「施設に入所している」が13.0%となっています。

全体と比較すると、身体・難病では「高齢である」が44.7%と高くなっています。知的では「施設に入所している」が38.4%と高くなっています。精神では「障がいや病気のため働くことができない」が44.1%と高くなっています。



■「その他」の主な内容

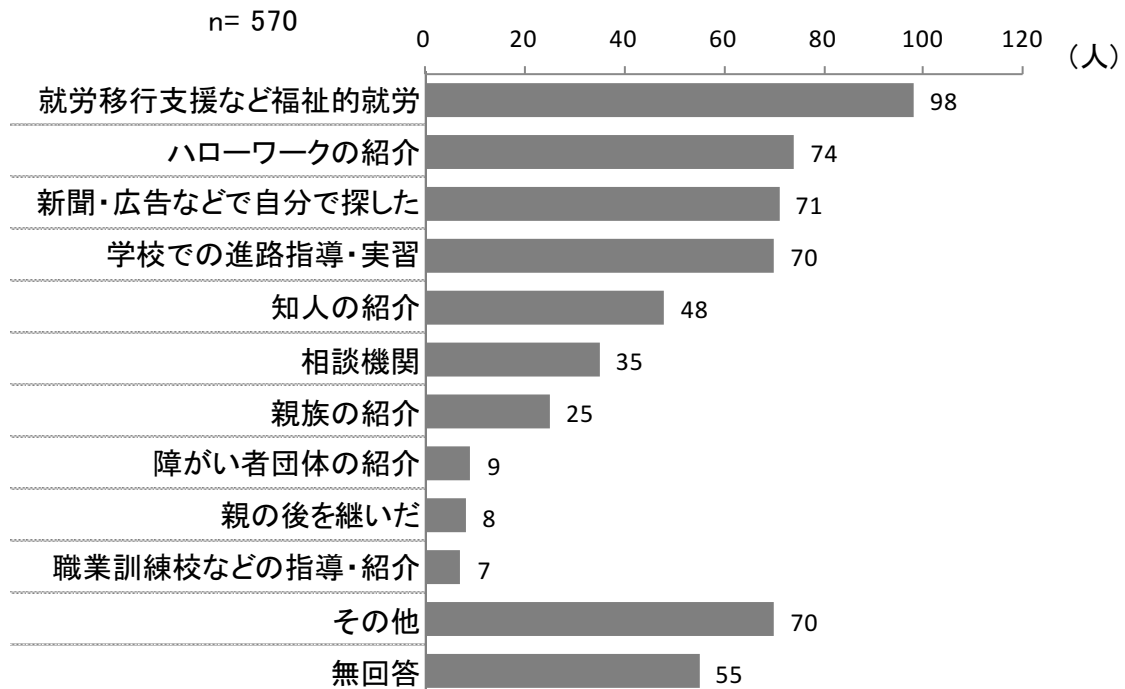
入院中／休職中／専業主婦／親の介護をしている 等

(2) 仕事に就くきっかけ

【問9(1)で「働いている」と回答した方にお聞きします。】

問9(2) 仕事に就くきっかけは何でしたか。(あてはまる番号1つに○)

仕事に就くきっかけについては、「就労移行支援など福祉的就労」が98人(17.2%)と最も多く、次いで「ハローワークの紹介」が74人(13.0%)、「新聞・広告などで自分で探した」が71人(12.5%)となっています。



■「その他」の主な内容

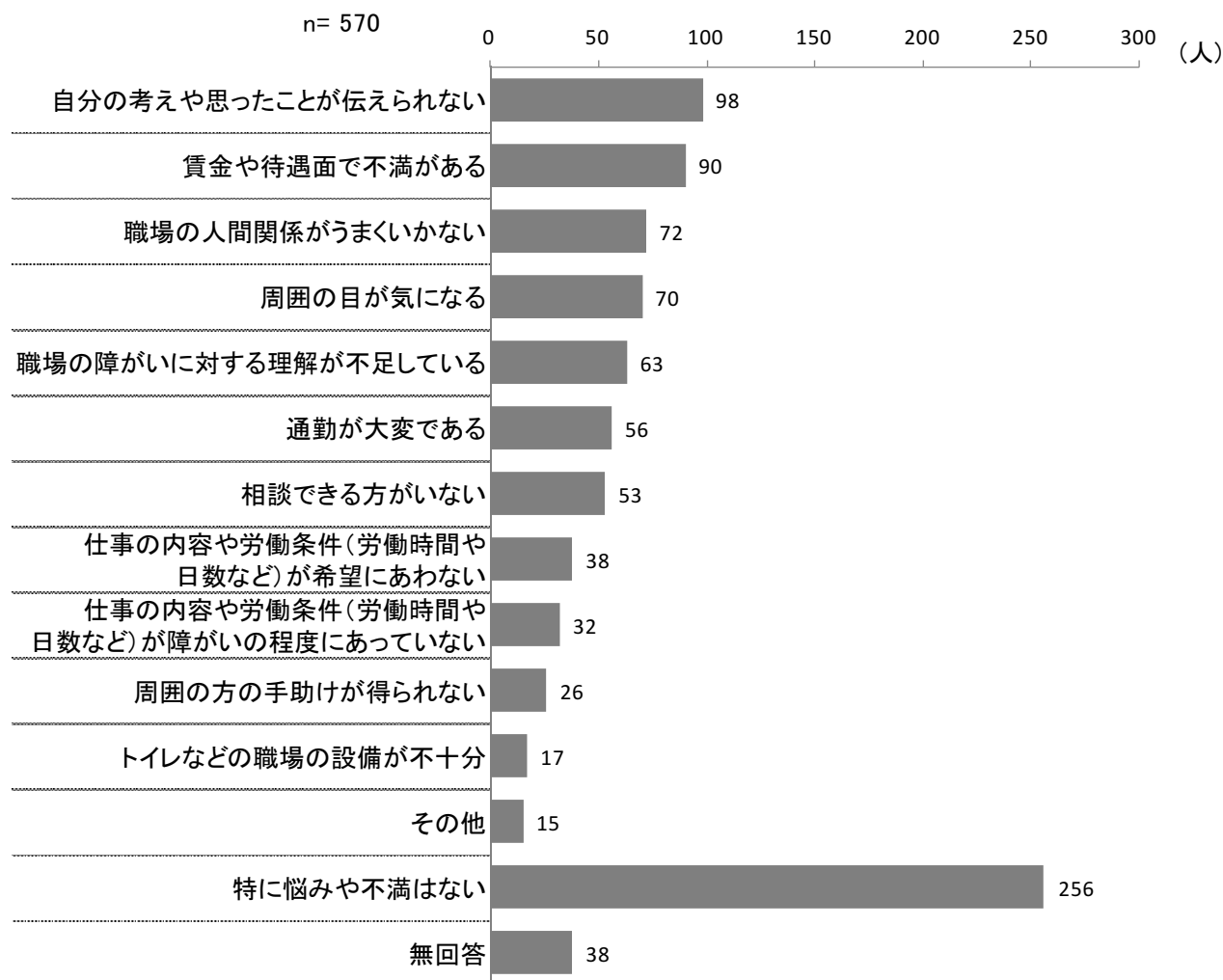
高卒後、入社試験を受けて／障がいや病気になった時・なる前から勤めている会社／自営業／病院からの紹介／ネット求人サイト／民間の人材エージェント 等

(3) 現在の仕事の悩みや不満

問9 (3) 現在の仕事について、悩みや不満などはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

現在の仕事の悩みや不満については、「自分の考えや思ったことが伝えられない」が98人(17.2%)、次いで「賃金や待遇面で不満がある」が90人(15.8%)、「職場の人間関係がうまくいかない」が72人(12.6%)となっています。

一方、「特に悩みや不満はない」が256人(44.9%)と最も高くなっています。



■「その他」の主な内容

現在は特に問題なく働いているが将来について不安に思う／人の顔と名前が覚えられない／業界の不安定さ、売上の低下 等

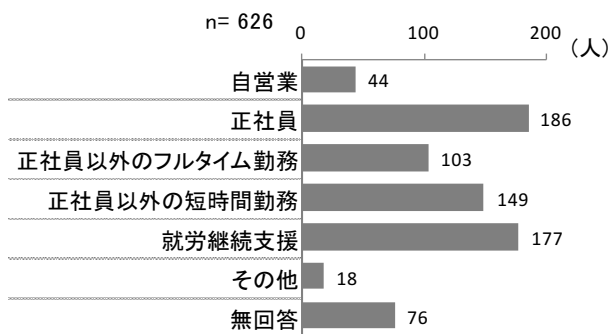
(4) 今後どのように働きたいか

問9 (4) 今後どのような形で働きたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

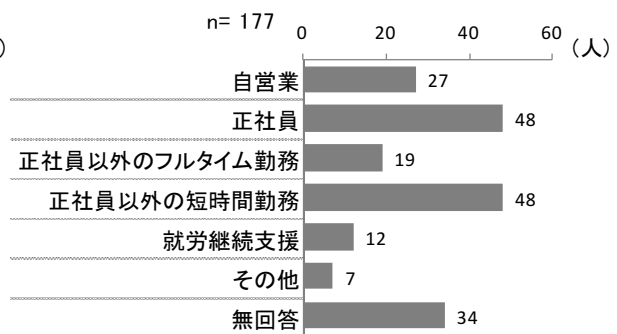
今後どのように働きたいかについては、全体では「正社員」が186人(29.7%)と最も多く、次いで「就労継続支援」が177人(28.3%)、「正社員以外の短時間勤務」が149人(23.8%)となっています。

身体・難病では「正社員」、「正社員以外の短時間勤務」がそれぞれ48人(27.1%)と多くなっています。知的では「就労継続支援」が98人(47.8%)、精神では「正社員」が98人(40.2%)と多くなっています。

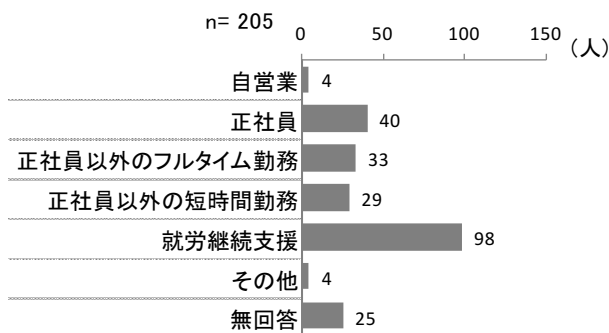
◎全体



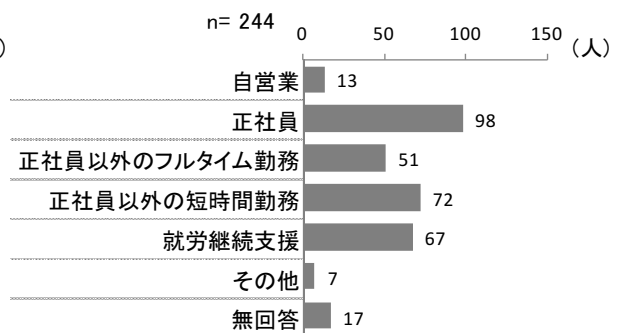
◎身体障がい・難病



◎知的障がい



◎精神障がい



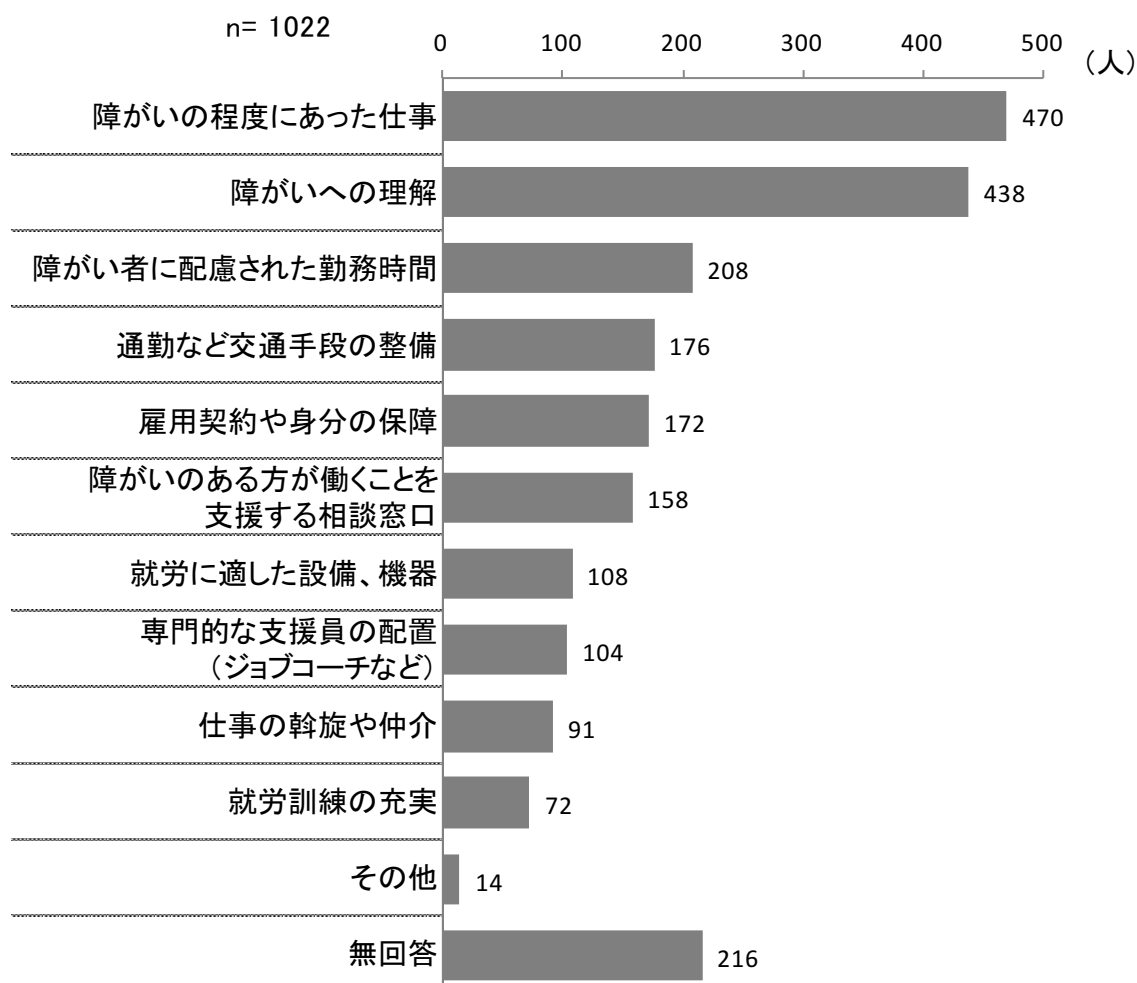
■「その他」の主な内容

高齢のため／働きたいと思っていない／働く事が出来ない／安定し自立して生活できるようにしたい／とにかくやりがいい仕事 等

(5) 障がい者が働くために必要なこと、どのようなことがあれば働けると思うか

問9 (5) 障がいのある方が働くために必要なこと、また、どのようなことがあれば働けると思いますか。(あてはまる番号3つまで○)

障がい者が働くために必要なこと、どのようなことがあれば働けると思うかについては、「障がいの程度にあった仕事」が470人(46.0%)と最も多く、次いで「障がいへの理解」が438人(42.9%)、「障がい者に配慮された勤務時間」が208人(20.4%)となっています。



■「その他」の主な内容

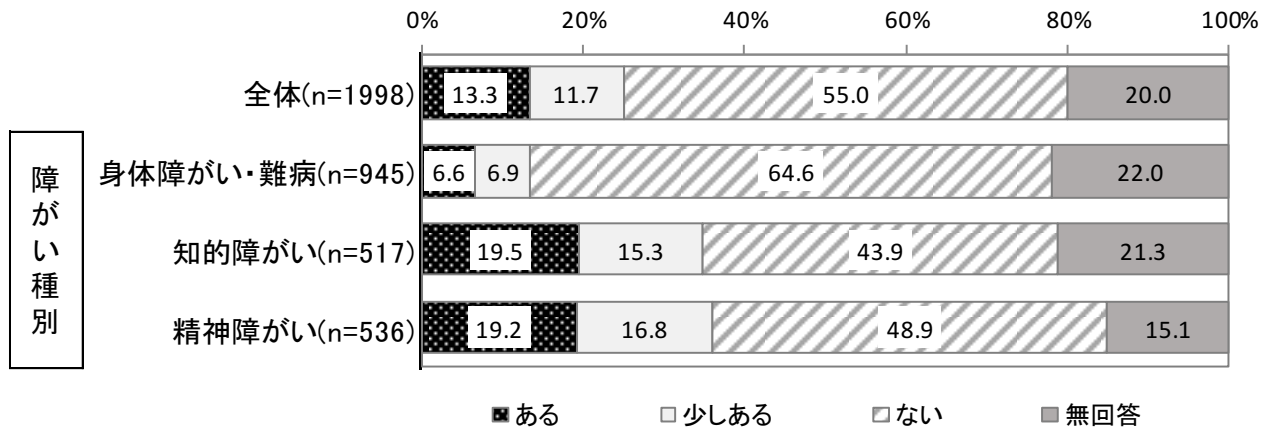
医療的な支援／障がいでも自立できる賃金の保障／障がい者自身のレベルアップへの自覚 等

11. 人権・権利擁護について

(1) 差別を受けたり、嫌な思いをした経験

問10(1) これまで障がいがあることによって差別や嫌な思いをしたことはありますか。
(あてはまる番号1つに○)

差別を受けたり、嫌な思いをした経験については、全体では「ない」が55.0%と最も高く、次いで「ある」が13.3%、「少しある」が11.7%となっています。



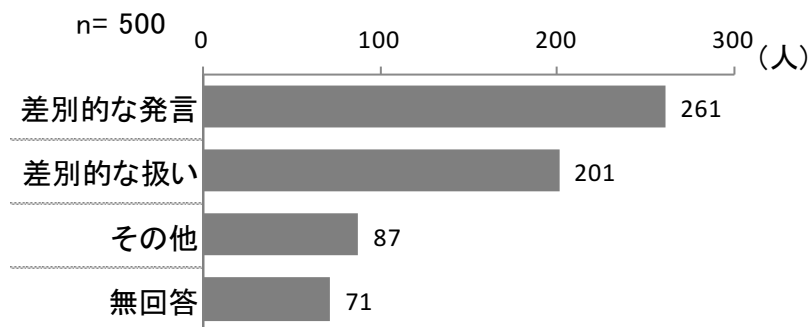
(2) 差別や嫌な思いをした内容と場所

【問10(1)で「ある」「少しある」と回答した方にお聞きします。】

問10(2) 差別や嫌な思いの内容とそのような思いをした場所について教えてください。
(それぞれあてはまる番号すべてに○)

◎差別や嫌な思いをした内容

差別や嫌な思いをした内容については、「差別的な発言」が261人(52.2%)、「差別的な扱い」が201人(40.2%)となっています。

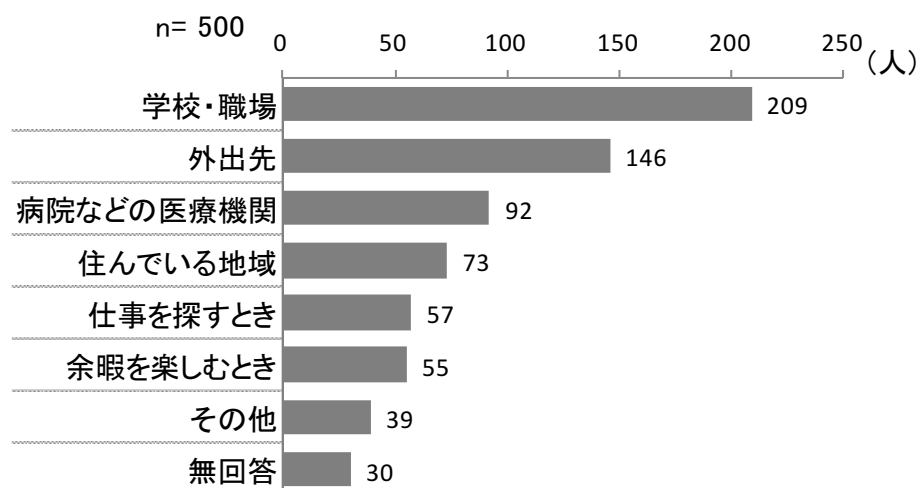


■「具体的な内容」の主な内容

避けられる／陰口を言われる／ジロジロ見られる／歩き方をマネされる／病気を理由に退職させられた／身がいがり者スペースに車を停めたら疑われた 等

◎差別や嫌な思いをした場所

差別や嫌な思いをした場所については、「学校・職場」が209人(41.8%)と最も多く、次いで「外出先」が146人(29.2%)、「病院などの医療機関」が92人(18.4%)となっています。



■「その他」の主な内容

家庭内／実家／自宅／入所施設／グループホーム 等

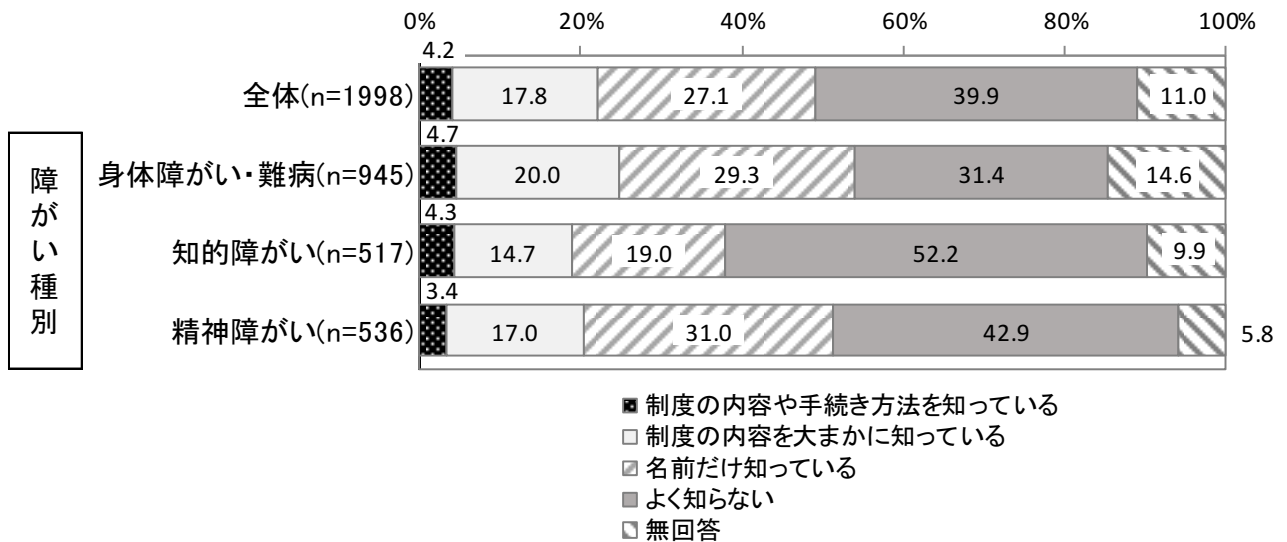
(3) 成年後見制度の認知度

問10 (3) あなたは成年後見制度※を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

※成年後見制度とは…認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が低下した方々を保護し、支援する制度です。

成年後見制度の認知度については、全体では「よく知らない」が39.9%と最も高く、次いで「名前だけ知っている」が27.1%、「制度の内容を大まかに知っている」が17.8%となっています。

全体と比較すると、知的では「よく知らない」が52.2%と高くなっています。

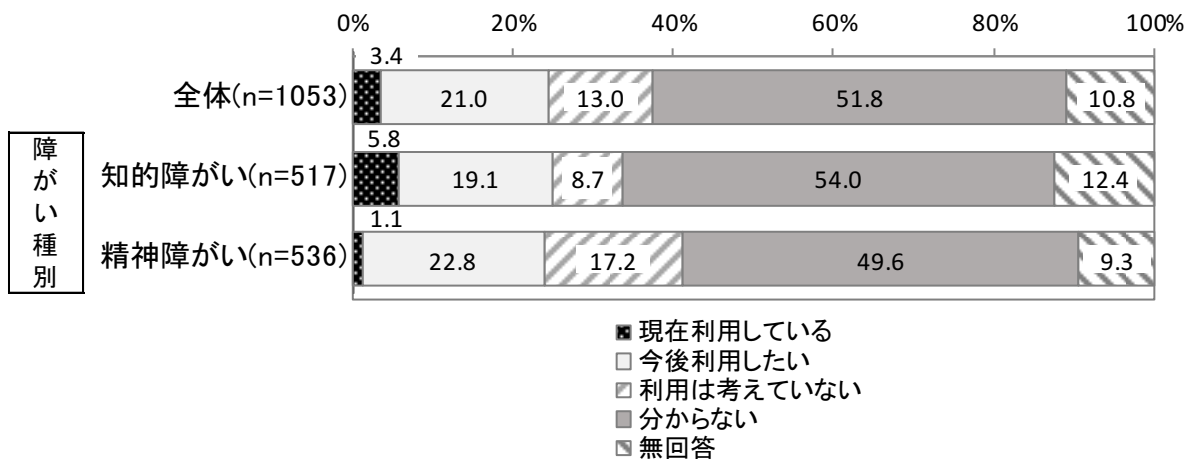


ここからの問10は、知的障がい者と精神障がい者のみの回答

(4) 成年後見制度の利用意向

問10 (4) あなたはあなた自身が認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

成年後見制度の利用意向については、全体では「分からない」が51.8%と最も高く、次いで「今後利用したい」が21.0%、「利用は考えていない」が13.0%となっています。

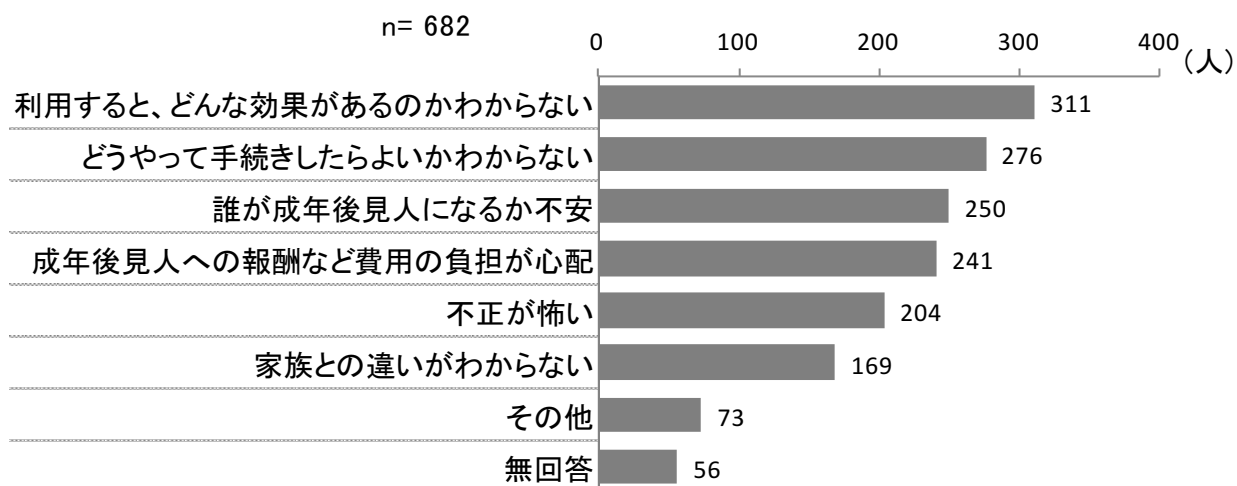


(5) 成年後見制度を利用しない理由

【問10(4)で「利用は考えていない」または「分からない」と回答した方にお聞きします。】

問10(5) あなたは成年後見制度を利用しない理由はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

成年後見制度を利用しない理由については、「利用すると、どんな効果があるのかわからない」が311人(45.6%)と最も多く、次いで「どうやって手続きしたらよいかかわからない」が276人(40.5%)、「誰が成年後見人になるか不安」が250人(36.7%)となっています。



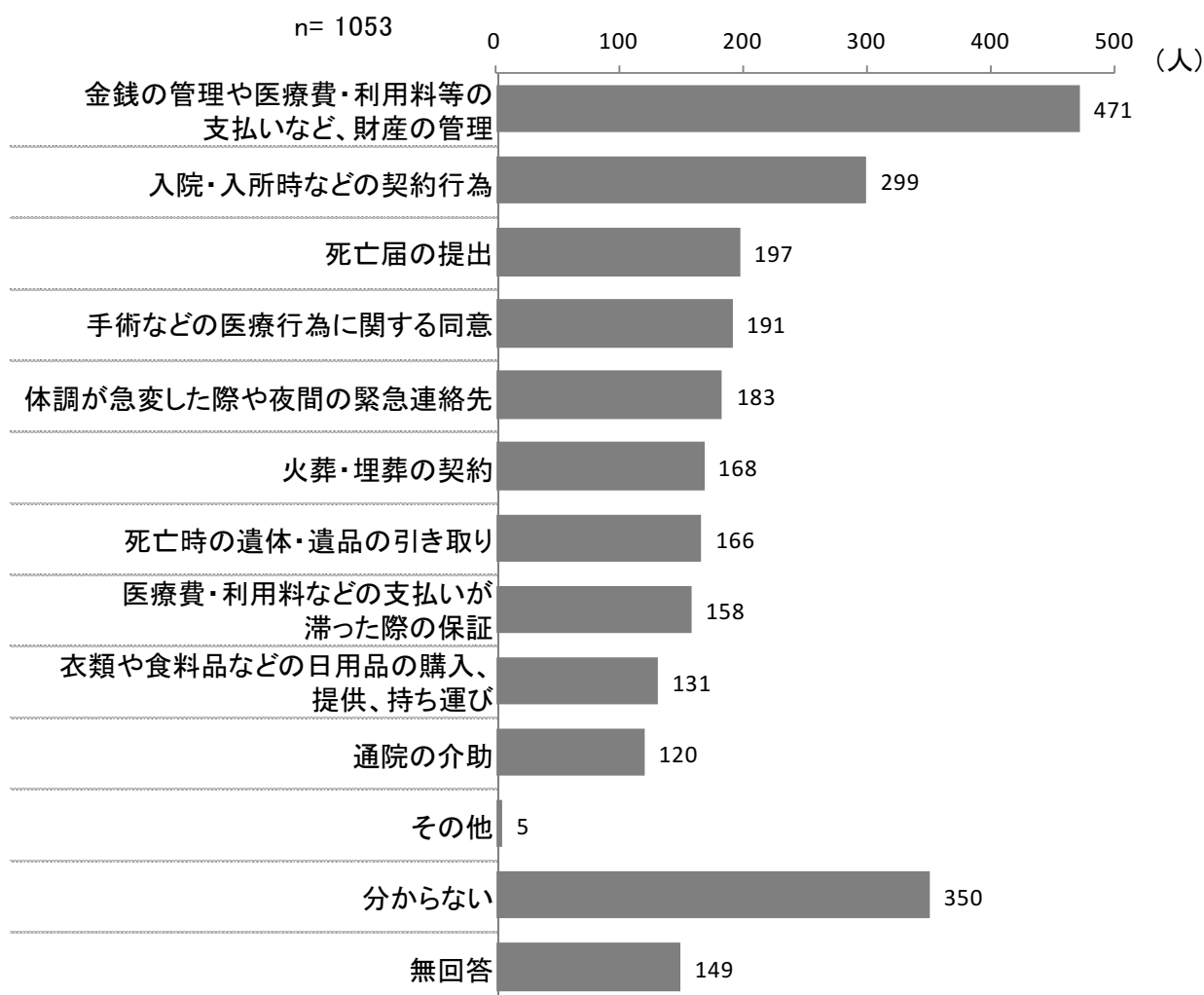
■「その他」の主な内容

まだ具体的に考えられない／まだ考えたことがない／家族がいる／必要ない 等

(6) 成年後見人ができると思う内容

問10 (6) あなたは成年後見人ができることはどれだと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

成年後見人ができると思う内容については、「金銭の管理や医療費・利用料等の支払いなど、財産の管理」が471人(44.7%)と最も多く、次いで「入院・入所時などの契約行為」が299人(28.4%)、「死亡届の提出」が197人(18.7%)となっています。



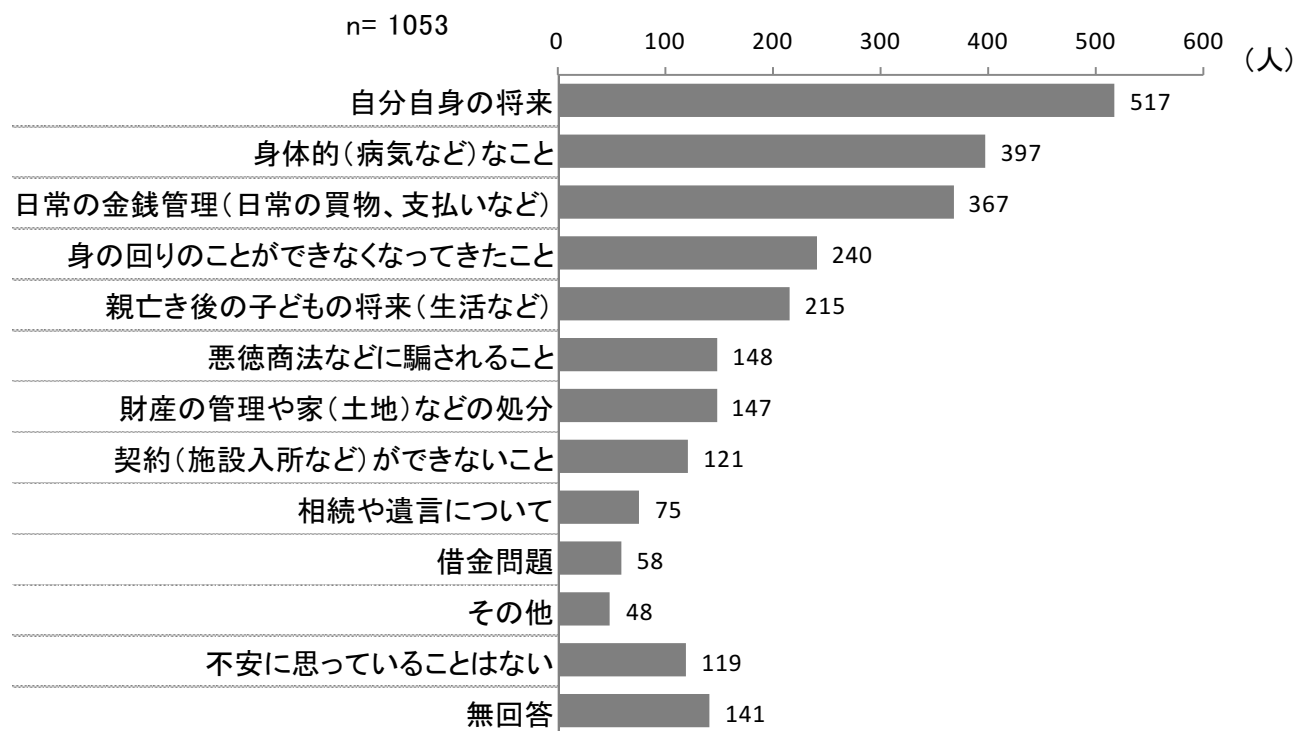
■ 「その他」の主な内容

掃除 等

(7) 将来において不安に思っていること

問10 (7) あなたは将来において不安に思っていることはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

将来において不安に思っていることについては、「自分自身の将来」が517人 (49.1%) と最も多く、次いで「身体的 (病気など) なこと」が397人 (37.7%)、「日常の金銭管理 (日常の買物、支払いなど)」が367人 (34.9%) となっています。



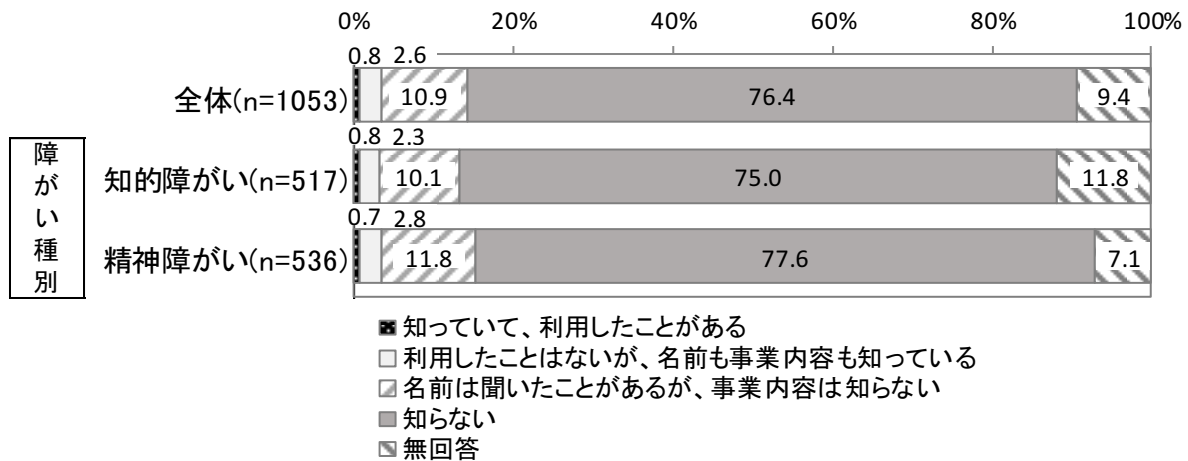
■ 「その他」の主な内容

家族・子どもの負担になりたくない／家庭環境について／子育てについて／施設入所の経費／自立できるだけの収入を維持できるか／お金が尽きないか心配 等

(8) 江別市成年後見支援センターの認知度

問10 (8) 江別市では成年後見制度の利用に関する支援を行うために、平成29年11月に江別市成年後見支援センターを開設しました。あなたは江別市成年後見支援センターを知っていますか。
(あてはまる番号1つに○)

江別市成年後見支援センターの認知度については、全体では「知らない」が76.4%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない」が10.9%となっています。

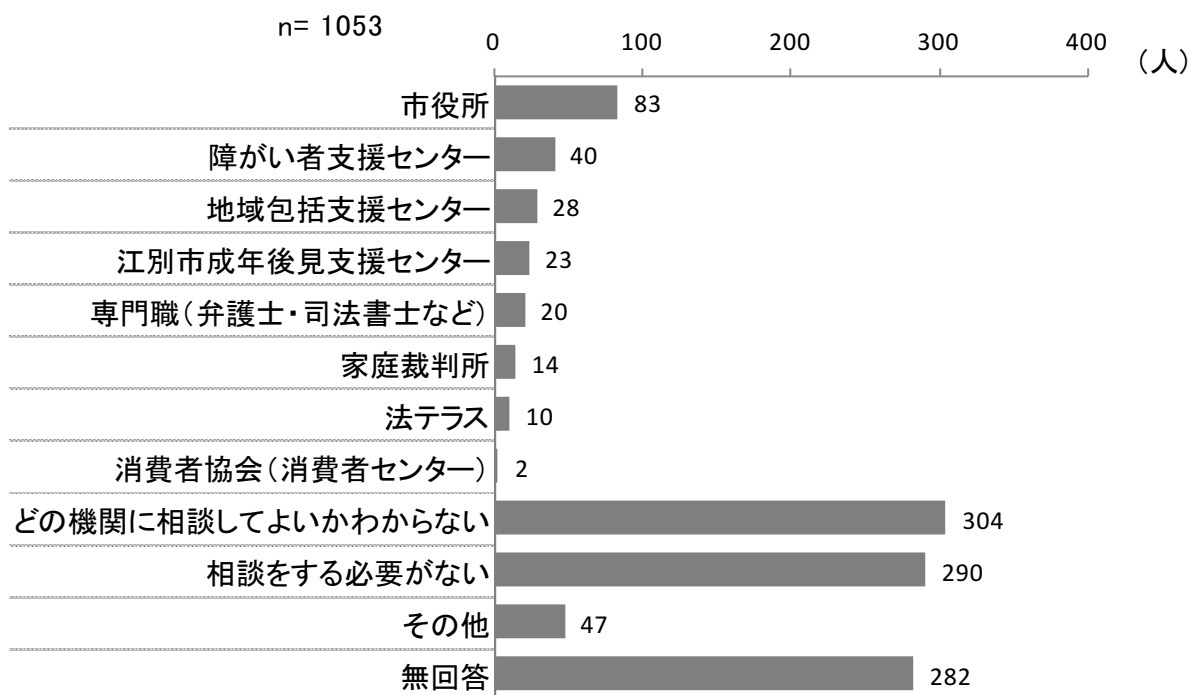


(9) 成年後見制度に関する相談機関

問10 (9) あなたは成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

成年後見制度に関する相談機関については、「市役所」が83人(7.9%)、次いで「障がい者支援センター」が40人(3.8%)、「地域包括支援センター」が28人(2.7%)となっています。

一方、「どの機関に相談してよいかわからない」が304人(28.9%)と最も多くなっています。



■「その他」の主な内容

施設職員／病院／社会福祉協議会／郵便局／まだどこにも相談していない／よくわからないので相談しない 等

12. 安全対策について

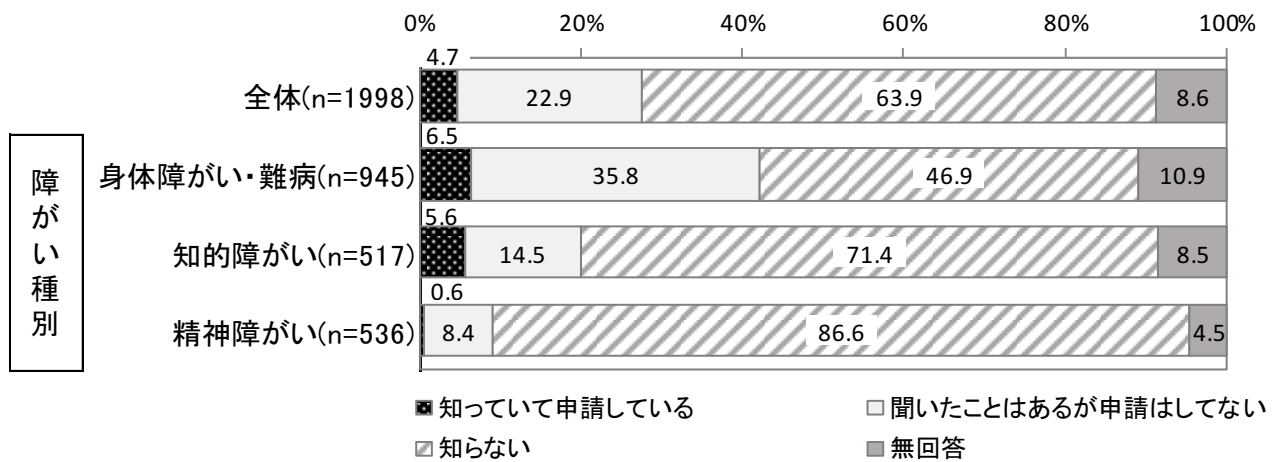
(1) 避難行動要支援者避難支援制度の認知度

問11(1) あなたは避難行動要支援者避難支援制度※(災害時要援護者避難支援制度)を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

※避難行動要支援者避難支援制度とは…一人暮らしの高齢者や障がいのある方など災害が起きたときに手助け(支援)を必要とする方に対して、自治会、自主防災会、民生委員・児童委員、近所の方など地域が連携して支援をしていく制度です。

避難行動要支援者避難支援制度の認知度については、全体では「知らない」が63.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが申請はしていない」が22.9%、「知っている申請している」が4.7%となっています。

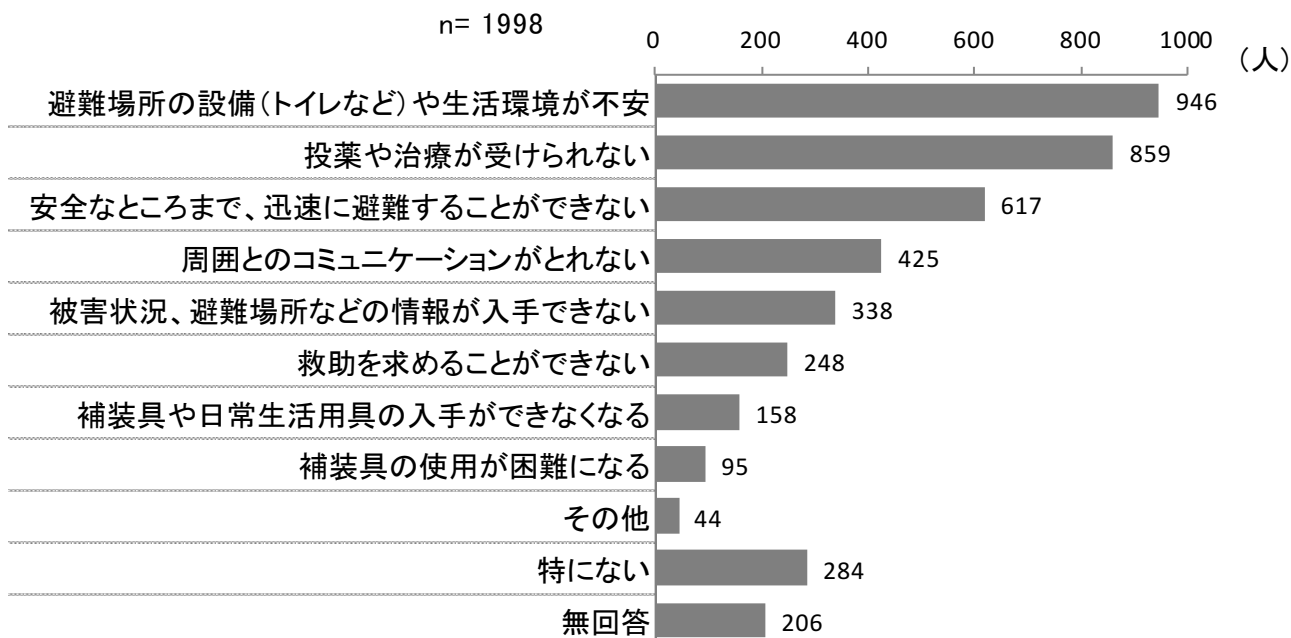
全体と比較すると、身体・難病では「聞いたことはあるが申請はしていない」が35.8%と高くなっています。精神では「知らない」が86.6%と高くなっています。



(2) 災害時に困ること

問11 (2) 水害や地震などの災害時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

災害時に困ることについては、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が946人（47.3%）と最も多く、次いで「投薬や治療が受けられない」が859人（43.0%）、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が617人（30.9%）となっています。



■「その他」の主な内容

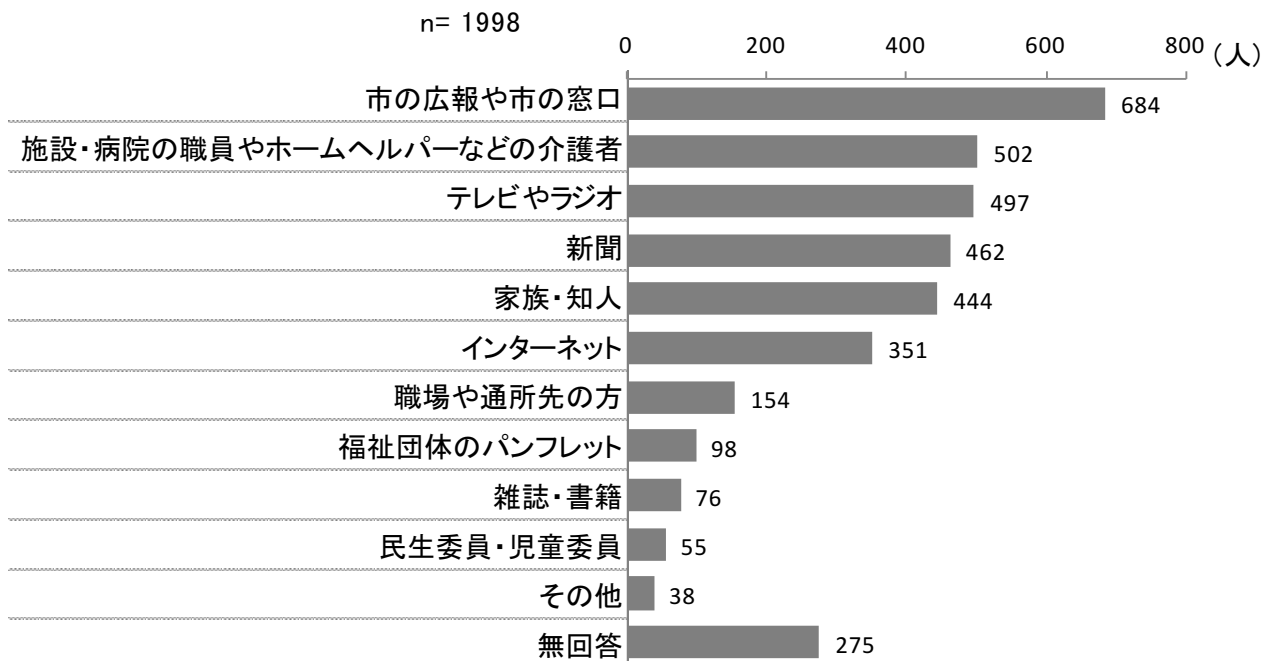
ペットと一緒に避難できる場所がない／停電・電源の確保／ライフラインの停止、通行止め／パニック 等

13. 障がい福祉に関する情報について

(1) 障がい福祉に関する情報の入手手段

問12(1) 障がい福祉に関する情報は、主にどのような手段で入手していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

障がい福祉に関する情報の入手手段については、「市の広報や市の窓口」が684人(34.2%)と最も多く、次いで「施設・病院の職員やホームヘルパーなどの介護者」が502人(25.1%)、「テレビやラジオ」が497人(24.9%)となっています。



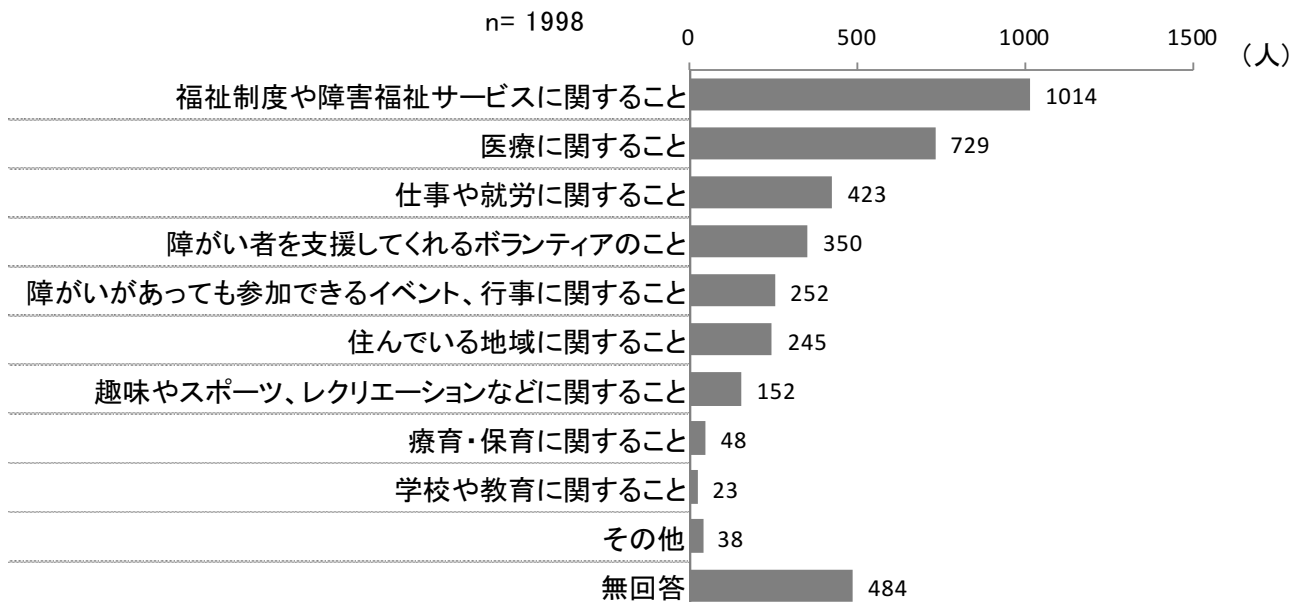
■「その他」の主な内容

情報の入手の仕方がわからない／満足に入手できていない／入手していない 等

(2) 障がい福祉の情報について必要とする内容

問12 (2) 障がい福祉の情報について、どのようなものが必要だと思いますか。
(あてはまる番号3つまで○)

障がい福祉の情報について必要とする内容については、「福祉制度や障害福祉サービスに関すること」が1,014人(50.8%)と最も多く、次いで「医療に関すること」が729人(36.5%)、「仕事や就労に関すること」が423人(21.2%)となっています。



■ 「その他」の主な内容

お金のこと／生命保険に関すること／バリアフリー／情報が広く行きわたってない／家族が情報を知りたい 等

14. 相談したいことや相談方法について

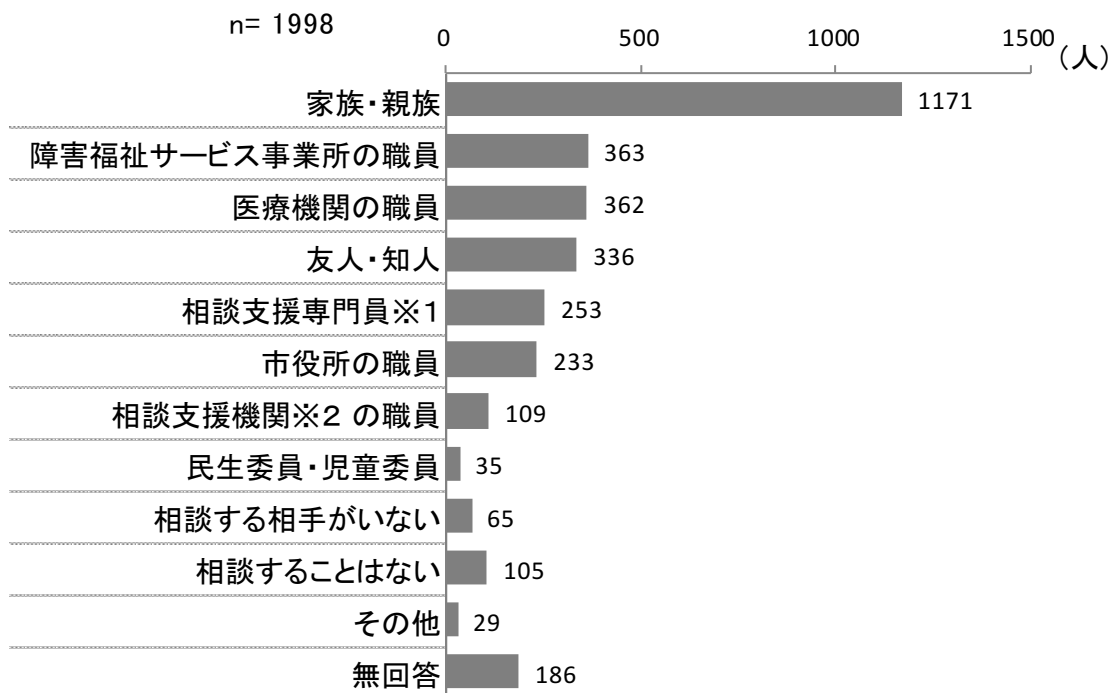
(1) 困ったことや疑問に思うことの相談先

問13 (1) 困ったことや疑問に思うことは、誰に相談していますか。
(あてはまる番号3つまで○)

※1 相談支援専門員とは…障害福祉サービスなどの利用計画の作成や地域生活への移行など障がいのある方の全般的な相談支援を行う人のことです。

※2 相談支援機関とは…障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室すてら（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）のことです。

困ったことや疑問に思うことの相談先については、「家族・親族」が1,171人（58.6%）と最も多く、次いで「障害福祉サービス事業所の職員」が363人（18.2%）、「医療機関の職員」が362人（18.1%）となっています。



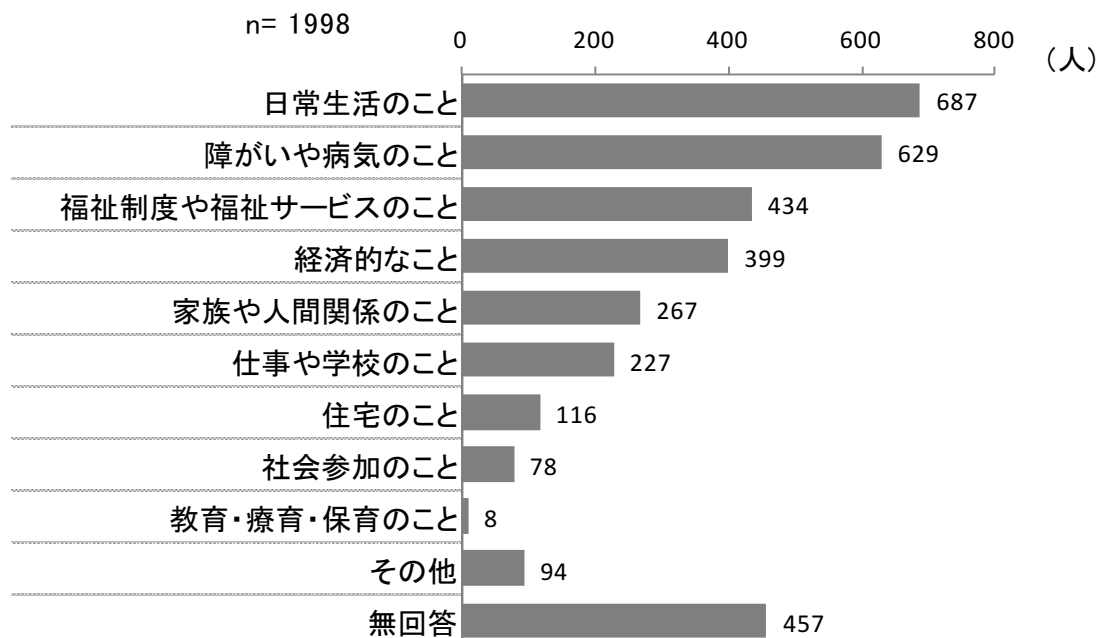
■ 「その他」の主な内容

インターネット・パソコン／無料相談電話／保健所の職員／議員 等

(2) 相談したい内容

問13 (2) 相談したいことは、主にどのようなことですか。(あてはまる番号3つまで○)

相談したい内容については、「日常生活のこと」が687人(34.4%)と最も多く、次いで「障がいや病気のこと」が629人(31.5%)、「福祉制度や福祉サービスのこと」が434人(21.7%)となっています。



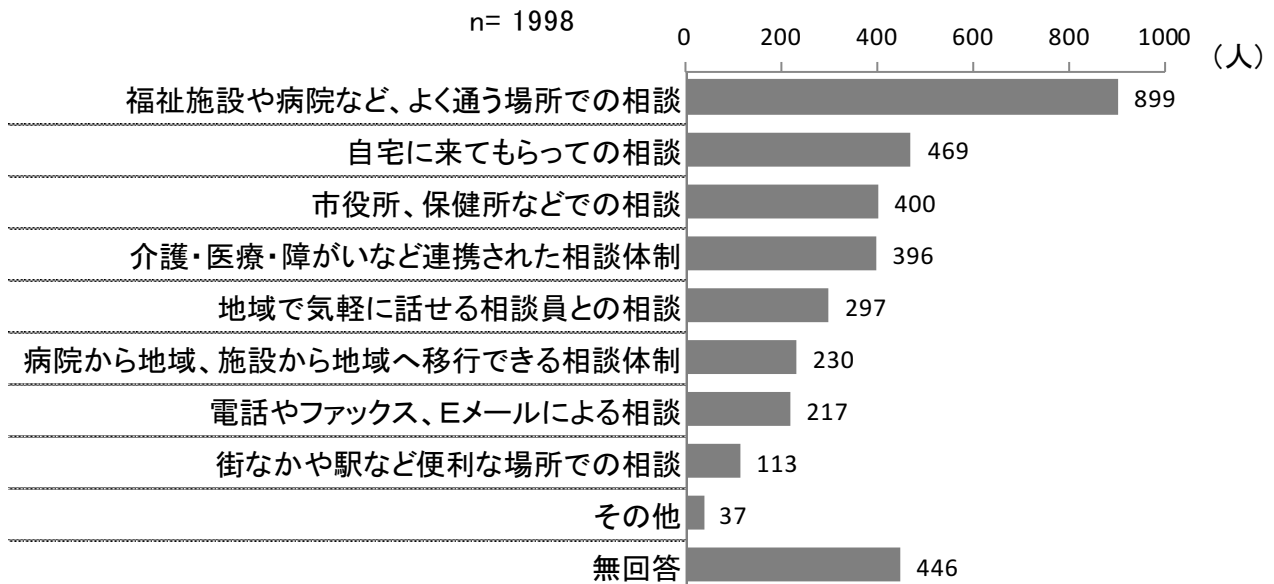
■「その他」の主な内容

電動発声器の改良／自分が死んだ後のこと／法・制度について 等

(3) 望ましいと思う「相談場所・体制」

問13 (3) どのような「相談場所・体制」が望ましいと思いますか。(あてはまる番号3つまで○)

望ましいと思う「相談場所・体制」については、「福祉施設や病院など、よく通う場所での相談」が899人(45.0%)と最も多く、次いで「自宅に来てもらっての相談」が469人(23.5%)、「市役所、保健所などでの相談」が400人(20.0%)となっています。



■「その他」の主な内容

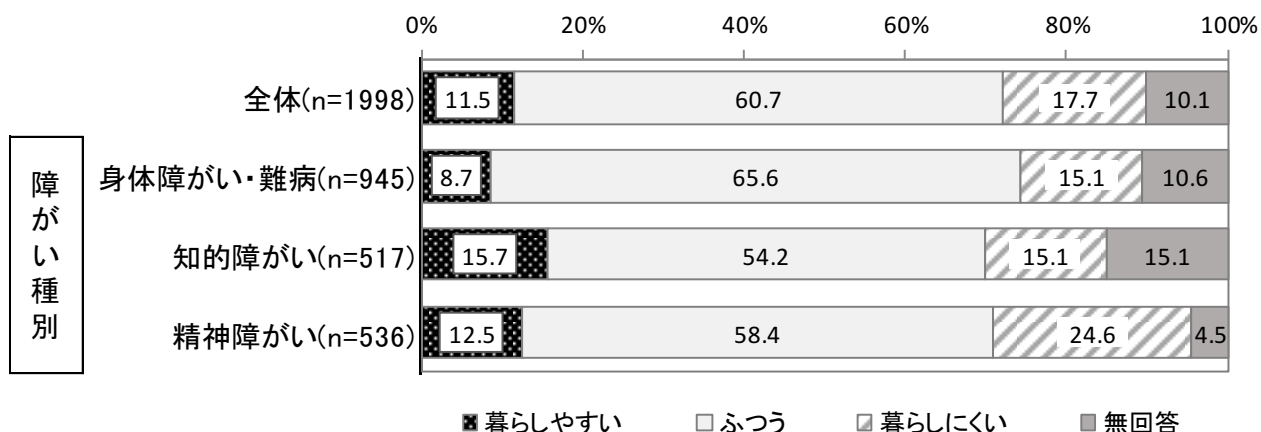
平日のみだけでなく土日祝に相談できる体制／担当者によるばらつきの少ない高品質で継続的な相談体制／たらい回しの少ない1か所で続けられる相談体制 等

15. 江別における障がい者の生活について

(1) 江別のまちの暮らしやすさ

問14 (1) 江別のまちは、障がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思いますか。
(あてはまる番号1つに○)

江別のまちの暮らしやすさについては、全体では「ふつう」が60.7%と最も高く、次いで「暮らしにくい」が17.7%、「暮らしやすい」が11.5%となっています。

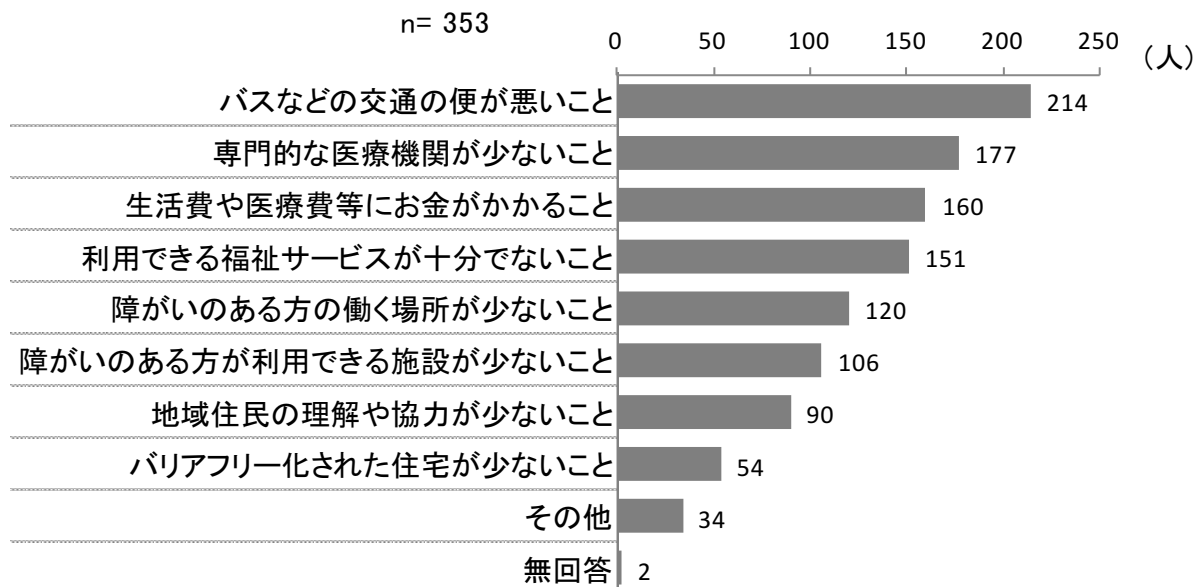


(2) 江別のまちが暮らしにくいと思う理由

【問14(1)で「暮らしにくい」と回答した方にお聞きします。】

問14(2) 暮らしにくいと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

江別のまちが暮らしにくいと思う理由については、「バスなどの交通の便が悪いこと」が214人(60.6%)と最も多く、次いで「専門的な医療機関が少ないこと」が177人(50.1%)、「生活費や医療費等にお金がかかること」が160人(45.3%)となっています。



■「その他」の主な内容

歩道の段差が大きい・障害物がある／音の出る信号がない／余暇サークルが充実していない／インターネットでの情報提供がわかりにくい・オンラインで出来ない手続きが多い／交通機関の割引がない／公共施設、商業施設、道路などバリアフリー化が不十分 等

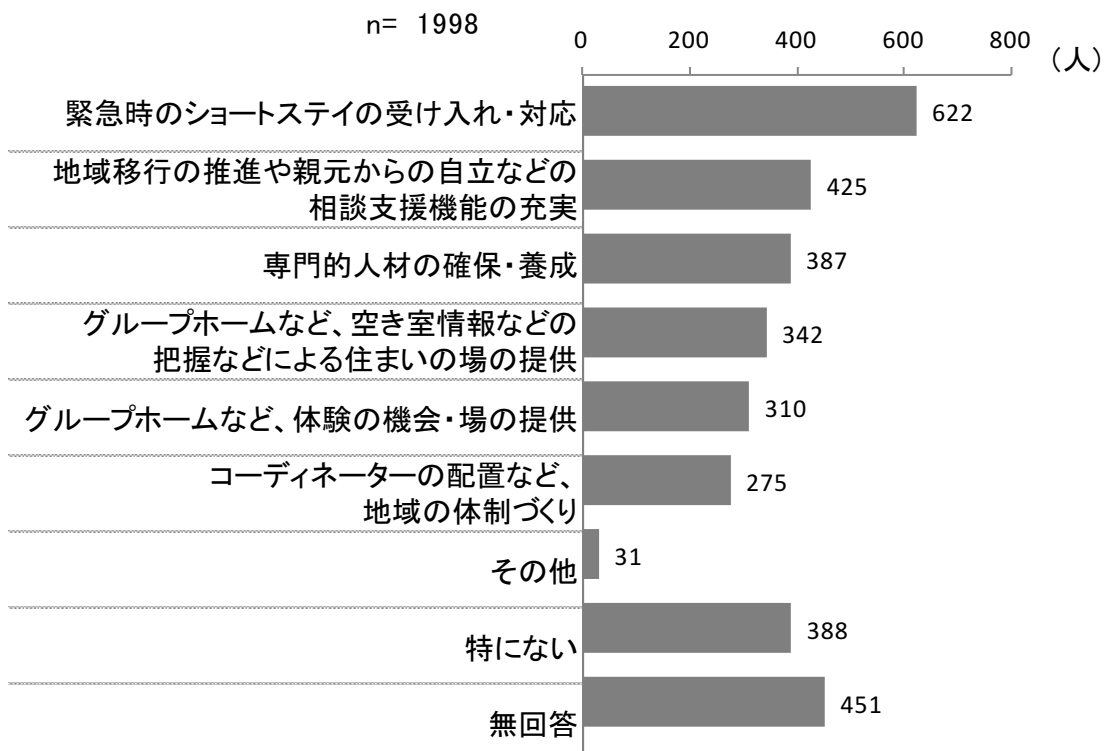
16. 地域生活支援拠点について

(1) 江別市に地域生活支援拠点ができた場合に期待する機能

問15 (1) 今後、市内に地域生活支援拠点※となる場所ができた場合、どのような機能を期待しますか。(あてはまる番号3つまで○)

※地域生活支援拠点とは…障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能や地域支援機能（相談・緊急時の受け入れ・地域体制づくりなど）を持つ場所や体制のことです。

江別市に地域生活支援拠点ができた場合に期待する機能については、「緊急時のショートステイの受け入れ・対応」が622人（31.1%）と最も多く、次いで「地域移行の推進や親元からの自立などの相談支援機能の充実」が425人（21.3%）、「専門的人材の確保・養成」が387人（19.4%）となっています。



■「その他」の主な内容

親亡き後のこと・居場所／終活・葬儀など／職員として働ける場（障がい者雇用）／障がいの有無を気にせず交流できる憩いの場 等

17. 障がい福祉施策について

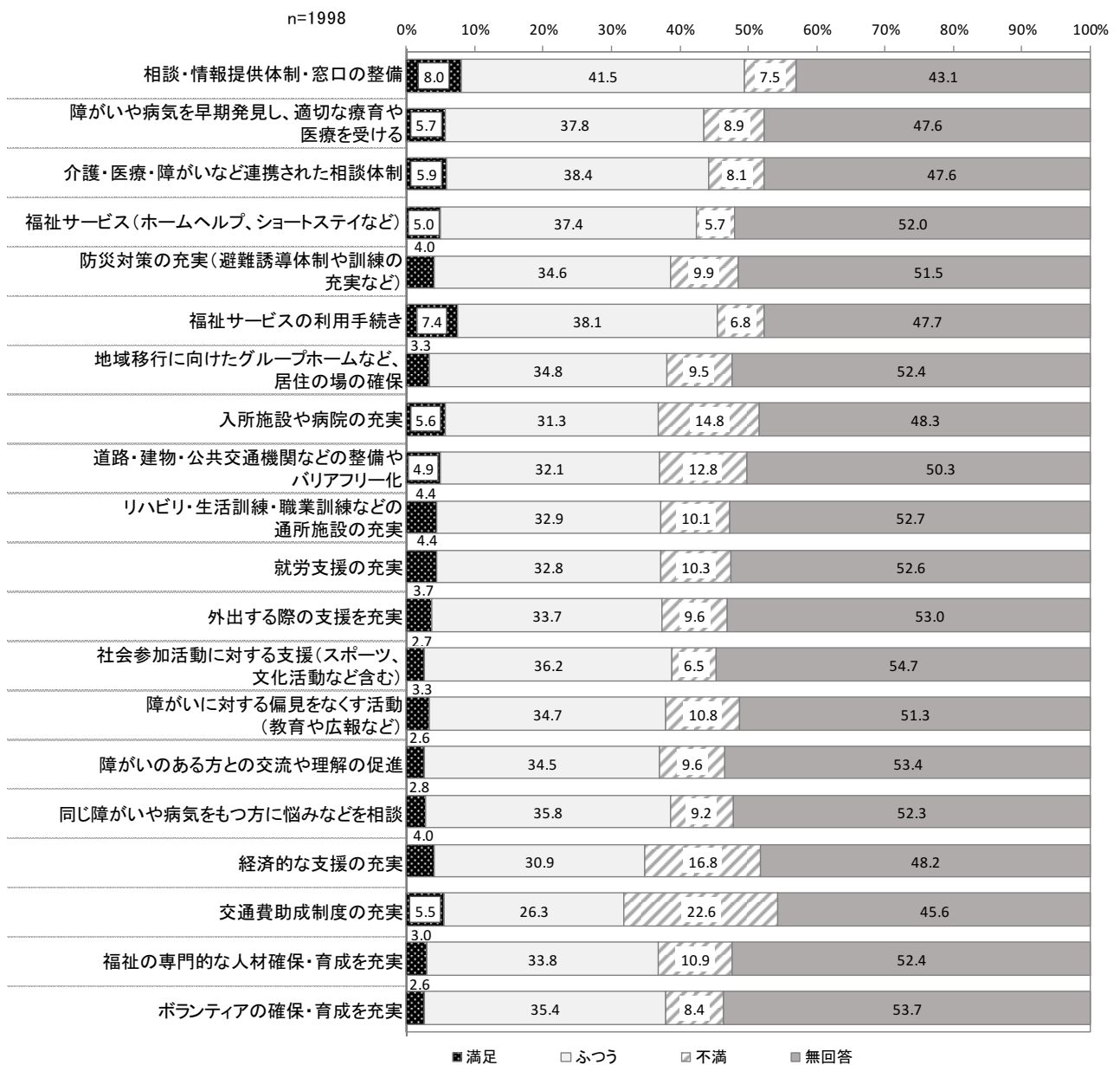
(1) 江別市の取り組みへの満足度、江別市の取り組みの重要度

問16 江別市の取り組みについてどの程度満足していますか。また、江別市が今後、力をいれるべきことは何だと思えますか。【記入例】を参考に、該当する各欄に○をつけてください。

◎江別市の取り組みへの満足度

江別市の取り組みへの満足度については、「相談・情報提供体制・窓口整備」「福祉サービスの利用手続き」で満足と回答した割合が高くなっています。

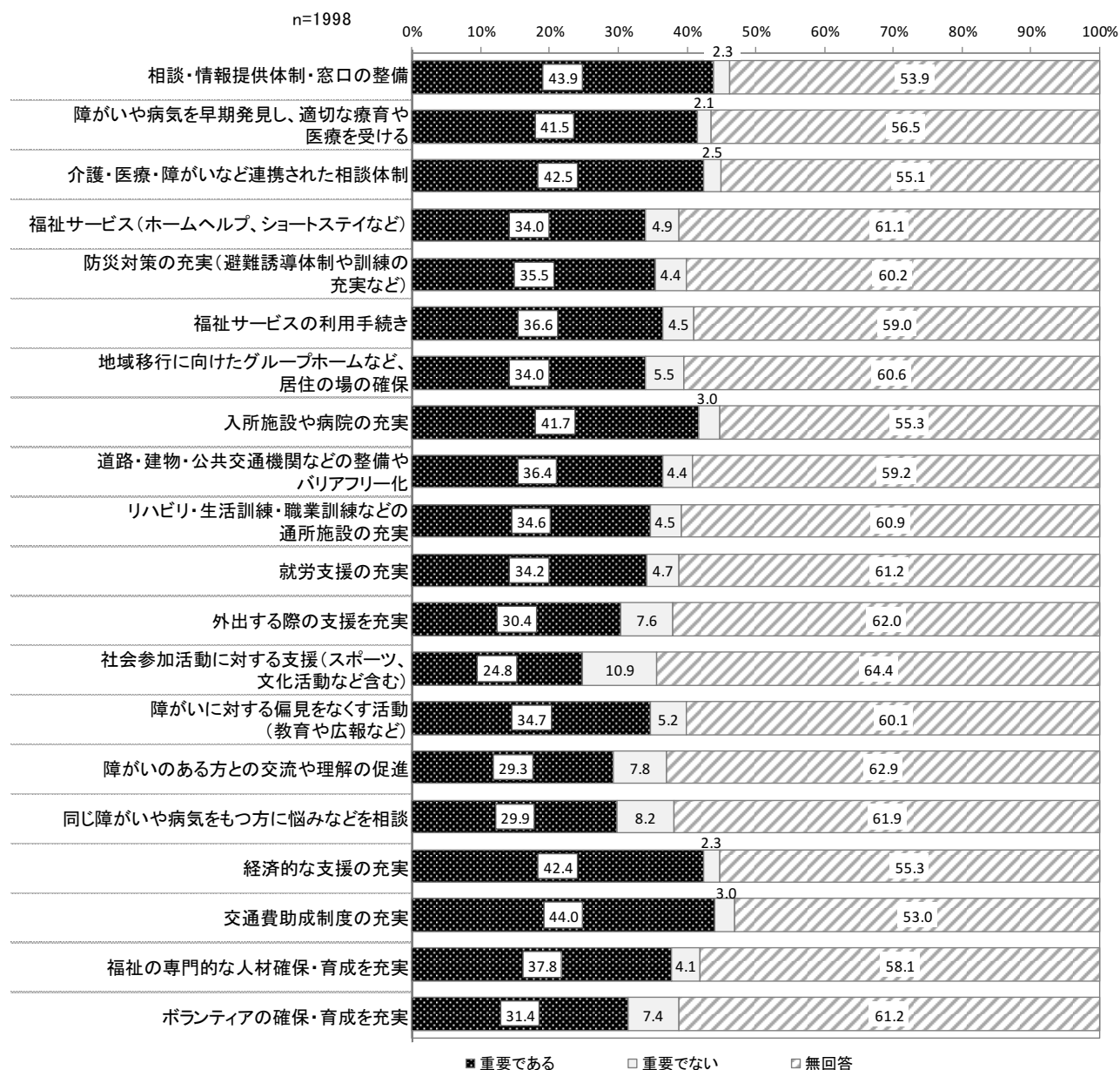
一方、「交通費助成制度の充実」「経済的な支援の充実」で不満と回答した割合が高くなっています。



◎江別市の取り組みの重要度

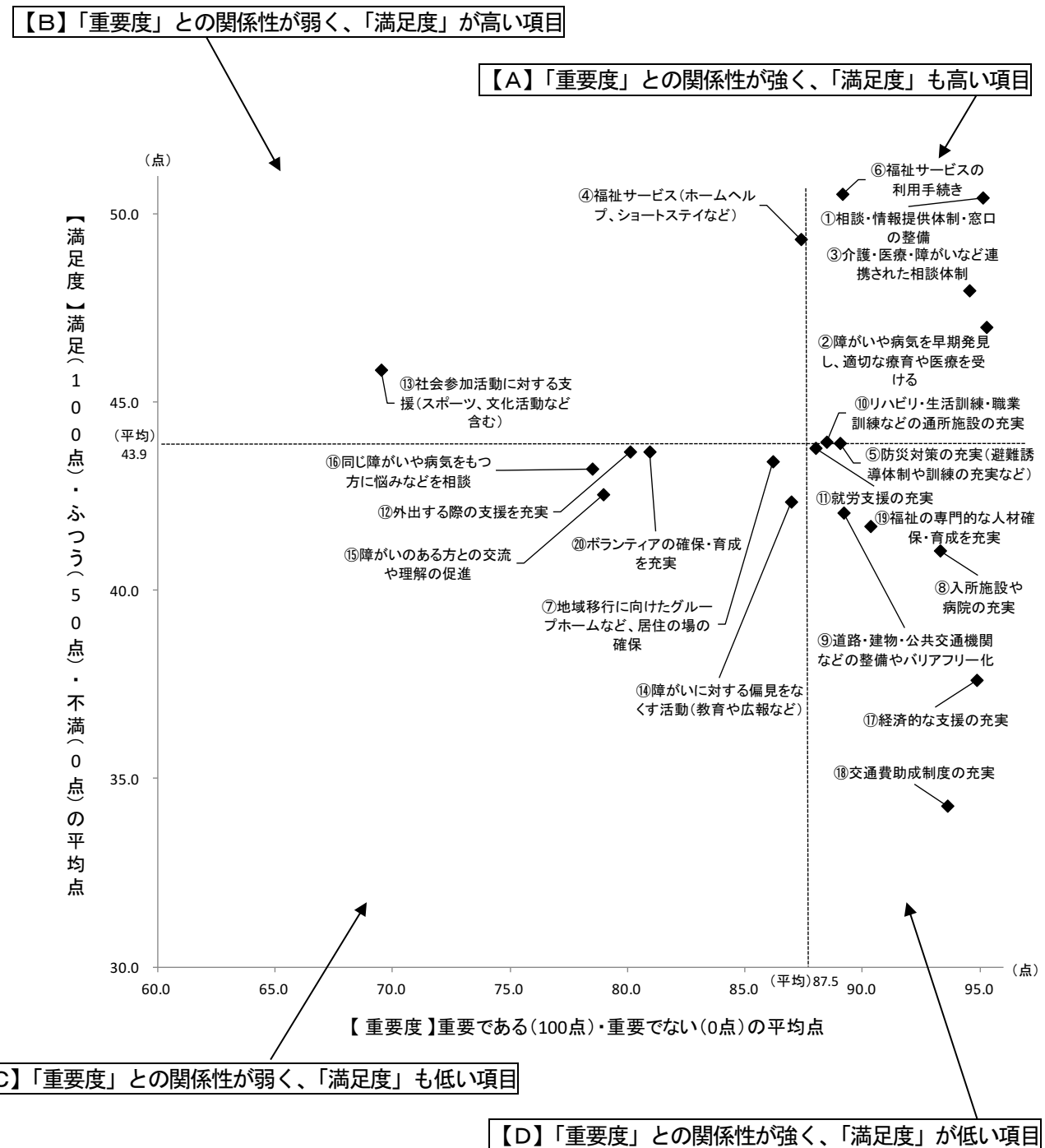
江別市の取り組みへの重要度については、「交通費助成制度の充実」「相談・情報提供体制・窓口整備」で重要と回答した割合が高くなっています。

一方、「社会参加活動に対する支援（スポーツ、文化活動など含む）」が重要でないと回答した割合が高くなっています。



◎江別市の取り組みの「重要度」と「満足度」の関係

「⑤防災対策の充実（避難誘導体制や訓練の充実など）」「⑧入所施設や病院の充実」「⑨道路・建物・公共交通機関などの整備やバリアフリー化」「⑪就労支援の充実」「⑰経済的な支援の充実」「⑱交通費助成制度の充実」「⑲福祉の専門的な人材確保・育成を充実」は、<【D】「重要度」との関係性が強く、「満足度」が低い項目>の象限に位置しています。今後はこれらの取り組みを充実させることにより満足度の向上につながると推測できます。



第2章 障がい者調査結果の詳細

◆横軸と縦軸の説明

重要度（横軸）：①～⑳の項目について、重要である（100点）・重要でない（0点）とした場合の平均点

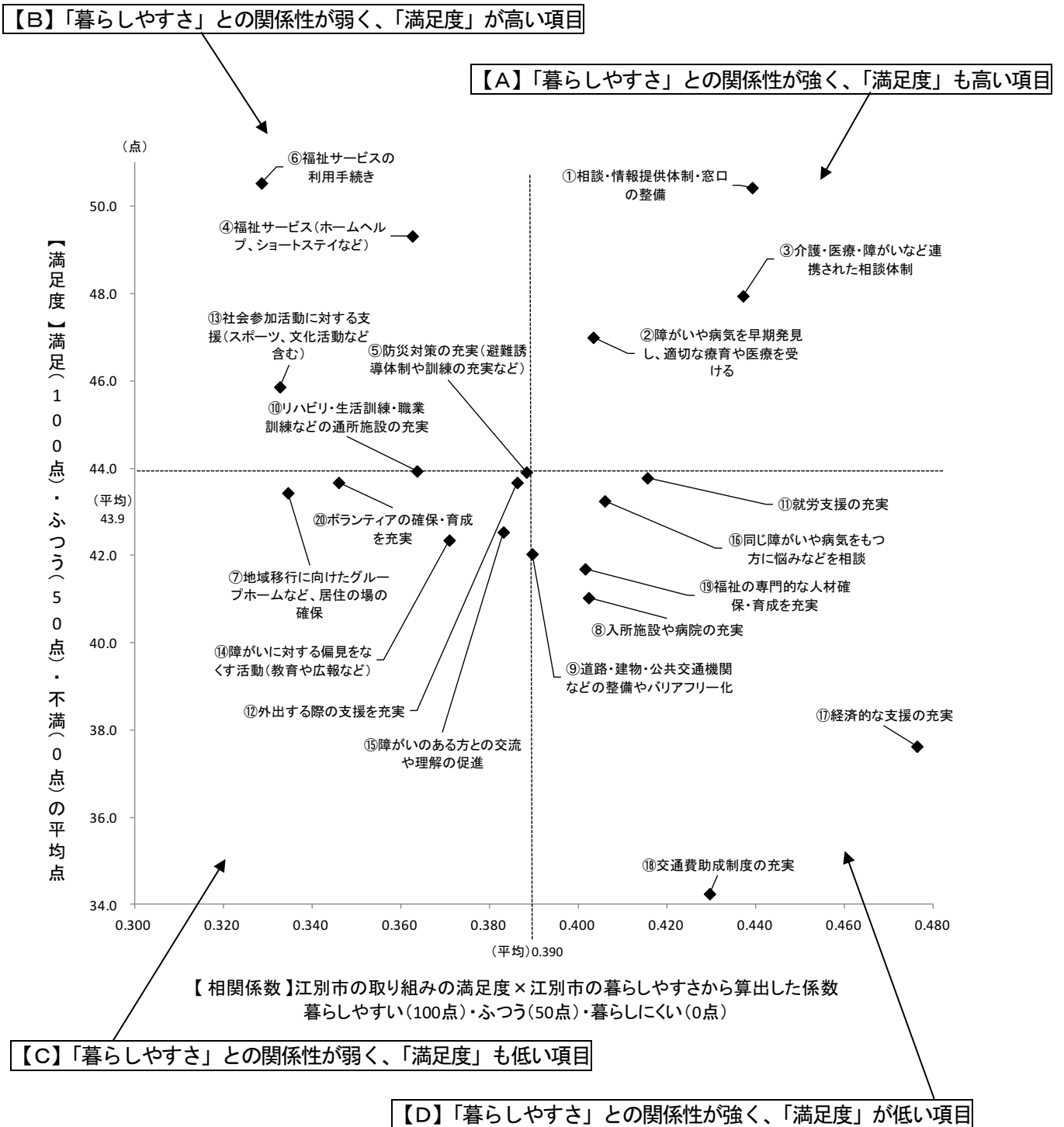
満足度（縦軸）：①～⑳の項目について、満足（100点）・ふつう（50点）・不満（0点）とした場合の平均点

◆各項目の位置付け

	重要度(横軸)	満足度(縦軸)
①相談・情報提供体制・窓口の整備	95.1	50.4
②障がいや病気を早期発見し、適切な療育や医療を受ける	95.3	47.0
③介護・医療・障がいなど連携された相談体制	94.5	47.9
④福祉サービス(ホームヘルプ、ショートステイなど)	87.4	49.3
⑤防災対策の充実(避難誘導體制や訓練の充実など)	89.1	43.9
⑥福祉サービスの利用手続き	89.1	50.5
⑦地域移行に向けたグループホームなど、居住の場の確保	86.2	43.4
⑧入所施設や病院の充実	93.3	41.0
⑨道路・建物・公共交通機関などの整備やバリアフリー化	89.2	42.0
⑩リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の充実	88.5	43.9
⑪就労支援の充実	88.0	43.8
⑫外出する際の支援を充実	80.1	43.7
⑬社会参加活動に対する支援(スポーツ、文化活動など含む)	69.5	45.9
⑭障がいに対する偏見をなくす活動(教育や広報など)	87.0	42.4
⑮障がいのある方との交流や理解の促進	79.0	42.5
⑯同じ障がいや病気をもつ方に悩みなどを相談	78.5	43.2
⑰経済的な支援の充実	94.8	37.6
⑱交通費助成制度の充実	93.6	34.3
⑲福祉の専門的な人材確保・育成を充実	90.3	41.7
⑳ボランティアの確保・育成を充実	80.9	43.7

◎江別市の「暮らしやすさ」と江別市の取り組みの「満足度」の関係

「⑧入所施設や病院の充実」「⑨道路・建物・公共交通機関などの整備やバリアフリー化」「⑪就労支援の充実」「⑯同じ障がいや病気をもつ方に悩みなどを相談」「⑰経済的な支援の充実」「⑱交通費助成制度の充実」「⑲福祉の専門的な人材確保・育成を充実」は、<【D】「暮らしやすさ」との関係性が強く、「満足度」が低い項目>の象限に位置しています。そのため、今後はこれらの取り組みを充実させることで、“障がいのある方にとって暮らしやすいまち”という評価につながると推測できます。



第2章 障がい者調査結果の詳細

◆横軸と縦軸の説明

相関係数（横軸）：①～⑳の満足度と江別市の暮らしやすさで暮らしやすい（100点）、ふつう（50点）、暮らしにくい（0点）とした場合の相関係数＜関係性の強さ＞

《相関係数の数値の意味》

0.0～0.2	(ほぼ)相関がない
0.2～0.4	弱い相関がある
0.4～0.7	相関がある
0.7～0.9	強い相関がある
0.9～1.0	(ほぼ)完全な相関がある

満足度（縦軸）：①～⑳の項目について、満足（100点）・ふつう（50点）・不満（0点）とした場合の平均点

◆各項目の位置付け

	相関係数(横軸)	満足度(縦軸)
①相談・情報提供体制・窓口の整備	0.439	50.4
②障がいや病気を早期発見し、適切な療育や医療を受ける	0.403	47.0
③介護・医療・障がいなど連携された相談体制	0.437	47.9
④福祉サービス(ホームヘルプ、ショートステイなど)	0.363	49.3
⑤防災対策の充実(避難誘導體制や訓練の充実など)	0.388	43.9
⑥福祉サービスの利用手続き	0.329	50.5
⑦地域移行に向けたグループホームなど、居住の場の確保	0.335	43.4
⑧入所施設や病院の充実	0.402	41.0
⑨道路・建物・公共交通機関などの整備やバリアフリー化	0.390	42.0
⑩リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の充実	0.364	43.9
⑪就労支援の充実	0.416	43.8
⑫外出する際の支援を充実	0.386	43.7
⑬社会参加活動に対する支援(スポーツ、文化活動など含む)	0.333	45.9
⑭障がいに対する偏見をなくす活動(教育や広報など)	0.371	42.4
⑮障がいのある方との交流や理解の促進	0.383	42.5
⑯同じ障がいや病気をもつ方に悩みなどを相談	0.406	43.2
⑰経済的な支援の充実	0.477	37.6
⑱交通費助成制度の充実	0.430	34.3
⑲福祉の専門的な人材確保・育成を充実	0.402	41.7
⑳ボランティアの確保・育成を充実	0.346	43.7

18. 自由記載

問17 今後の障がい福祉施策や障害福祉サービスについて、ご本人、ご家族の意見や要望を自由にお書きください。

今後の障がい福祉施策や障害福祉サービスについては、433人の方から615件のご意見・ご要望をいただきました。以下、15項目に整理し、各項目の主な意見・要望を抜粋、要約して掲載しました。

項目	件数
サービスに関する意見・要望	130
生活・暮らしに関する意見・要望	67
医療に関する意見・要望	23
障がいへの理解に関する意見・要望	23
差別・偏見に関する意見・要望	8
就労に関する意見・要望	29
今後・将来に関する意見・要望	38
外出に関する意見・要望	68
バリアフリーに関する意見・要望	9
交流の機会に関する意見・要望	17
災害時の対応に関する意見・要望	10
関係機関の連携に関する意見・要望	10
情報提供・相談支援・窓口の整備に関する意見・要望	68
行政の対応に関する意見・要望	18
その他	97
計	615

【サービスに関する意見・要望】

- ・精神障がいの利用できるサービスを増やしてほしい。
- ・江別市内にA型事業所をさらに誘致できたらいいと思います。
- ・タクシーの補助を充実させてほしい。ガソリンチケットとタクシーチケットの選択ができる様にしてほしい。
- ・交通費の助成をもっと考えてほしい。

【生活・暮らしに関する意見・要望】

- ・住宅を見付けるのが大変。単身者が動けなくなるまで自立して一人で暮らせる1DKの公営住宅（2万円～3万円）がほしい。
- ・障がい者で一人暮らしを希望する人に対する支援を充実させてほしい。
- ・経済的に安心していけるような障がい福祉施策の充実をお願いしたいです。

【医療に関する意見・要望】

- ・外出が難しいので病院へ行くのが大変で、訪問してくれる病院を探すのがまた難しい。あっても数が少ない。
- ・病院でも福祉サービスの紹介等をしてけると良い。
- ・高度医療を受ける際には札幌の病院を紹介されたりしますが、通院、入院など往復するだけでもひと仕事です。

【障がいへの理解に関する意見・要望】

- ・障がいの重い、軽いに関係なくまず1人の人間である事を分かってほしい。接し方や話し方、挨拶などで特に差別的に感じる事が多い。
- ・精神障がい者への理解が不足しているように感じる。

【差別・偏見に関する意見・要望】

- ・ヘルプマークの認知度が低いせいか、公共交通機関で優先席に座っていたらにらまれた。
- ・行政等はずっと一般市民と障害者側のすれ違いや偏見等、また一般人の側が障害者をうとましく感じてしまう要因を取り去る努力をして欲しいと切に願う。

【就労に関する意見・要望】

- ・江別市には、障がい者を使ってくれる企業が全然無いので生きて行くために、職業を選んでいる余裕は無く、自分の体に無理がかかっても、仕事を続けるしかありません。障がい者にも働ける場所が増えてほしいです。
- ・非正規の仕事ばかりで生活が不安定です。企業へ障がいの説明をしようにも障害者の中にはコミュニケーションがとりにくい人が多いのでそういった障がい周知を行政から雇用主へして欲しいです。
- ・働けないほど辛い障害ではないが自力で正社員になるのは難しいような、グレーゾーン程度の障害者に対する支援も行ってほしい。

【今後・将来に関する意見・要望】

- ・将来本人一人になった時の事が不安です。グループホームや入所施設は十分整っているのかいつも心配しています。
- ・先のことが心配です。何をしたら良いのか相談、提案、調整してくれる人がいるといいと思います。

【外出に関する意見・要望】

- ・交通の便がもう少しよくなるとありがたいです。
- ・高齢になり免許証を返納したが、そのあとの不便さが大変です。公共交通機関の充実を。
- ・精神障害の方にも乗り物の支援をお願いします。家に居るだけでは治らないのです。でも金銭面での余裕もないため、外出する事もできずにいます。

【バリアフリーに関する意見・要望】

- ・車いすで行動できる場所をふやしてほしい。(道幅や道路の幅など)
- ・点字ブロックを、もっと増やしてほしい。
- ・バリアフリーの公営住宅の整備・充実。車道と歩道の段差の解消。除雪の迅速な対応を行ってほしい。
- ・冬は駐車的身障者用スペースマークが見えなくなるから看板等を立ててほしい。

【交流の機会に関する意見・要望】

- ・スポーツや趣味、イベントなど交流・活動できる場が増えること。そのような団体にアクセスしやすくなることを要望します。
- ・自立やリハビリに繋がるような料理、体操教室を公民館で開催してほしい。
- ・私の障害の特性として、他人（障害の有無にかかわらず）とコミュニケーションをとることに大変難があり、おしゃべりするのも主にネット上です。気軽にコミュニケーションがとれて、セキュリティのしっかりした交流サイトを市で開設していただけると嬉しいです。

【災害時の対応に関する意見・要望】

- ・災害に向けて、簡易ベッドや洋式トイレ、椅子等が整った障害者、高齢者向けの避難所を多数準備するのはハードルが高すぎてあまり現実的ではないと思っていますが、自宅避難所に向けての市内の生活情報発信は、もう少し充実してもらえると嬉しいです。
- ・自然災害が多くなっていますが、障がい者の避難所に関する情報がありません。
- ・知的、精神、発達障がいなどで一人暮らししている方に緊急通報システムの導入をしてほしいです。

【関係機関の連携に関する意見・要望】

- ・病院から手順などの説明などを受けて役所へ行ったり自分からやらなければならない事ばかりで病院と区役所などとの連携が少ない様に感じます。
- ・福祉と医療と教育との連携「児者一貫」情報共有して切れ目なく支援してほしい。

【情報提供・相談支援・窓口の整備に関する意見・要望】

- ・障がいがあっても働いている人が多い。5時以降の相談窓口がほしい。
- ・障がい者が使用できるサービスがどれ位あるのかがまったく分からず困ります。どれ位の障がいの程度ならどれ位のサービスを受けられるのか、わかりやすいパンフレットや市の広報などがあればとても助かるのですが。
- ・それぞれのできる事できない事があるので、マッチングサービス的な物があるとありがたいです。自分で探して選ぶのが探すのが大変な事が多い印象です。
- ・福祉施策やサービスの有無すら今まで情報が入って来ず今回このアンケートにより色々有る事を知りました。出来るならば定期的に広報誌や情報誌を送る等のサービスを期待します。

【行政の対応に関する意見・要望】

- ・市から送られてくる郵便物に、いつも障がい福祉課と記載されているが配慮がなさすぎるのではないかな。健康福祉部だけで良いのではないかな。
- ・窓口の方により親身に相談に乗ってくれる方もいるが事務的で「そういうきまりになっています」と冷たい態度の方もいる。心、体に障害のある者は普通でもつらい思いをしています。
- ・障がい年金の申請・手続きについての周知が、不親切に感じました。

【その他】

- ・江別は子育てに関する制度は充実している方だと思います。反面、障がい者や高齢者に対するの制度は全くと言っていいほど不足を感じます。

第2章 障がい者調査結果の詳細

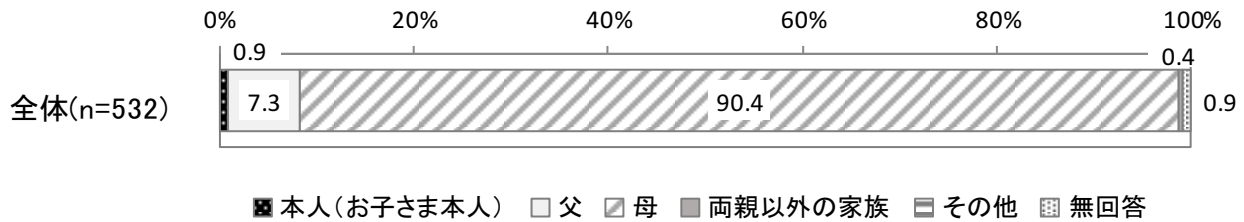
- ・アンケートの内容が難しく、本人が答えられない。ルビを振るほかにも、わかりやすい言葉を用いる、視覚障がい者も見やすい色合いに配慮してほしい。
- ・全ての市民が安心・安全に暮らせる町づくりに取り組んでもらえることを希望します。江別市は暮らしやすい町だと思います。

第3章 障がい児調査結果の詳細

1. 調査票記入者

◎この調査票を記入した方は、どなたですか。(〇は1つ)

調査票記入者については、「母」が90.4%と最も高く、次いで「父」が7.3%、「本人(お子さま本人)」が0.9%となっています。

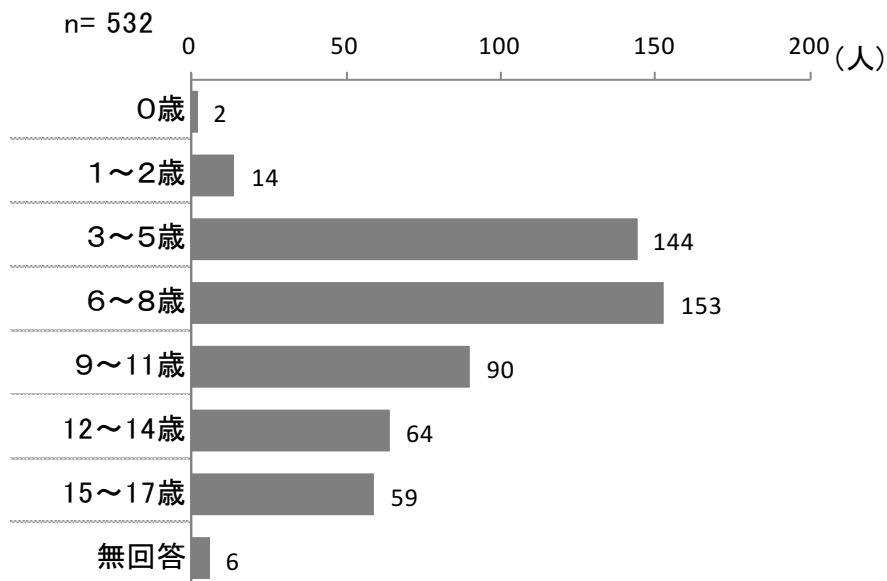


2. 子どものことについて

(1) 子どもの年齢

問1 お子さまの年齢をご記入ください。

子どもの年齢については、「6～8歳」が153人(28.8%)と最も多く、次いで「3～5歳」が144人(27.1%)、「9～11歳」が90人(16.9%)となっています。



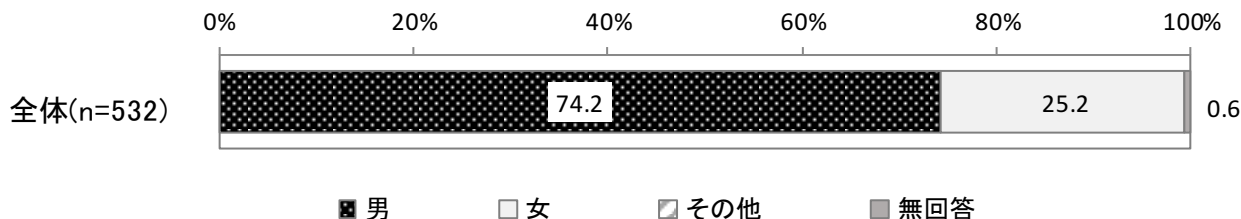
上段: 件 下段: %	n	0歳	1 ～ 2歳	3 ～ 5歳	6 ～ 8歳	9 ～ 11歳	12 ～ 14歳	15 ～ 17歳	無回答
全体	532	2	14	144	153	90	64	59	6
	100.0	0.4	2.6	27.1	28.8	16.9	12.0	11.1	1.1

(2) 子どもの性別

問2 お子さまの性別を教えてください。*1 (○は1つ)

*1: 戸籍上の区分にこだわらず、選択肢から1つ選んでご記入ください。

子どもの性別については、「男」が74.2%、「女」が25.2%となっています。



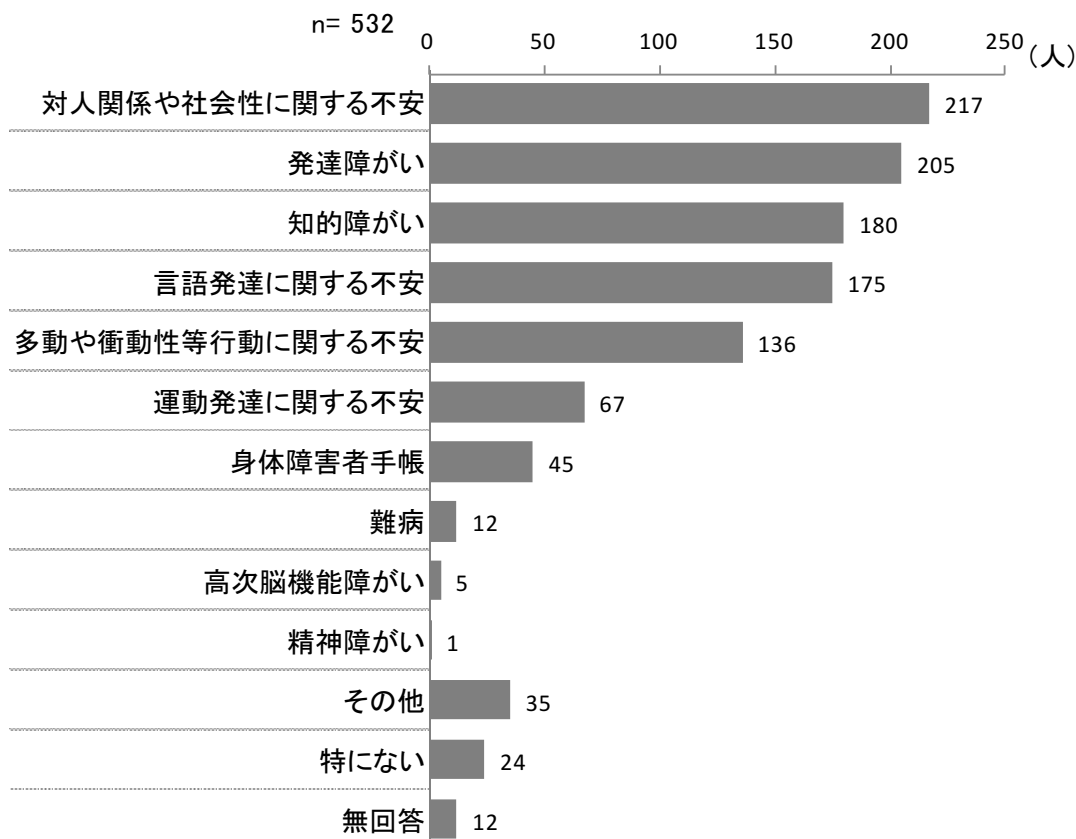
(3) 子どもが所持する手帳や発達の不安

問3 お子さまがお持ちの手帳や発達の不安について教えてください。

(あてはまるものすべてに○をつけ、該当する等級等もご記入・選択してください)

子どもが所持している手帳の種類は、「知的障がい (療育手帳)」が180人 (33.8%)、「身体障害者手帳」が45人 (8.5%) となっています。

所持手帳以外の発達の不安点では、「対人関係や社会性に関する不安」が217人 (40.8%) と最も多く、次いで「発達障がい」205人 (38.5%) となっています。



上段:件 下段:%	n	対人関係や社会性に 関する不安	発達障がい	知的障がい	言語発達に関する不安	多動や衝動性等行動に 関する不安	運動発達に関する不安	身体障害者手帳	難病	高次脳機能障がい	精神障がい	その他	特 に な い	無 回 答
全体	532 100.0	217 40.8	205 38.5	180 33.8	175 32.9	136 25.6	67 12.6	45 8.5	12 2.3	5 0.9	1 0.2	35 6.6	24 4.5	12 2.3

■「その他」の主な内容

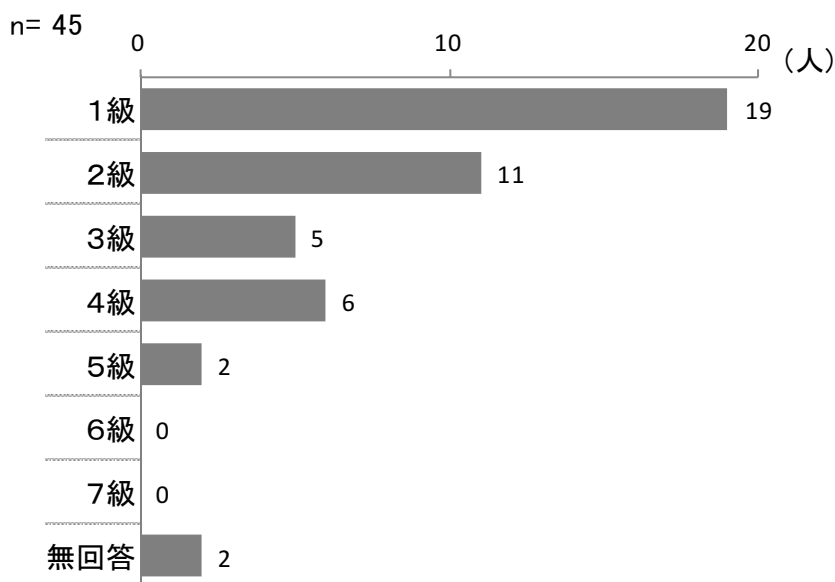
自閉症スペクトラム／てんかん／自立支援医療受給者証 等

【子どもが所持している手帳の種類】

身体障害者手帳の等級は「1級」が19人（42.2%）、「2級」が11人（24.4%）と重度が6割以上と多くなっています。

知的障がい（療育手帳）の等級は「A」が40人（22.2%）、「B」が128人（71.1%）となっています。

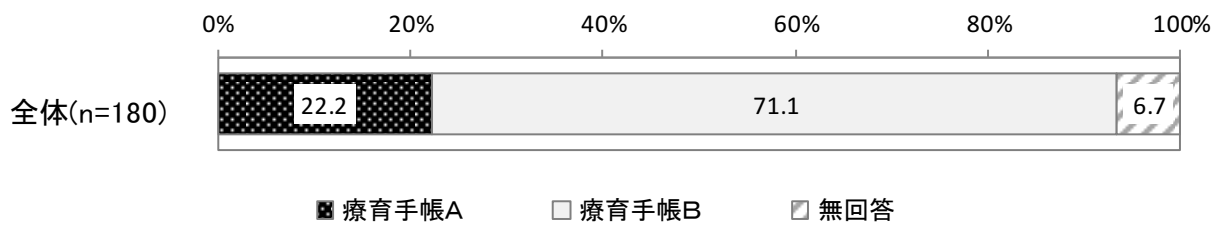
◎身体障害者手帳の等級



上段:件 下段:%	n	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	無 回 答
全体	45 100.0	19 42.2	11 24.4	5 11.1	6 13.3	2 4.4	-	-	2 4.4

第3章 障がい児調査結果の詳細

◎療育手帳の等級



上段: 件 下段: %	n	療育手帳 A	療育手帳 B	無回 答
全体	180	40	128	12
	100.0	22.2	71.1	6.7

◎精神障害者保健福祉手帳の等級

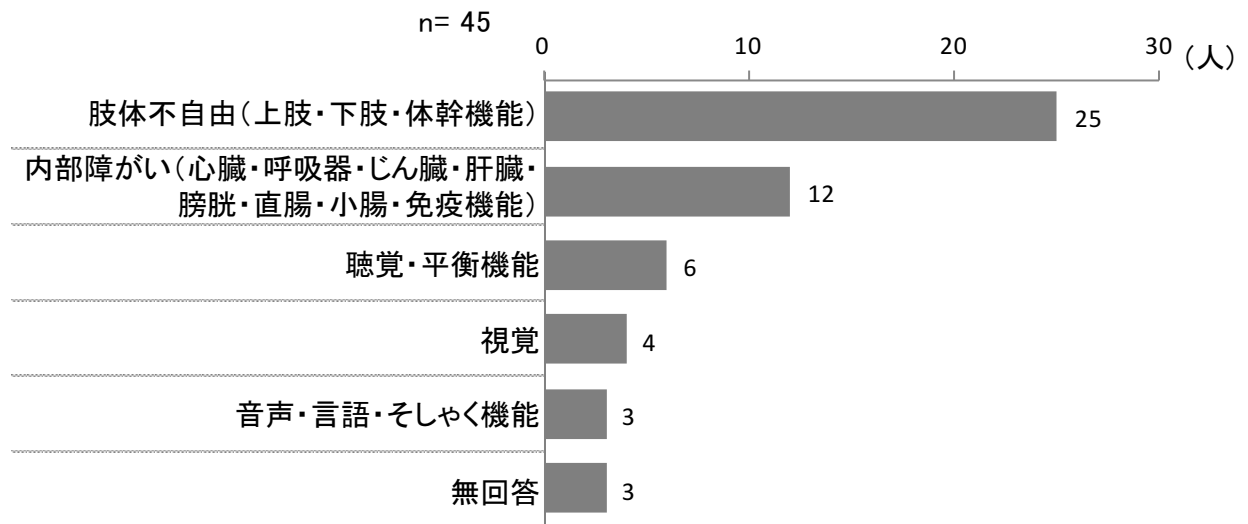
※精神障害者保健福祉手帳を所持しているとの回答が1件ありましたが、等級は無回答です。

(4) 主な障がいの部位

【問3で「身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。】

問3-1 主な障がいの部位は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

主な障がいの部位については、「肢体不自由(上肢・下肢・体幹機能)」が25人(55.6%)と最も多く、次いで「内部障がい(心臓・呼吸器・じん臓・肝臓・膀胱・直腸・小腸・免疫機能)」が12人(26.7%)、「聴覚・平衡機能」6人(13.3%)となっています。

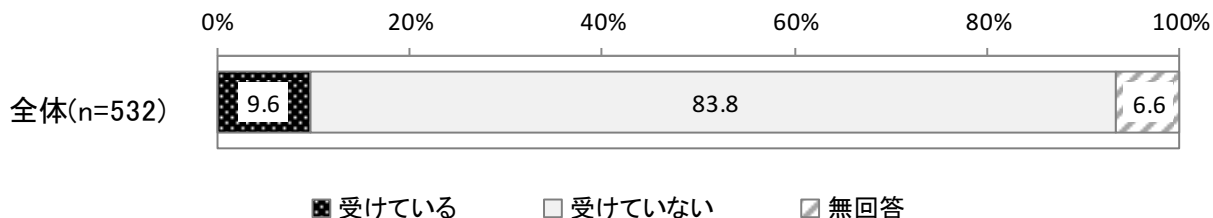


上段:件 下段:%	n	肢体不自由 (上肢・下肢・ 体幹機能)	内部障がい (心臓・呼吸器・ じん臓・肝臓・ 膀胱・直腸・ 小腸・免疫機能)	聴覚・ 平衡機能	視覚	音声・ 言語・そしゃく 機能	無 回 答
全体	45	25	12	6	4	3	3
	100.0	55.6	26.7	13.3	8.9	6.7	6.7

(5) 子どもの日常的な医療的ケアの状況

問4 お子さまは現在、日常的に医療的ケアを受けていますか。(〇は1つ)

子どもの日常的な医療的ケアの状況については、医療的ケアを「受けている」が9.6%、「受けていない」が83.8%となっています。



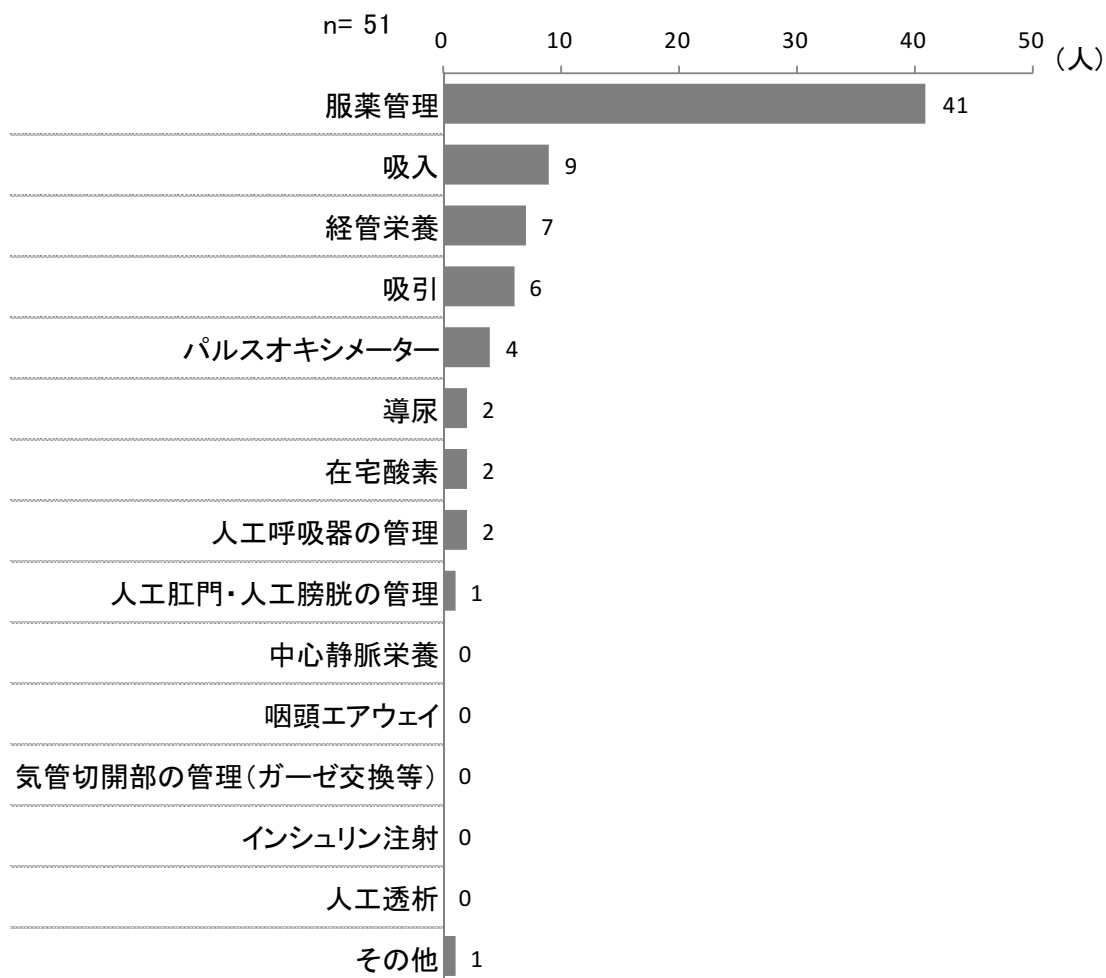
(6) 子どもが現在受けている医療的ケアの種類

【問4で「受けている」と回答した方にお聞きします。】

問4-1 お子さまが現在受けている医療的ケアの種類は次のどれですか。

(あてはまるものすべてに〇)

子どもが現在受けている医療的ケアの種類については、「服薬管理」が41人(80.4%)と最も多く、次いで「吸入」が9人(17.6%)、「経管栄養」が7人(13.7%)となっています。

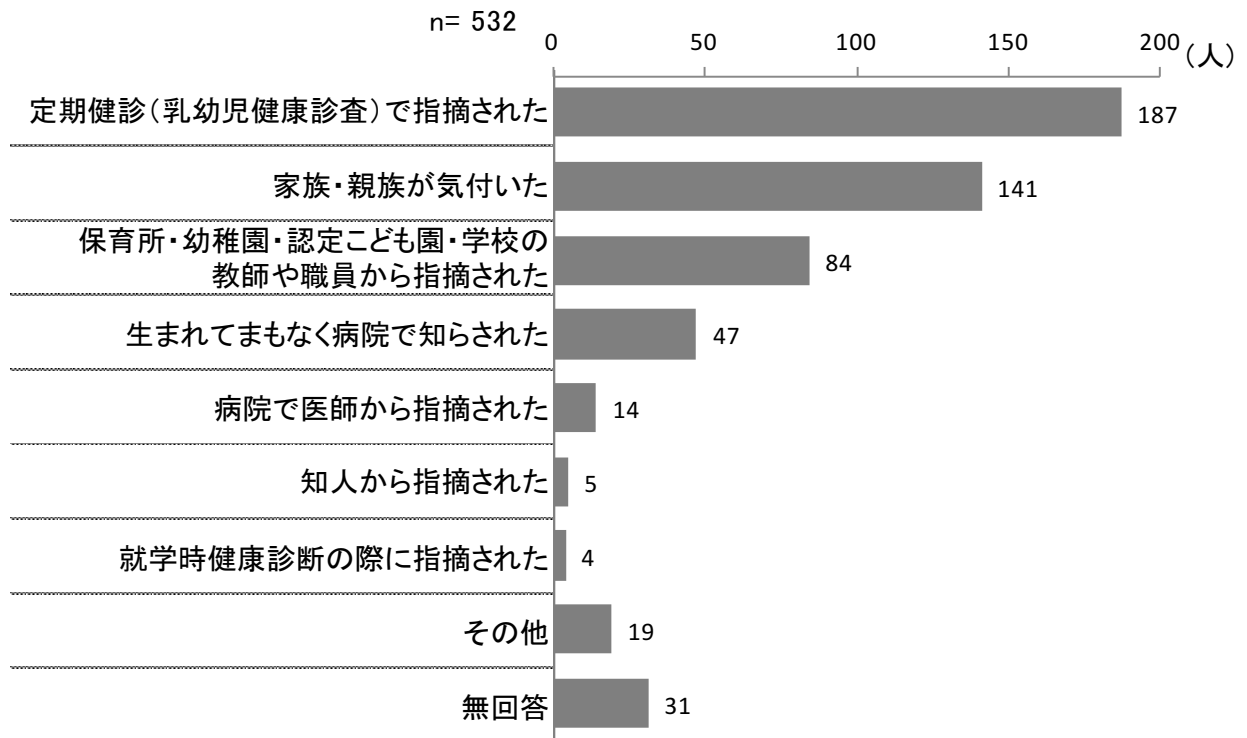


(7) 子どもの発達の不安や障がいに気付いたきっかけ・年齢

問5 お子さまの発達の不安や障がいに気付いたきっかけは何ですか。また、それはいつ頃ですか。
(〇は1つ)

◎発達の不安や障がいに気付いたきっかけ

子どもの発達の不安や障がいに気づいたきっかけについては、「定期健診（乳幼児健康診査）で指摘された」が187人（35.2%）と最も多く、次いで「家族・親族が気付いた」が141人（26.5%）、「保育所・幼稚園・認定こども園・学校の教師や職員から指摘された」が84人（15.8%）となっています。

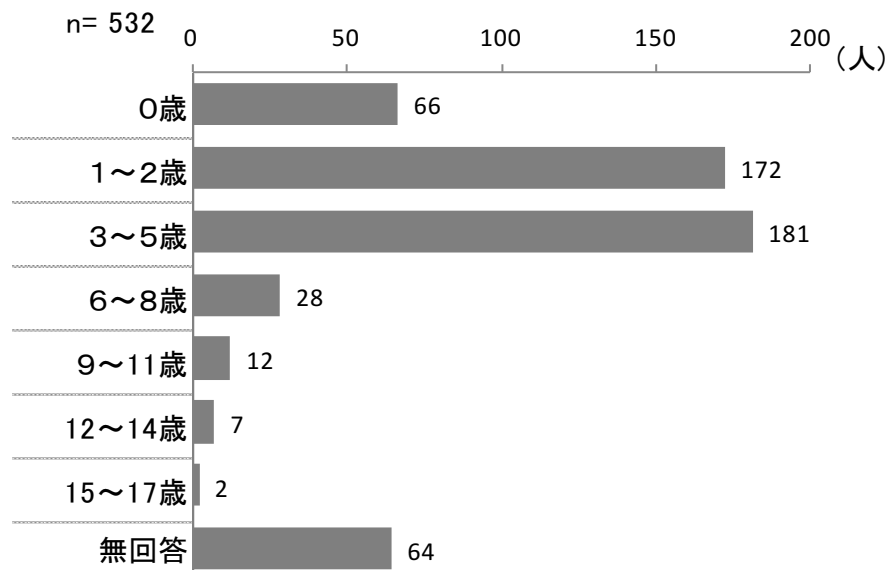


■「その他」の主な内容

生まれる前から／他の子とくらべて／言語の遅れ 等

◎発達不安や障がいに気付いた時の子どもの年齢

発達不安や障がいに気付いた時の子どもの年齢については、「3～5歳」が181人（34.0%）と最も多く、次いで「1～2歳」が172人（32.3%）、「0歳」が66人（12.4%）となっています。

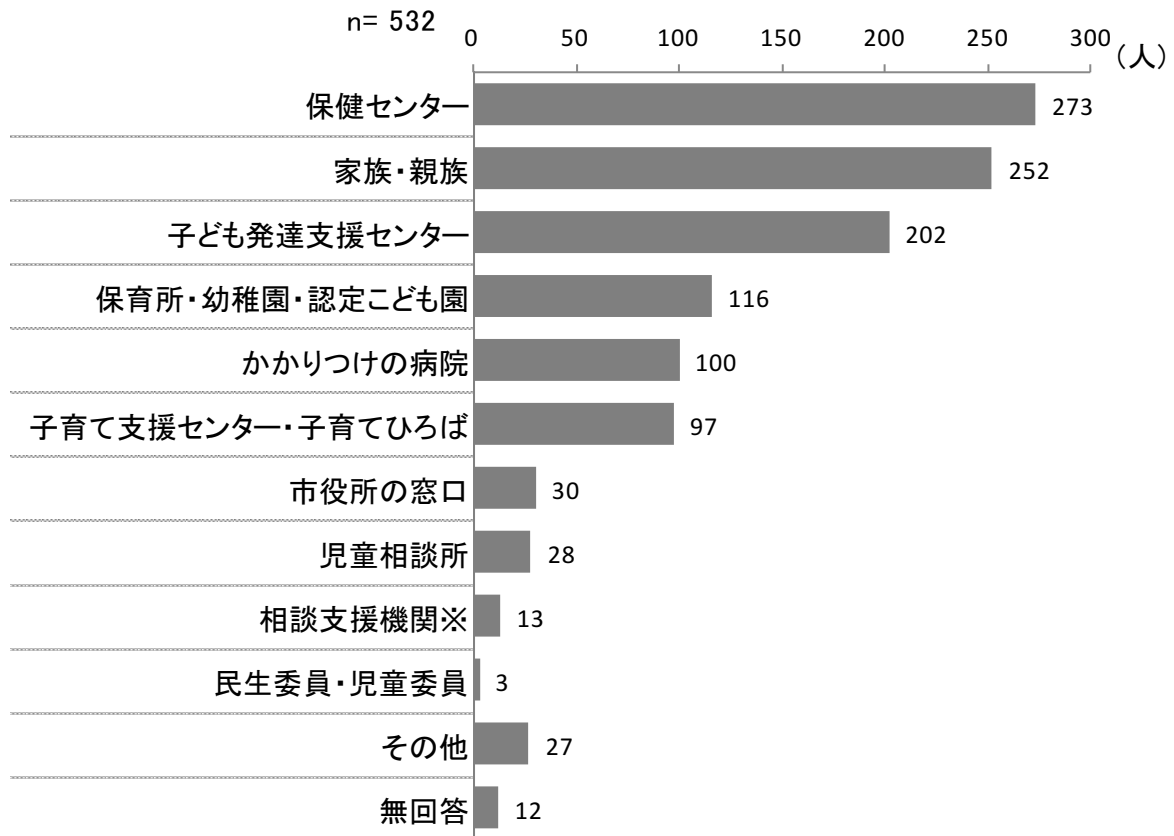


(8) 発達の不安や障がいに気付いたときの相談先

問6 お子さまの発達の不安や障がいに気付いたとき、誰に（どこに）相談しましたか。
 （あてはまるものすべてに○）

※相談支援機関とは…障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室すてら（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）のことです。

発達の不安や障がいに気付いたときの相談先については、「保健センター」が273人（51.3%）と最も多く、次いで「家族・親族」が252人（47.4%）、「子ども発達支援センター」が202人（38.0%）となっています。



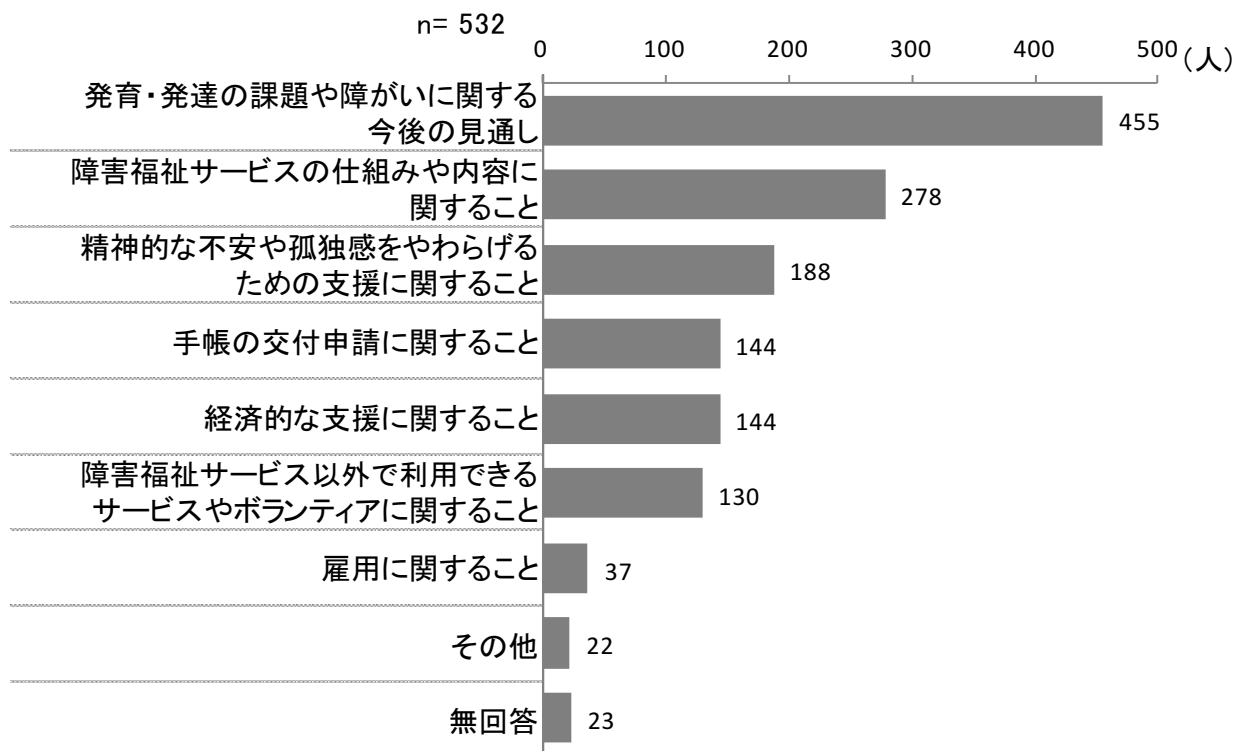
■「その他」の主な内容

学校・教育委員会／友人／助産師／心理士 等

(9) 発達の不安や障がいに気付いたときに、説明してほしかったこと

問7 お子さまの発達の不安や障がいに気付いたときに、どのようなことを説明してほしかったですか。(あてはまるものすべてに○)

発達の不安や障がいに気付いたときに、説明してほしかったことについては、「発育・発達の課題や障がいに関する今後の見通し」が455人(85.5%)と最も多く、次いで「障害福祉サービスの仕組みや内容に関すること」が278人(52.3%)、「精神的な不安や孤独感をやわらげるための支援に関すること」が188人(35.3%)となっています。



■「その他」の主な内容

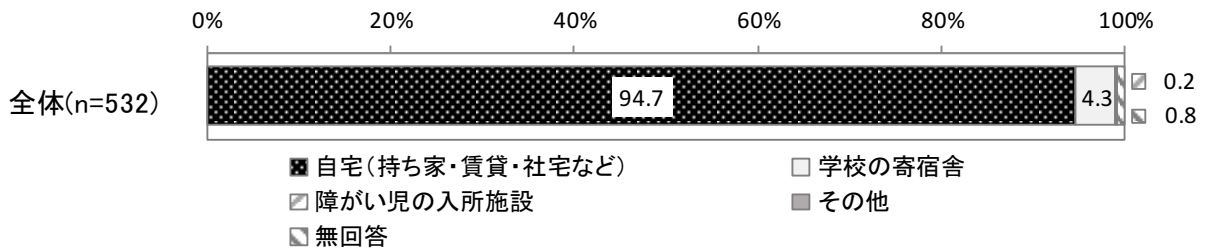
専門的な医療機関の情報／相談サービス(支援機関)／相談機関／患者会の情報／等

3. 子どもの暮らしについて

(1) 現在、子どもが主に暮らしているところ

問8 現在、お子さまが主に暮らしているところは、どこですか。(〇は1つ)

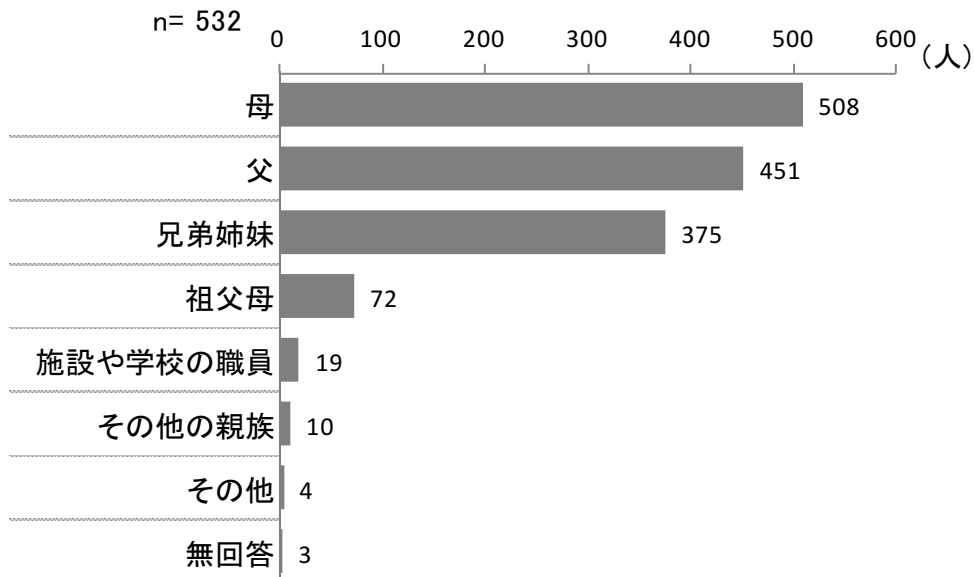
現在、子どもが主に暮らしているところについては、「自宅(持ち家・賃貸・社宅など)」が94.7%と大半を占めています。



(2) 子どもとの同居者

問9 お子さまと一緒に生活されている方は、どなたですか。(あてはまるものすべてに〇)

子どもと一緒に生活している人は、「母」が508人(95.5%)、「父」が451人(84.8%)、「兄弟姉妹」が375人(70.5%)となっています。



■「その他」の主な内容

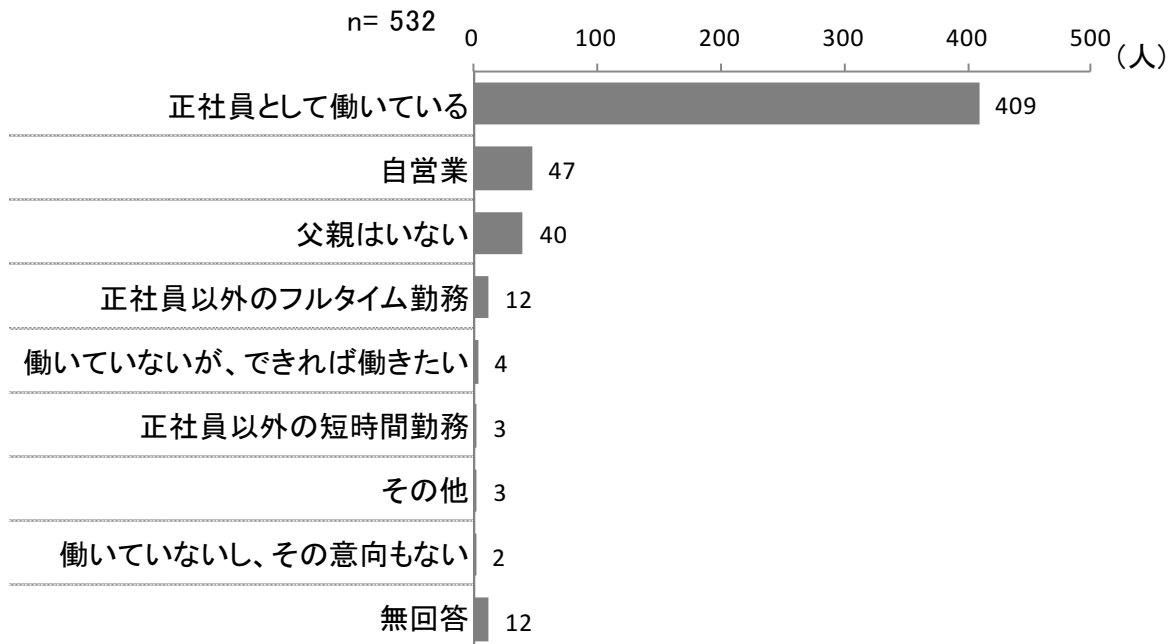
寮母さん 等

(3) 子どもの両親の就労状況

問10 お子さまの父親、母親の就労状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

◎父親の就労状況

父親の就労状況は、「正社員として働いている」が409人(76.9%)、「自営業」が47人(8.8%)となっています。

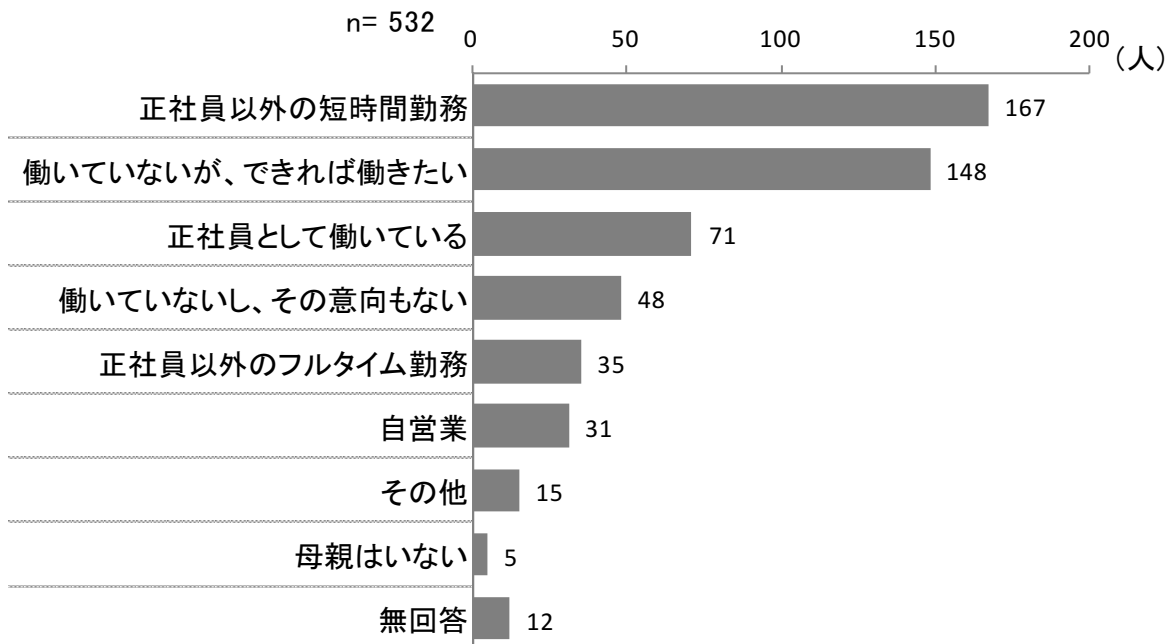


■「その他」の主な内容

病気療養中 等

◎母親の就労状況

母親の就労状況は、「正社員以外の短時間勤務」が167人（31.4%）、「働いていないが、できれば働きたい」が148人（27.8%）、「正社員として働いている」が71人（13.3%）となっています。



■「その他」の主な内容

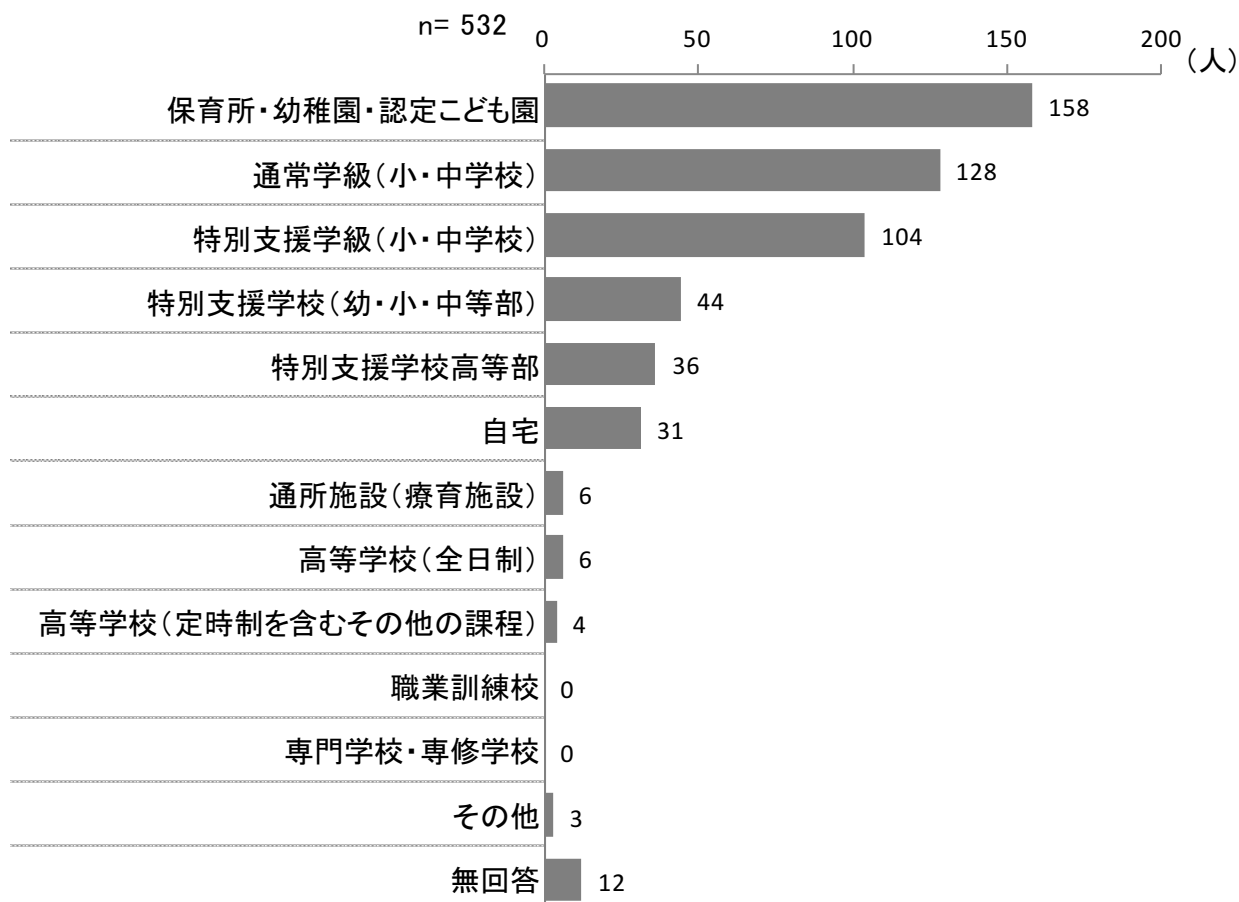
育休中／主婦／退職中／治療中 等

4. 保育や教育について

(1) 子どもが平日の昼間、主に過ごす場所

問11 お子さまは、平日の昼間、主にどこで過ごしていますか。(〇は1つ)

子どもが平日の昼間、主に過ごす場所については、「保育所・幼稚園・認定こども園」が158人(29.7%)、「通常学級(小・中学校)」が128人(24.1%)、「特別支援学級(小・中学校)」が104人(19.5%)となっています。



■「その他」の主な内容

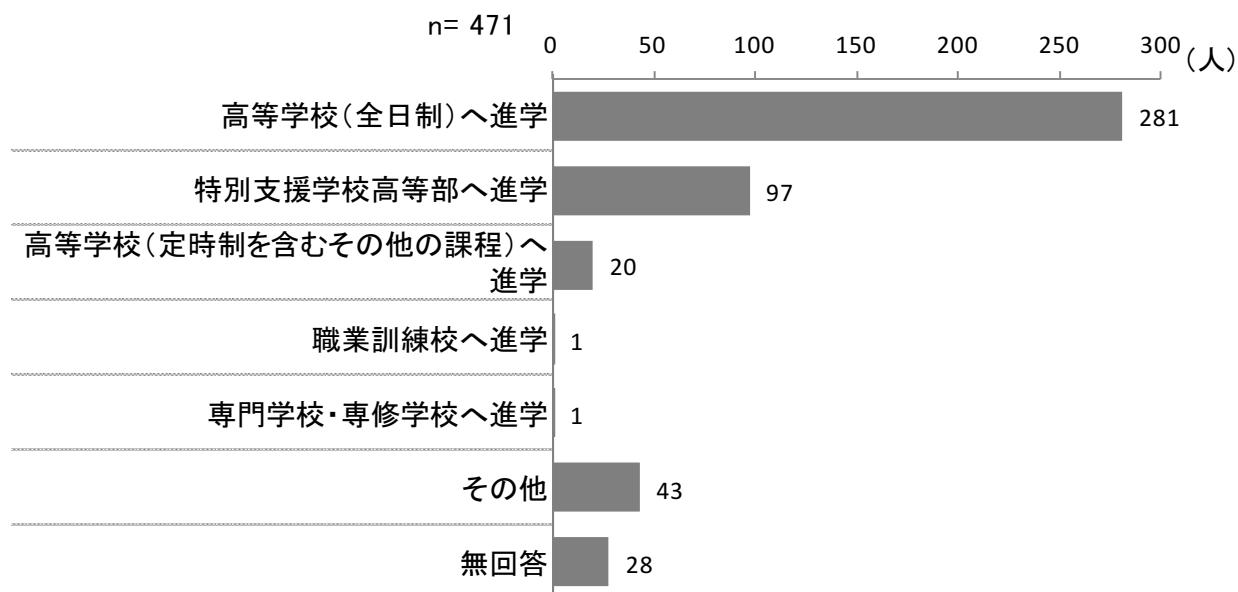
フリースクール／児童デイサービス

(2) 子どもの高等学校期に希望する進路

【問11で「自宅」「保育所・幼稚園・認定こども園」「通所施設（療育施設）」「通常学級（小・中学校）」「特別支援学級（小・中学校）」「特別支援学校（幼・小・中等部）」と回答した方にお聞きします。】

問11-1 お子さまの高等学校期にはどのような進路を希望しますか。（〇は1つ）

子どもの高等学校期に希望する進路については、「高等学校（全日制）へ進学」が281人（59.7%）と最も多く、次いで「特別支援学校高等部へ進学」が97人（20.6%）となっています。



■ 「その他」の主な内容

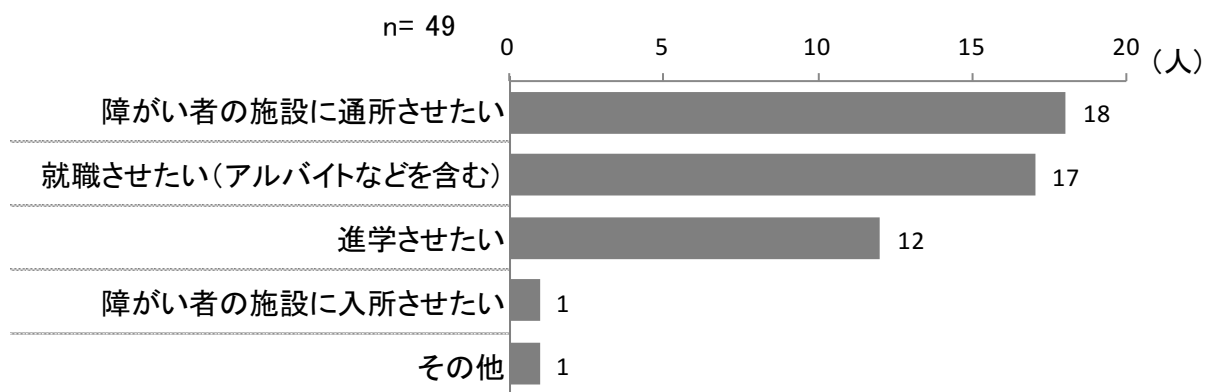
本人の意思を尊重／本人の学力次第／まだわからない、考えていない／行けるところに行ってほしい 等

(3) 子どもの学校等の卒業後に希望する進路

【問11で「高等学校（全日制）」「高等学校（定時制を含むその他の課程）」「特別支援学校高等部」「職業訓練校」「専門学校・専修学校」「その他」と回答した方にお聞きします。】

問11-2 お子さまが現在通っている学校などを卒業した後、どのような進路を希望しますか。
(〇は1つ)

子どもが現在通っている学校などを卒業後に希望する進路としては、「障がい者の施設に通所させたい」が18人(36.7%)、「就職させたい(アルバイトなどを含む)」が17人(34.7%)、「進学させたい」が12人(24.5%)となっています。



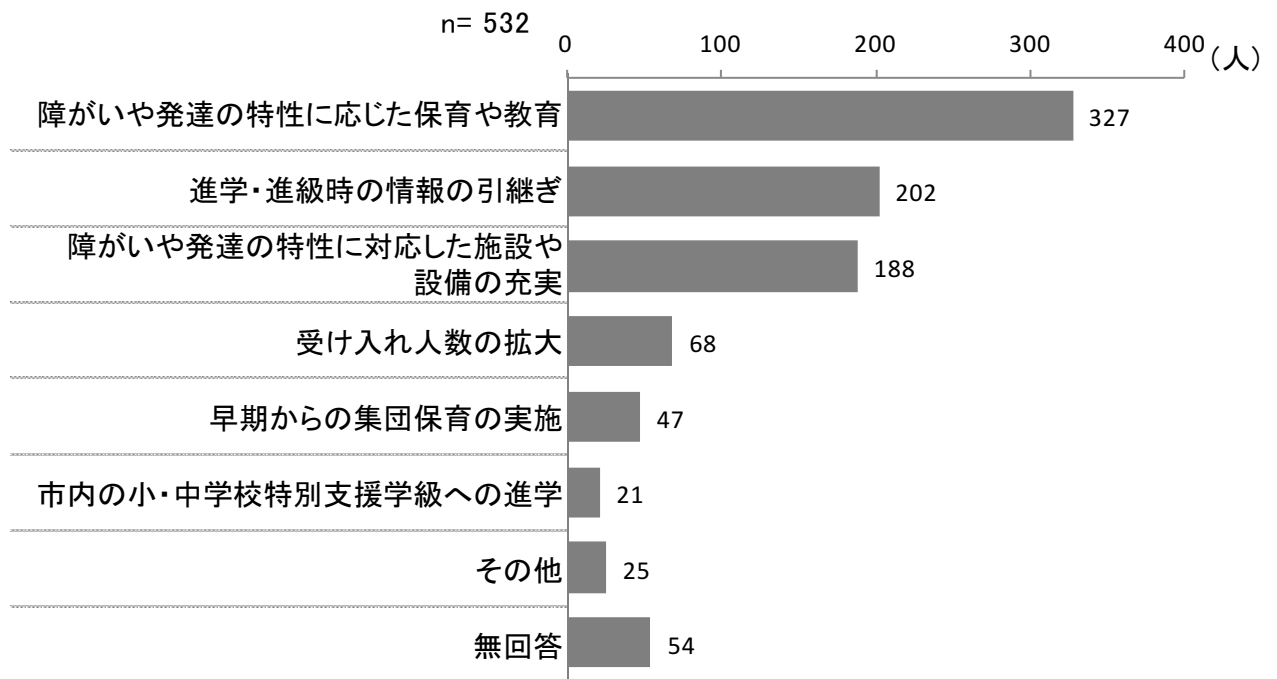
■「その他」の主な内容

まだわからない、考えていない/現在悩み中 等

(4) 保育や教育のことで希望することや充実させるべき点

問12 保育や教育のことで希望することや充実させるべき点とある点がありますか。
(あてはまるもの2つまで)

保育や教育のことで希望することや充実させるべき点については、「障がいや発達の特徴に応じた保育や教育」が327人(61.5%)と最も多く、次いで「進学・進級時の情報の引継ぎ」が202人(38.0%)、「障がいや発達の特徴に対応した施設や設備の充実」が188人(35.3%)となっています。



■「その他」の主な内容

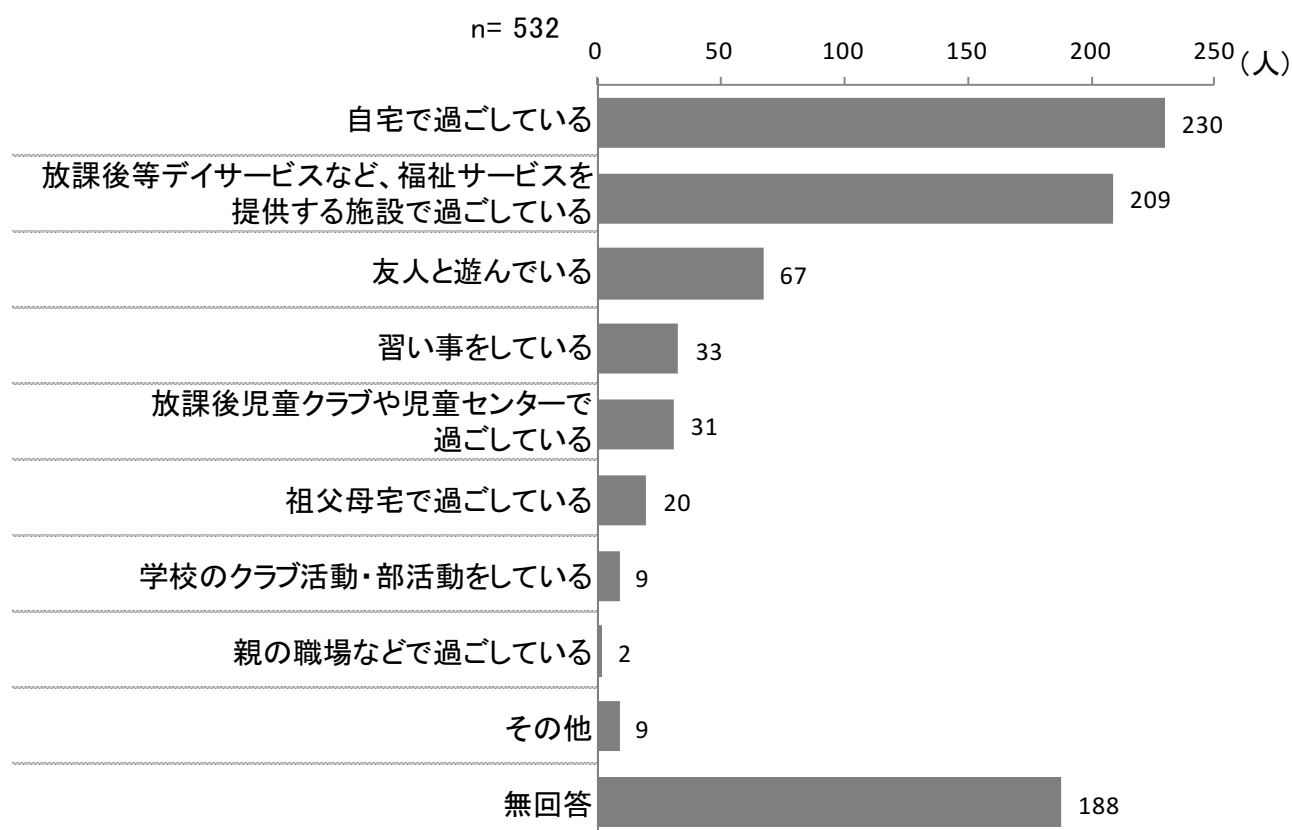
教職員の知識向上／専門家（病院など）との情報共有を図ること／高校生の学習支援／就職や進学に関する相談窓口／市内高等支援学校の設立／加配の割合を増やす 等

(5) 下校後や長期休暇時などの子どもの過ごし方

問13 小学生以上のお子さまがいる方にお聞きします。現在、お子さまは下校後や長期休暇時など、どのように過ごされていますか。(あてはまるもの2つまで○)

※放課後等デイサービスとは…発達に不安のあるお子さまが、学校の授業終了後や学校休業日に通い、専門のスタッフが療育や発達の支援を行うサービスのこと。

小学生以上の子どもがいる家庭について下校後や長期休暇時などの子どもの過ごし方については、「自宅で過ごしている」が230人(43.2%)と最も多く、次いで「放課後等デイサービスなど、福祉サービスを提供する施設で過ごしている」が209人(39.3%)、「友人と遊んでいる」が67人(12.6%)となっています。



■「その他」の主な内容

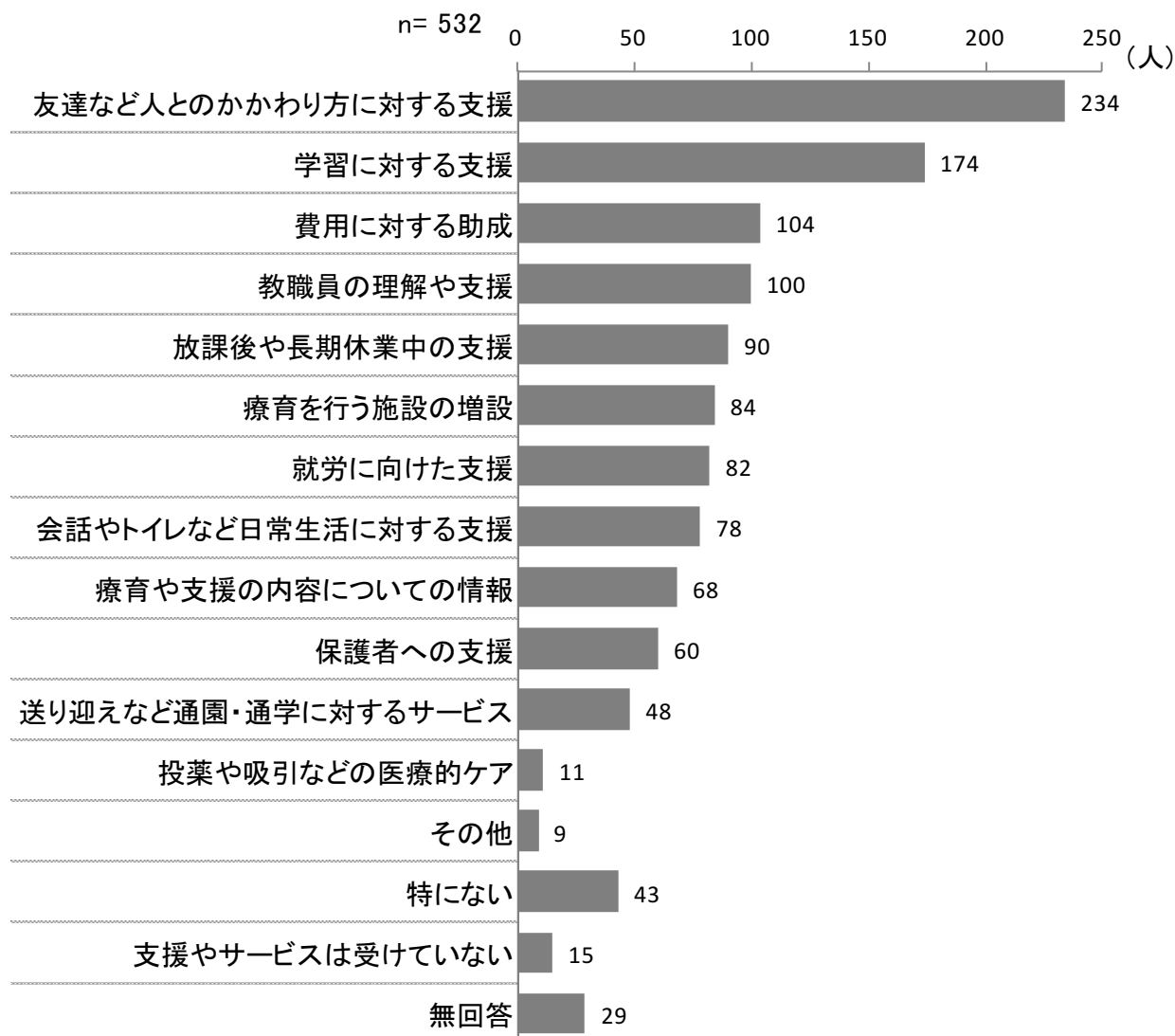
一人で過ごしている／デイサービスでのZOOM／ひとりで外出 等

(6) 子どもが受けている療育や支援で、さらに充実させるべき点

問14 お子さまが受けている療育や支援について、さらに充実させるべき点と考える点がありますか。
(あてはまるもの3つまで〇)

子どもが受けている療育や支援で、さらに充実させるべき点については「友達など人とのかかわり方に対する支援」が234人(44.0%)と最も多く、次いで「学習に対する支援」が174人(32.7%)、「費用に対する助成」が104人(19.5%)となっています。

なお、「支援やサービスは受けていない」は15人(2.8%)とわずかとなっています。



第3章 障がい児調査結果の詳細

年齢別にみると、3～11歳では、「友達など人とのかかわり方に対する支援」が最も高く、次に「学習に対する支援」となっています。

12～17歳では「就労に向けた支援」が最も高く、次に「友達など人とのかかわり方に対する支援」となっています。

上段:件 下段:%	n	友達など人とのかかわり方に対する支援	学習に対する支援	費用に対する助成	教職員の理解や支援	放課後や長期休業中の支援	療育を行う施設の増設	就労に向けた支援	会話やトイレなど日常生活に対する支援	情報	療育や支援の内容についての	保護者への支援	送り迎えなど通園・通学に対するサービス	投薬や吸引などの医療的ケア	その他	特になし	支援やサービスは受けていない	無回答
全体	532 100.0	234 44.0	174 32.7	104 19.5	100 18.8	90 16.9	84 15.8	82 15.4	78 14.7	68 12.8	60 11.3	48 9.0	11 2.1	9 1.7	43 8.1	15 2.8	29 5.5	
年齢別	0歳	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-
	1～2歳	14 100.0	3 21.4	3 21.4	2 14.3	1 7.1	1 7.1	-	1 7.1	3 21.4	-	3 21.4	2 14.3	1 7.1	-	2 14.3	1 7.1	3 21.4
	3～5歳	144 100.0	63 43.8	49 34.0	18 12.5	16 11.1	25 17.4	23 16.0	4 2.8	36 25.0	27 18.8	24 16.7	19 13.2	2 1.4	3 2.1	15 10.4	1 0.7	9 6.3
	6～8歳	153 100.0	76 49.7	53 34.6	40 26.1	31 20.3	35 22.9	27 17.6	11 7.2	19 12.4	18 11.8	17 11.1	6 3.9	1 0.7	1 0.7	10 6.5	4 2.6	6 3.9
	9～11歳	90 100.0	49 54.4	35 38.9	21 23.3	22 24.4	11 12.2	11 12.2	16 17.8	7 7.8	11 12.2	9 10.0	7 7.8	1 1.1	2 2.2	5 5.6	2 2.2	2 2.2
	12～14歳	64 100.0	21 32.8	19 29.7	16 25.0	18 28.1	8 12.5	9 14.1	23 35.9	9 14.1	5 7.8	3 4.7	6 9.4	2 3.1	2 3.1	6 9.4	2 3.1	4 6.3
	15～17歳	59 100.0	21 35.6	12 20.3	6 10.2	11 18.6	10 16.9	11 18.6	24 40.7	4 6.8	6 10.2	3 5.1	7 11.9	4 6.8	1 1.7	4 6.8	4 6.8	4 6.8

■「その他」の主な内容

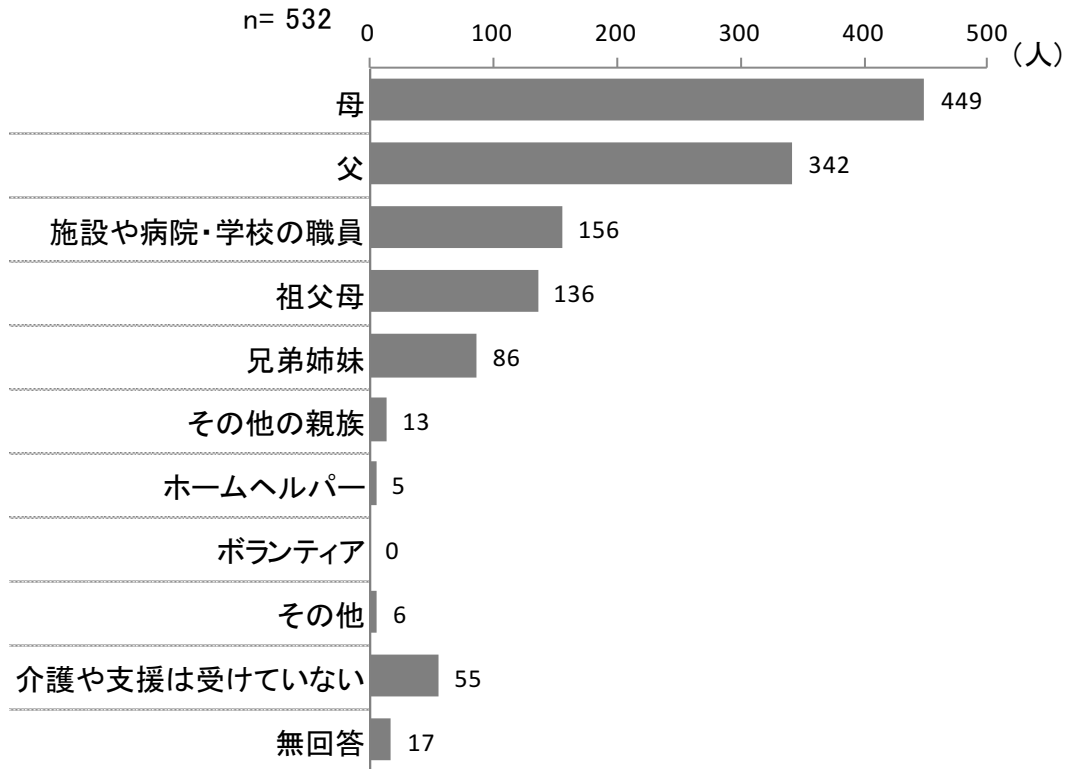
預かり時間の延長／移動支援が充実／OT、PT、STの受けられる施設の増設／卒後も切れ目なく支援できる手段、受入先 等

5. 介護や支援の状況について

(1) 子どもの介護や支援をしている方

問15 お子さまの介護や支援をしている方は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの介護や支援をしている方は、「母」が449人(84.4%)と最も多く、次いで「父」が342人(64.3%)、「施設や病院・学校の職員」が156人(29.3%)となっています。



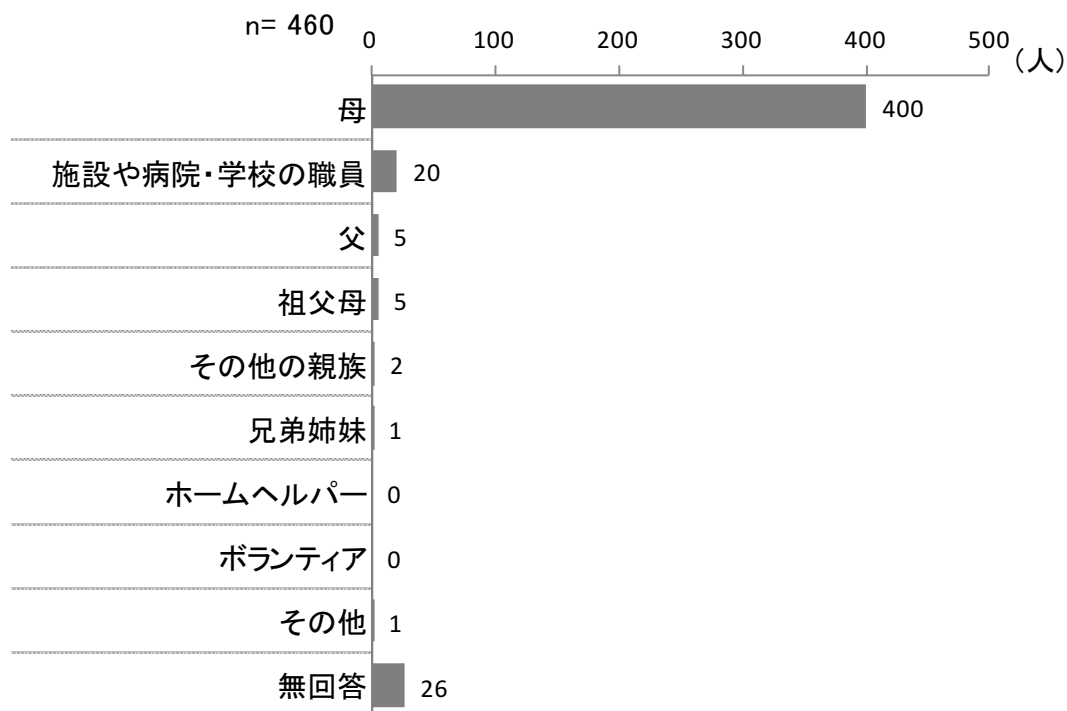
■「その他」の主な内容

ファミリーサポート／ベビーシッター 等

(2) 介護や支援をしている主な方

問16 問15で「父」「母」「祖父母」「兄弟姉妹」「その他の親族」「施設や病院・学校の職員」「ホームヘルパー」「ボランティア」「その他」と回答した方にお聞きします。問15で選ばれた方の中で、主に介護や支援をしている方はどなたですか。

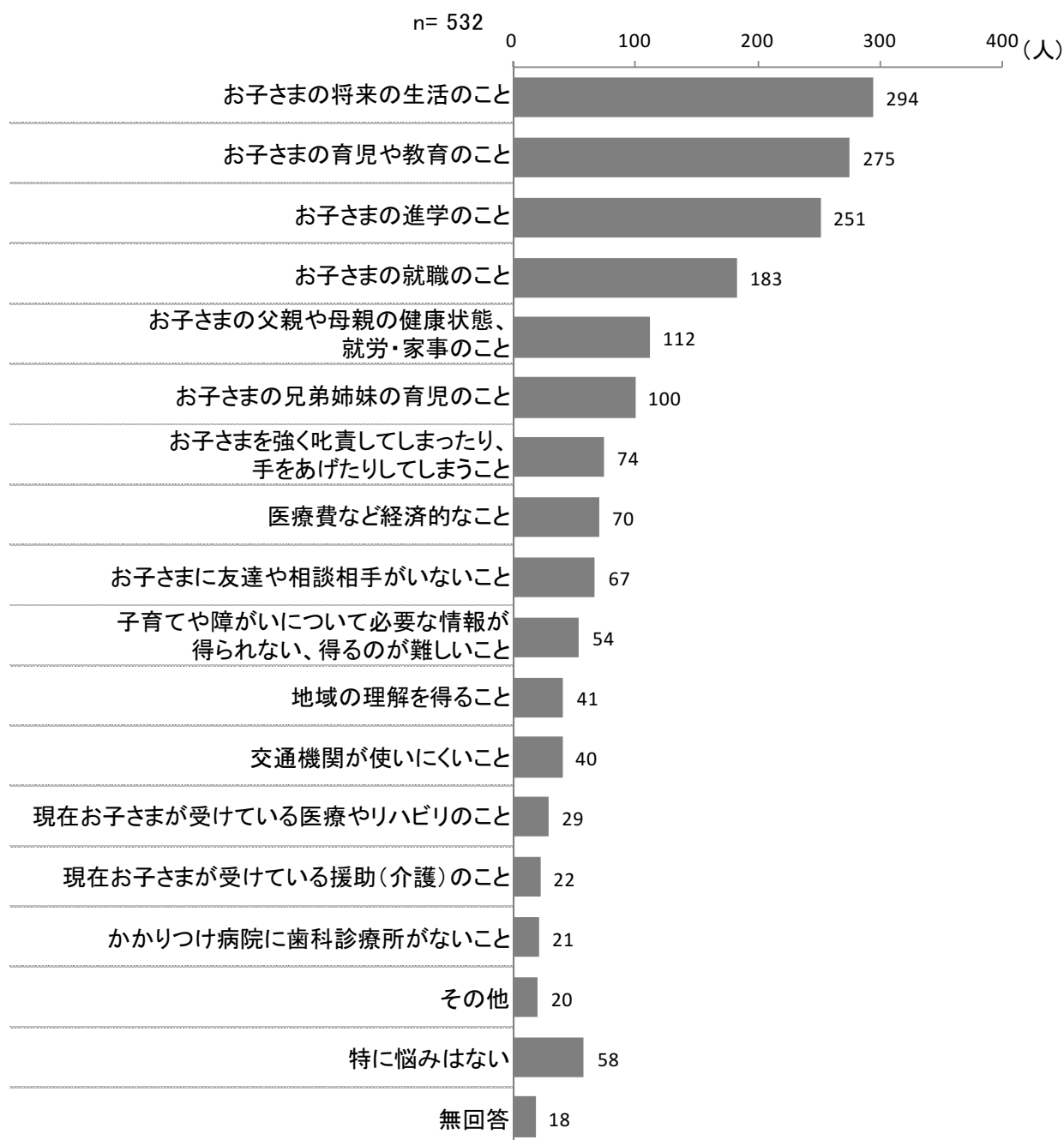
問15であげられた介護・支援者のうち主な介護・支援者としては、「母」が400人（87.0%）と集中して多くなっています。



(3) 子どもや同居する家族のことで悩んだり困っていること

問17 お子さまやお子さまと同居する家族のことで悩んだり困っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもや同居する家族のことで悩んだり困っていることについては、「お子さまの将来の生活のこと」が294人(55.3%)、次いで「お子さまの育児や教育のこと」が275人(51.7%)、「お子さまの進学のこと」が251人(47.2%)となっています。



第3章 障がい児調査結果の詳細

年齢別にみると、1～2歳では、「お子さまの育児や教育のこと」が最も高くなっています。「お子さまの育児や教育のこと」は、1～8歳までが6割以上と多く困りごとの中心となっていますが、9～17歳では、「お子さまの将来の生活のこと」が7割以上と最も高く、次いで「お子さまの進学のこと」、「お子さまの就職のこと」となっており、年齢が上がるにつれて子ども自身の将来に関することがあげられています。

上段:件 下段:%	n	お子さまの将来の生活のこと	お子さまの育児や教育のこと	お子さまの進学のこと	お子さまの就職のこと	就労・家事のこと	お子さまの父親や母親の健康状態、	お子さまの兄弟姉妹の育児のこと	お子さまを強く叱責してしまったり、手をあげたりしてしまうこと	医療費など経済的なこと	お子さまに友達や相談相手がないこと	子育てや障がいについて必要な情報が得られない、得るのが難しいこと	地域の理解を得ること	交通機関が使いにくいこと	現在お子さまが受けている医療やリハビリのこと	現在お子さまが受けている援助（介護）のこと	かかりつけ病院に歯科診療所がないこと	その他	特に悩みはない	無回答
全体	532	294	275	251	183	112	100	74	70	67	54	41	40	29	22	21	20	58	18	
	100.0	55.3	51.7	47.2	34.4	21.1	18.8	13.9	13.2	12.6	10.2	7.7	7.5	5.5	4.1	3.9	3.8	10.9	3.4	
年齢別	0歳	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		100.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	1～2歳	14	7	10	7	2	2	2	3	2	1	1	3	-	3	1	-	-	1	1
		100.0	50.0	71.4	50.0	14.3	14.3	14.3	21.4	14.3	7.1	7.1	21.4	-	21.4	7.1	-	-	7.1	7.1
	3～5歳	144	48	88	52	15	26	32	25	12	5	12	5	9	5	4	5	3	25	7
		100.0	33.3	61.1	36.1	10.4	18.1	22.2	17.4	8.3	3.5	8.3	3.5	6.3	3.5	2.8	3.5	2.1	17.4	4.9
	6～8歳	153	78	92	64	42	24	28	25	21	12	22	11	3	7	5	6	5	18	6
	100.0	51.0	60.1	41.8	27.5	15.7	18.3	16.3	13.7	7.8	14.4	7.2	2.0	4.6	3.3	3.9	3.3	11.8	3.9	
9～11歳	90	64	43	59	46	23	16	11	13	19	5	9	5	2	2	4	7	3	-	
	100.0	71.1	47.8	65.6	51.1	25.6	17.8	12.2	14.4	21.1	5.6	10.0	5.6	2.2	2.2	4.4	7.8	3.3	-	
12～14歳	64	46	27	45	37	17	11	5	11	17	5	9	10	5	4	5	3	4	1	
	100.0	71.9	42.2	70.3	57.8	26.6	17.2	7.8	17.2	26.6	7.8	14.1	15.6	7.8	6.3	7.8	4.7	6.3	1.6	
15～17歳	59	45	12	21	37	16	9	5	10	12	8	3	12	7	6	1	2	6	2	
	100.0	76.3	20.3	35.6	62.7	27.1	15.3	8.5	16.9	20.3	13.6	5.1	20.3	11.9	10.2	1.7	3.4	10.2	3.4	

■「その他」の主な内容

家庭環境／夫が子供を理解して関わってくれない 等

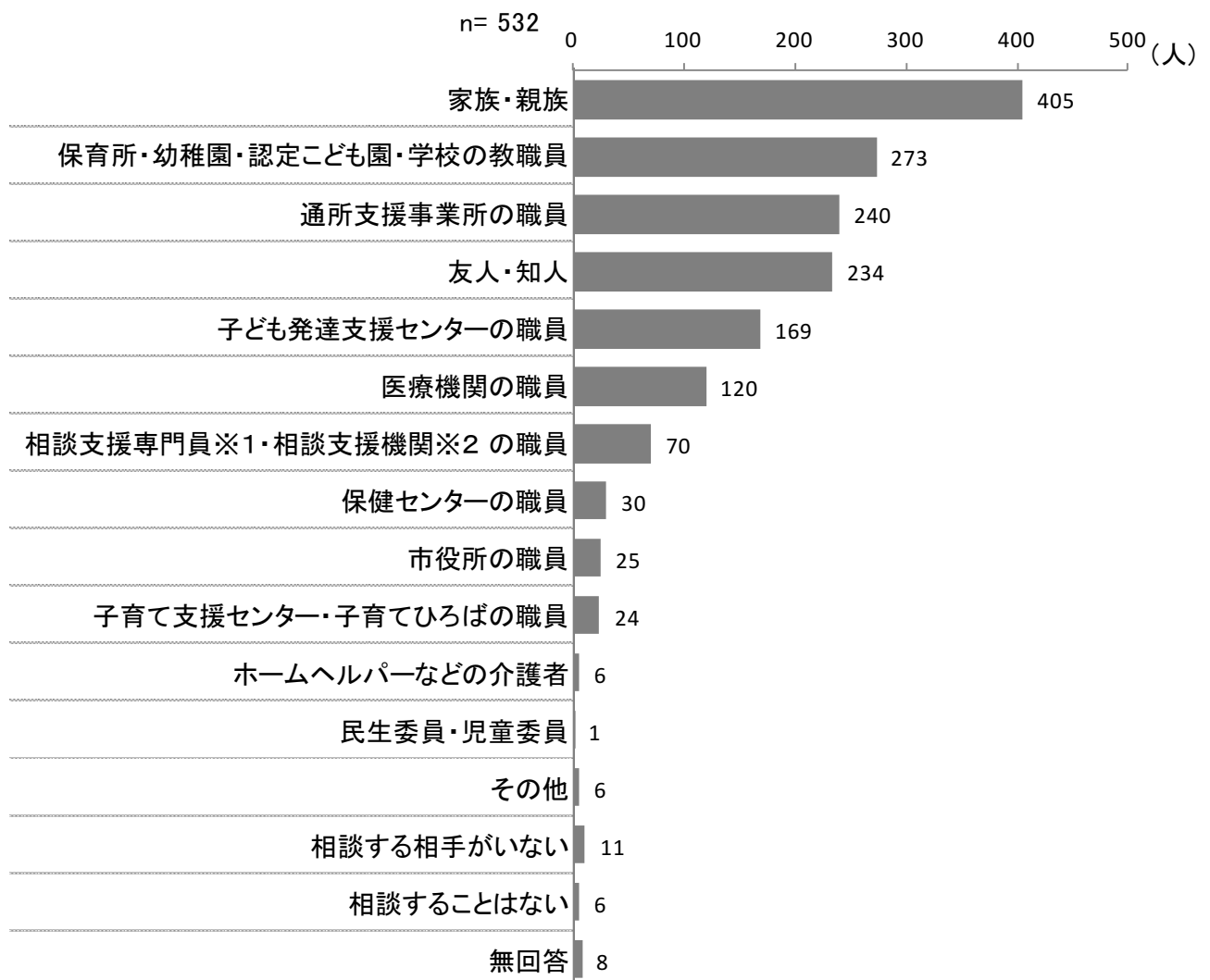
(4) 困ったことや疑問に思うことの相談先

問18 困ったことや疑問に思うことは、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

※1 相談支援専門員とは…障害福祉サービスなどの利用計画の作成や地域生活への移行など障がいのある方の全般的な相談支援を行う人のことです。

※2 相談支援機関とは…障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室すてら（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）のことです。

困ったことや疑問に思うことの相談先については、「家族・親族」が405人（76.1%）と最も多く、次いで「保育所・幼稚園・認定こども園・学校の教職員」が273人（51.3%）、「通所支援事業所の職員」が240人（45.1%）となっています。



第3章 障がい児調査結果の詳細

年齢別にみると、「家族・親族」はいずれの年齢でも6割以上、「保育所・幼稚園・認定こども園・学校の教職員」はいずれの年齢でも、4割以上と年齢を問わず共通した相談先となっています。また、1～5歳までは「子ども発達支援センターの職員」「通所支援事業所の職員」が4割以上、6～14歳では、「通所支援事業所の職員」が4割以上となっています。

上段:件 下段:%	n	家族・親族	保育所・幼稚園・認定こども園・学校の教職員	通所支援事業所の職員	友人・知人	子ども発達支援センターの職員	医療機関の職員	相談支援専門員・相談支援機関の職員	保健センターの職員	市役所の職員	子育て支援センター・子育てひろばの職員	介護者	ホームヘルパーなどの民生委員・児童委員	その他	相談する相手がない	相談することはない	無回答	
全体	532 100.0	405 76.1	273 51.3	240 45.1	234 44.0	169 31.8	120 22.6	70 13.2	30 5.6	25 4.7	24 4.5	6 1.1	1 0.2	6 1.1	11 2.1	6 1.1	8 1.5	
年齢別	0歳	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	-	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1～2歳	14 100.0	12 85.7	6 42.9	6 42.9	4 28.6	7 50.0	3 21.4	2 14.3	5 35.7	2 14.3	1 7.1	-	-	-	-	-	
	3～5歳	144 100.0	123 85.4	72 50.0	60 41.7	65 45.1	69 47.9	10 6.9	13 9.0	15 10.4	2 1.4	11 7.6	2 1.4	-	3 2.1	3 2.1	-	3 2.1
	6～8歳	153 100.0	109 71.2	86 56.2	82 53.6	64 41.8	54 35.3	38 24.8	24 15.7	10 6.5	6 3.9	11 7.2	1 0.7	-	-	2 1.3	2 1.3	2 1.3
	9～11歳	90 100.0	72 80.0	46 51.1	41 45.6	47 52.2	22 24.4	25 27.8	9 10.0	-	1 1.1	-	1 1.1	-	-	3 3.3	2 2.2	2 2.2
	12～14歳	64 100.0	46 71.9	32 50.0	31 48.4	32 50.0	9 14.1	20 31.3	9 14.1	-	8 12.5	-	-	1 1.6	1 1.6	2 3.1	-	1 1.6
	15～17歳	59 100.0	36 61.0	27 45.8	18 30.5	18 30.5	6 10.2	21 35.6	13 22.0	-	3 5.1	1 1.7	2 3.4	-	2 3.4	1 1.7	2 3.4	-

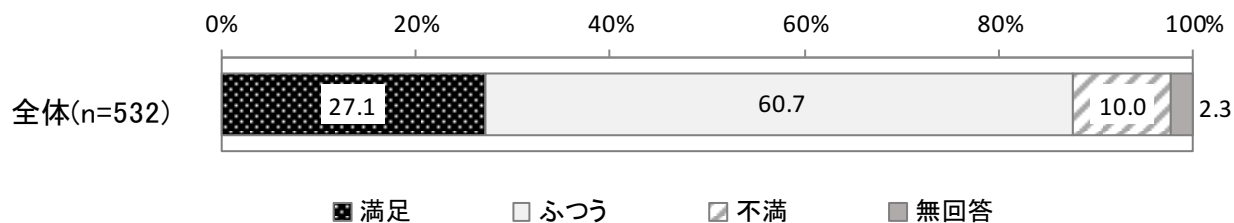
■「その他」の主な内容

ネット・SNS／入所施設の職員・ナース／児童相談所／患者会 等

(5) 現在の相談体制の満足度

問19 現在の相談の体制について満足していますか。(〇は1つ)

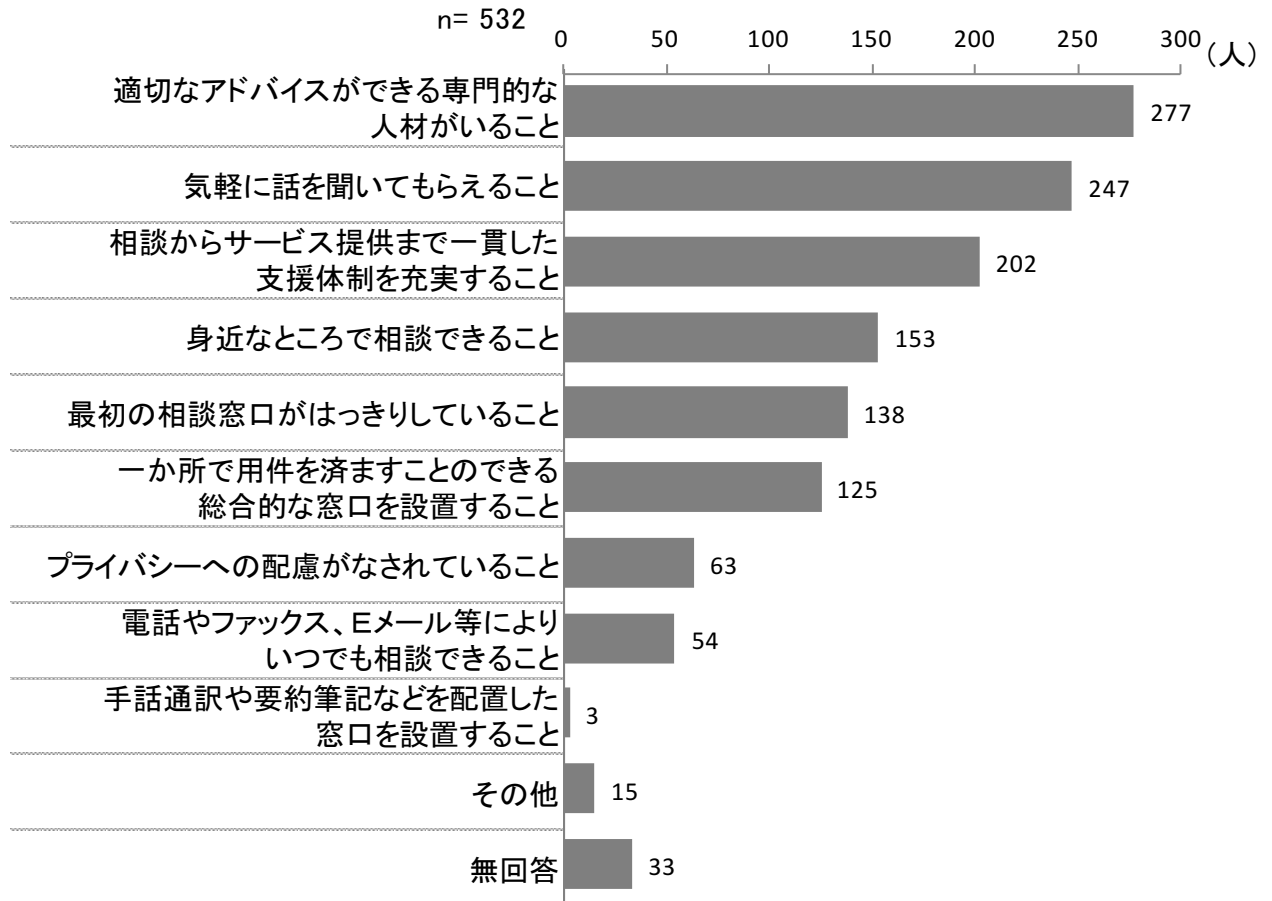
現在の相談体制の満足度については、「満足」が27.1%、「ふつう」が60.7%、「不満」が10.0%となっています。



(6) 相談機能を充実させるために必要なこと

問20 相談機能を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまで○)

相談機能を充実させるために必要なことについては、「適切なアドバイスができる専門的な人材がいること」が277人(52.1%)と最も多く、次いで「気軽に話を聞いてもらえること」が247人(46.4%)、「相談からサービス提供まで一貫した支援体制を充実すること」が202人(38.0%)となっています。



■「その他」の主な内容

相談事業所の増設／市役所の職員間で情報共有／定期的な相談機会／時間の都合がつくこと 等

6. 福祉に関するサービスについて

(1) 障害福祉サービスの利用状況と利用意向

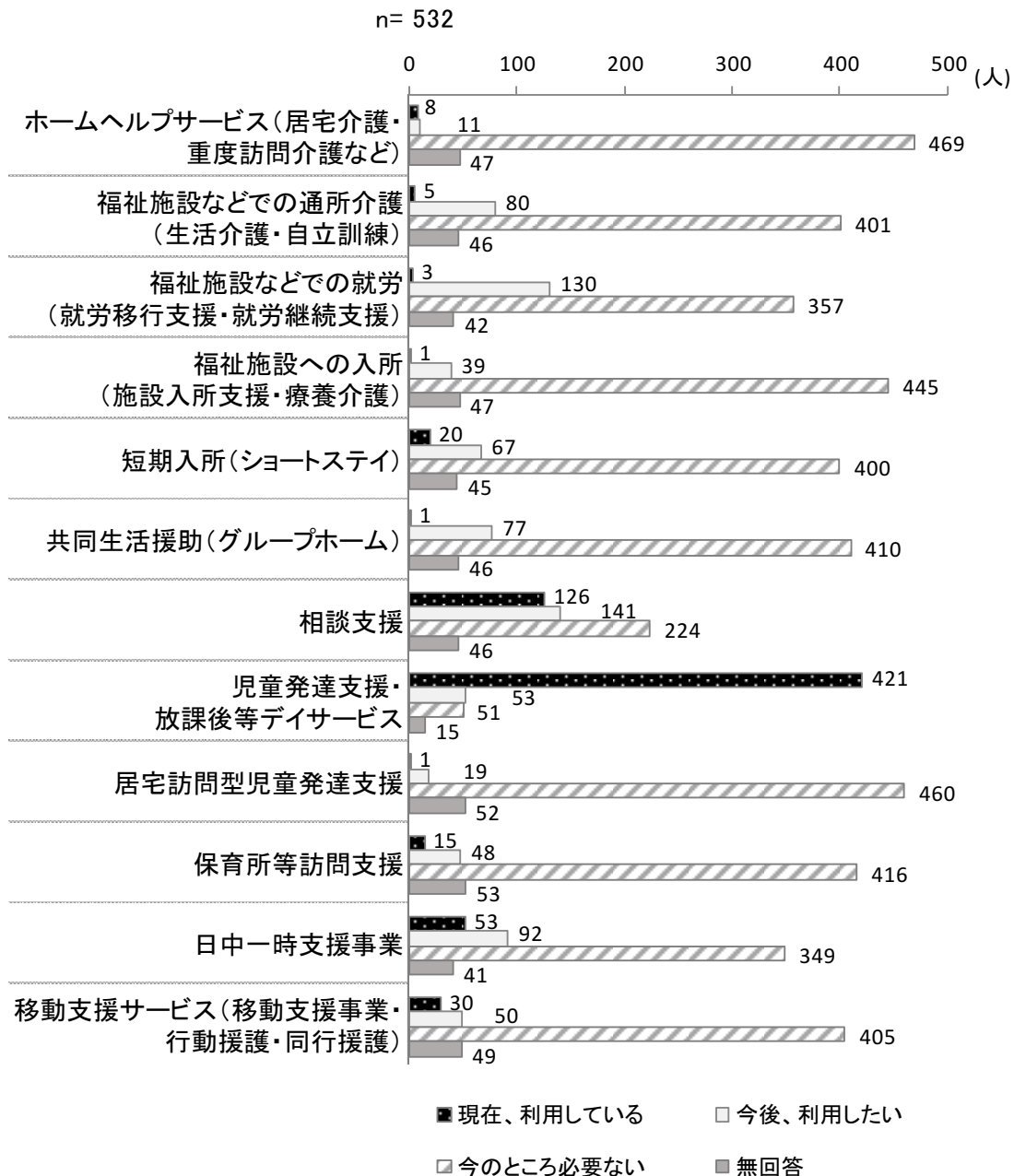
問21 障害福祉サービスについて①現在、利用しているか、②今後、利用したいか、③今のところ必要ないかを、それぞれア～シの各項目の該当する欄に○をつけてください。

(それぞれあてはまるものすべてに○)

※「②今後、利用したい」は現在の利用の有無を問いません。

障害福祉サービスの現在の利用状況と今後の利用意向については、現在利用している福祉サービスは、「児童発達支援・放課後等デイサービス」が421人(79.1%)、「相談支援」が126人(23.7%)となっています。

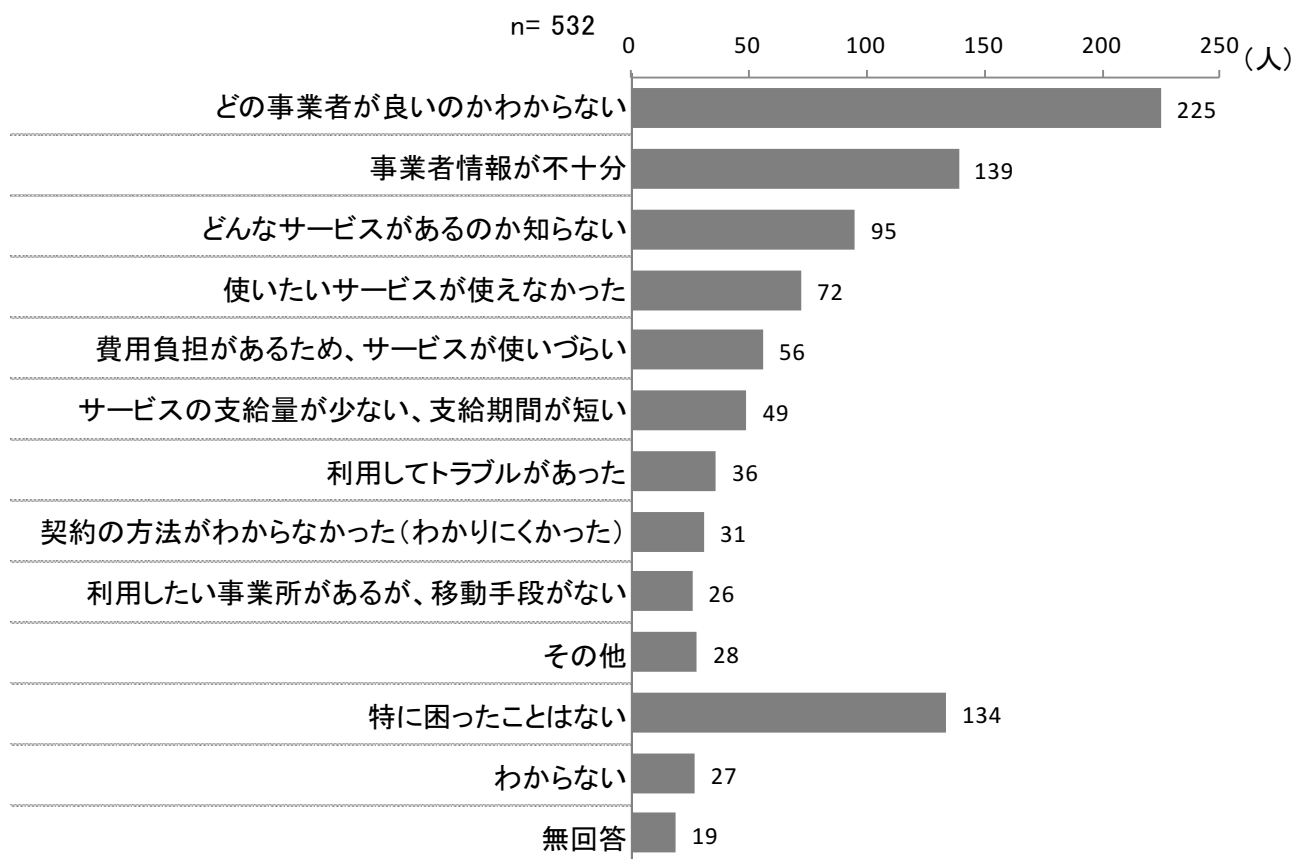
現在の利用状況に対する今後の利用意向(「利用意向」－「利用状況」の差)をみると、多くの項目で利用状況よりも高く、特に「福祉施設などでの就労(就労移行支援・就労継続支援)」「共同生活援助(グループホーム)」「福祉施設などでの通所介護(生活介護・自立訓練)」などで利用意向が高くなっています。



(2) 福祉に関するサービスを利用するときに困ったこと

問22 福祉に関するサービスを利用するときに何か困ったことはありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

福祉に関するサービスを利用するときに困ったことについては、「どの事業者が良いのかわからない」が225人(42.3%)と最も多く、次いで「事業者情報が不十分」が139人(26.1%)、「どんなサービスがあるのかわからない」が95人(17.9%)となっています。



■「その他」の主な内容

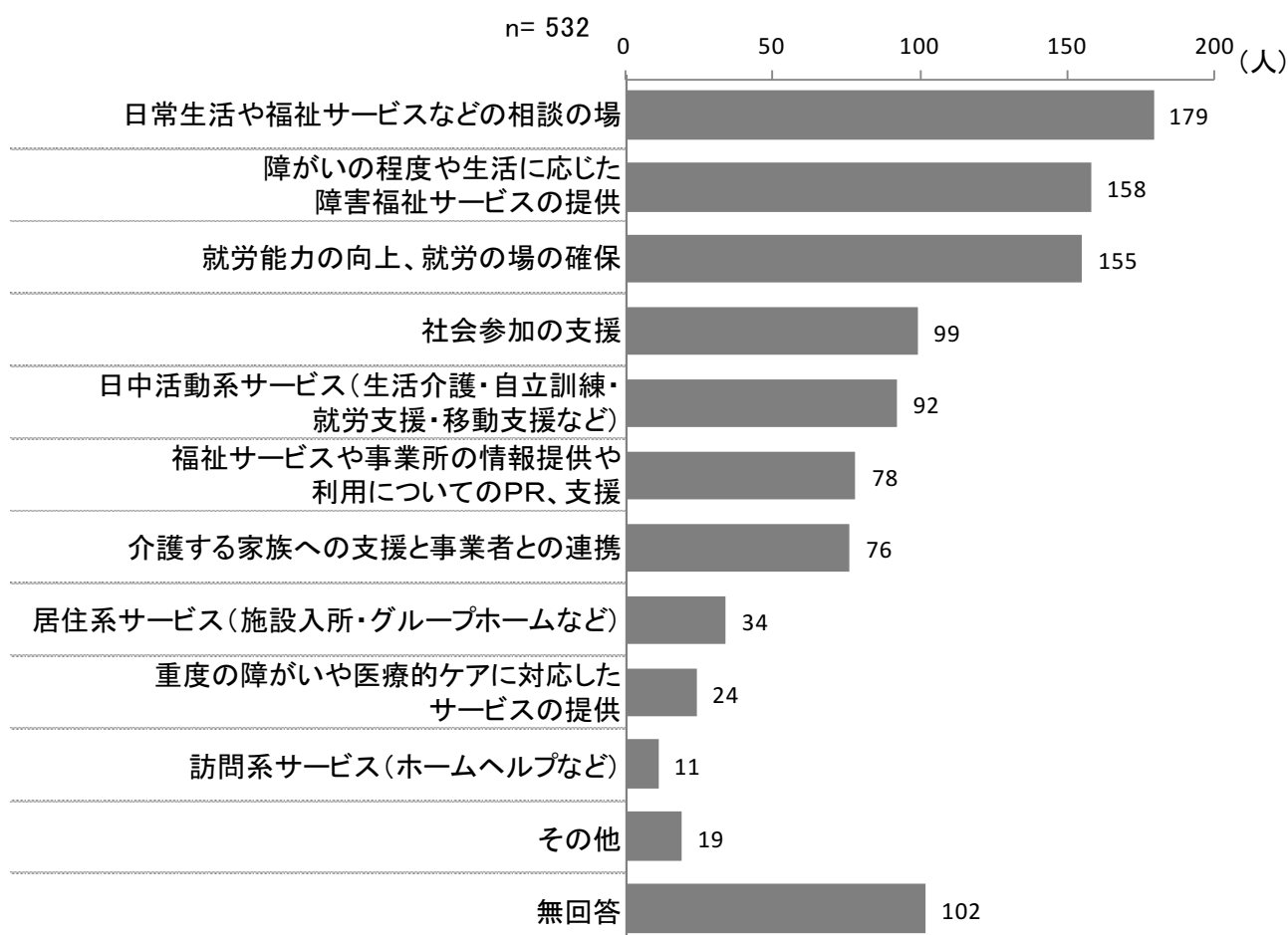
年齢が上がると利用できない(中学生・高校生) / 時間の都合が合わない / 短期で担当者が変わる / 見学に時間がかかる 等

(3) 福祉に関するサービスで、今後、力を入れてほしいこと

問23 福祉に関するサービスで、今後、力を入れてほしいことは何ですか。

(あてはまるもの3つまで○)

福祉に関するサービスで、今後、力を入れてほしいことについては、「日常生活や福祉サービスなどの相談の場」が179人(33.6%)と最も多く、次いで「障がいの程度や生活に応じた障害福祉サービスの提供」が158人(29.7%)、「就労能力の向上、就労の場の確保」が155人(29.1%)となっています。



■「その他」の主な内容

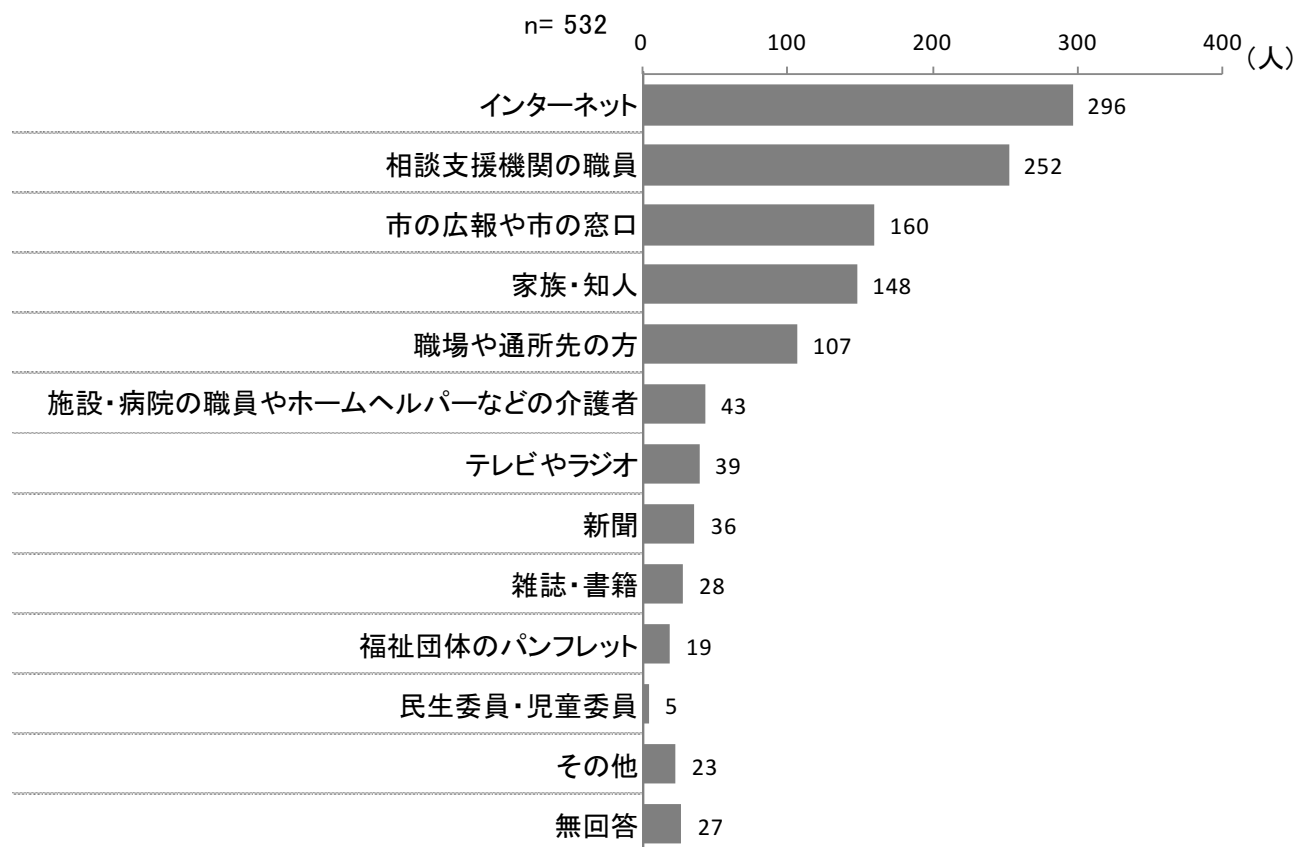
資格を持った人材の充実・専門性の向上／中学生以上の支援・情報提供 等

7. 福祉に関する情報について

(1) 障がい福祉に関する情報の入手手段

問24 障がい福祉に関する情報は、主にどのような手段で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

障がい福祉に関する情報の入手手段については、「インターネット」が296人（55.6%）と最も多く、次いで「相談支援機関の職員」が252人（47.4%）、「市の広報や市の窓口」が160人（30.1%）となっています。



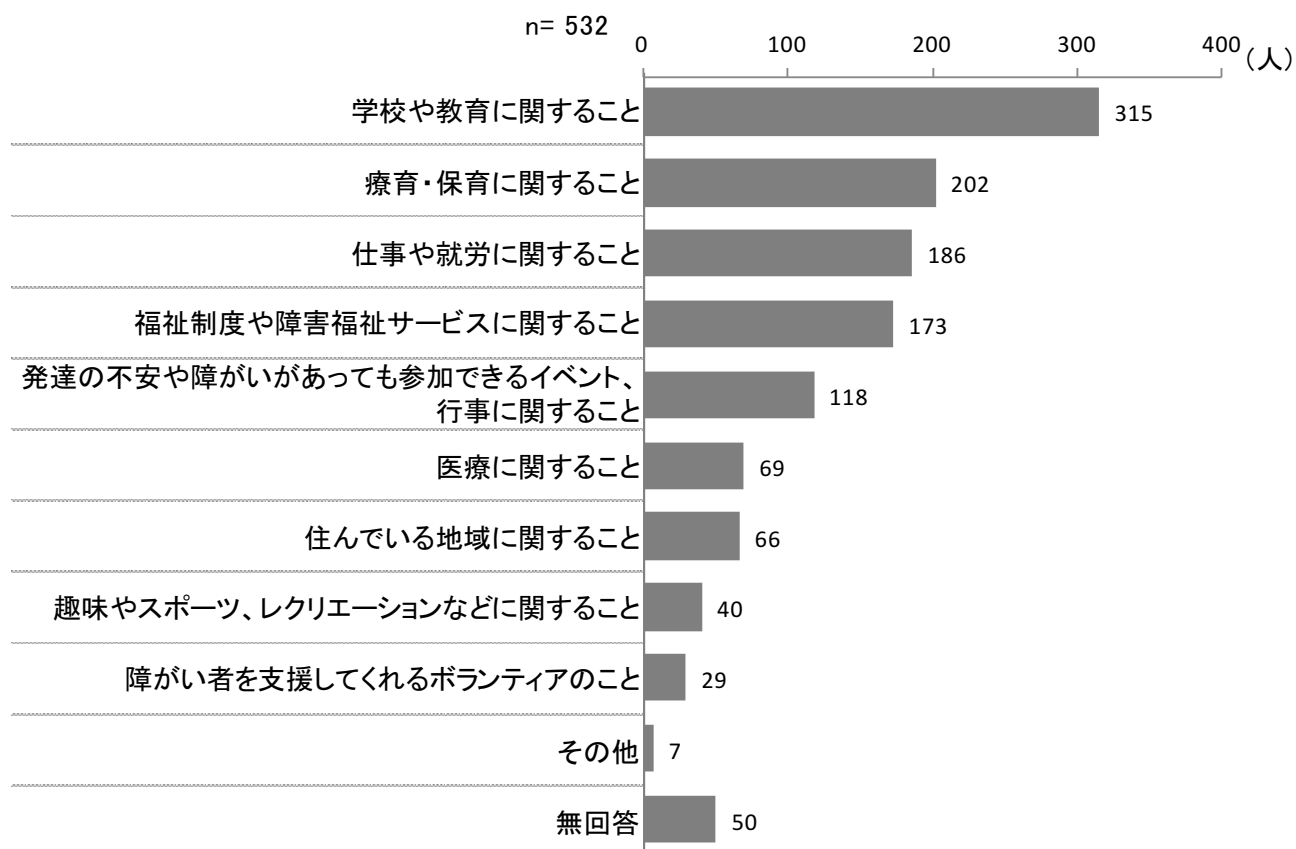
■「その他」の主な内容

幼稚園・学校の先生／児童相談所／看板 等

(2) 障がい福祉の情報について必要とする内容

問25 障がい福祉に関する情報について、どのようなものが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまで○)

障がい福祉の情報について必要とする内容については、「学校や教育に関すること」が315人(59.2%)と最も多く、次いで「療育・保育に関すること」が202人(38.0%)、「仕事や就労に関すること」が186人(35.0%)となっています。



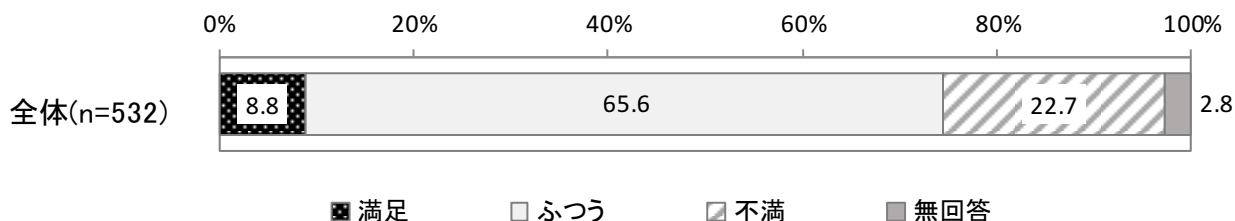
■「その他」の主な内容

親亡きあとのこと／家族への支援に関すること 等

(3) 情報入手手段の満足度

問26 現在、情報入手するための手段について、満足していますか。(○は1つ)

情報入手手段の満足度については、「満足」が8.8%、「ふつう」が65.6%、「不満」が22.7%となっています。

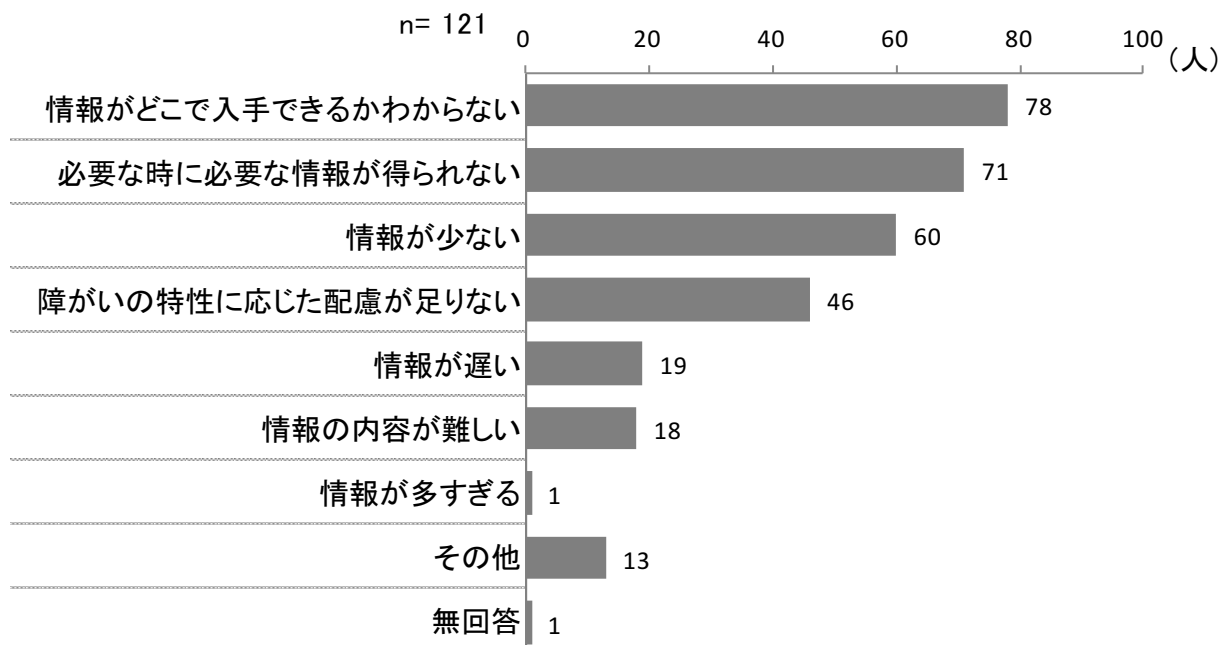


(4) 情報入手手段で不満に思うこと

【問26で「不満」と回答した方にお聞きします。】

問26-1 不満に思うのはどのようなことが教えてください。(あてはまるものすべてに○)

情報入手する手段で不満に思うことは、「情報がどこで入手できるかわからない」が78人(64.5%)、「必要な時に必要な情報が得られない」が71人(58.7%)、「情報が少ない」が60人(49.6%)となっています。



■「その他」の主な内容

一度に分からず情報の透明性がない／聞かないとパンフレット等が貰えない／市のホームページが分かりにくい 等

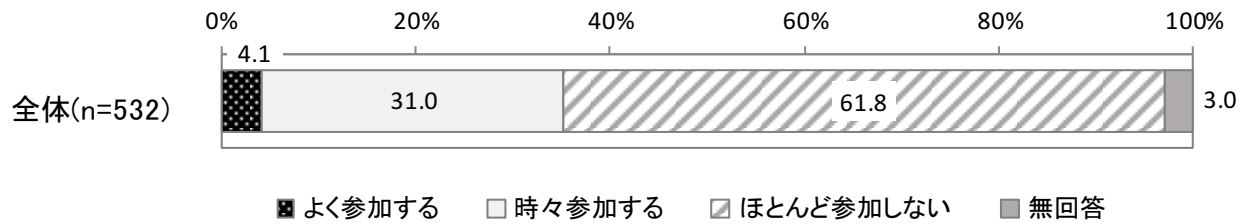
8. 地域活動や外出の状況について

(1) 子どもの地域での活動参加状況

問27 お子さまは、地域での活動※に参加していますか。(○は1つ)

※地域での活動とは…公民館、自治会や市で行う行事や活動

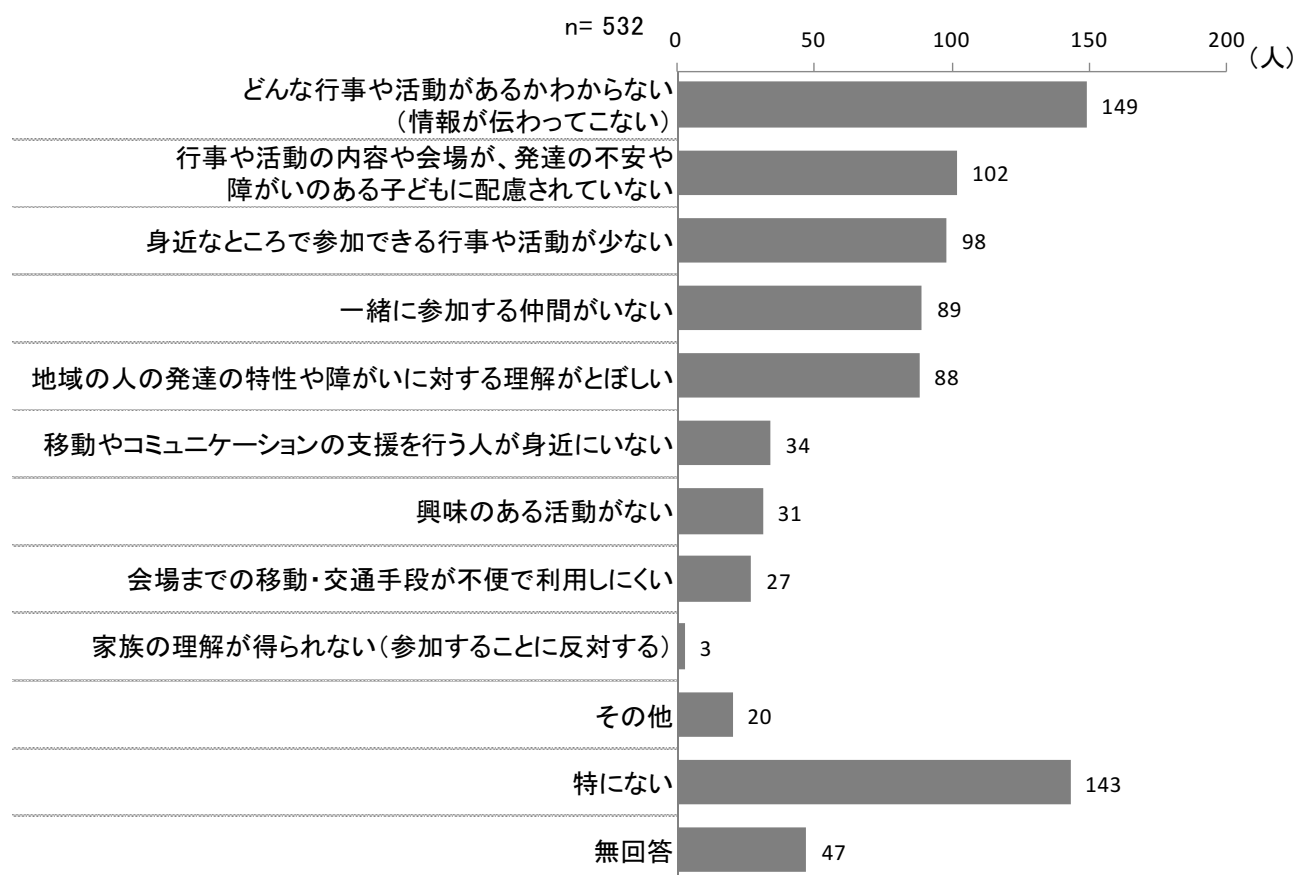
子どもの地域での活動参加状況については、「よく参加する」が4.1%、「時々参加する」が31.0%、「ほとんど参加しない」が61.8%となっています。



(2) 地域活動に参加する場合、困ること

問28 地域活動に参加する場合、困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

地域活動に参加する場合、困ることについては、「どんな行事や活動があるかわからない(情報が伝わってこない)」が149人(28.0%)と最も多く、次いで「行事や活動の内容や会場が、発達不安や障がいのある子どもに配慮されていない」が102人(19.2%)、「身近なところで参加できる行事や活動が少ない」が98人(18.4%)となっています。



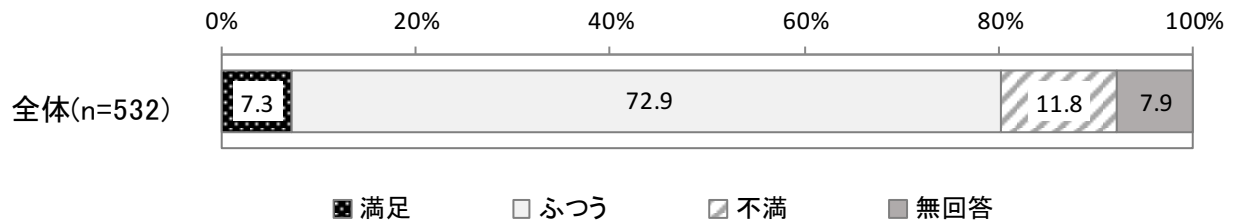
■「その他」の主な内容

集団が苦手／迷惑になるかと思ひ参加させる気になれない／障がい者用駐車スペースが少ない 等

(3) 地域活動や外出に関する支援やサービスの満足度

問29 地域活動や外出に関する支援やサービスについて満足していますか。(○は1つ)

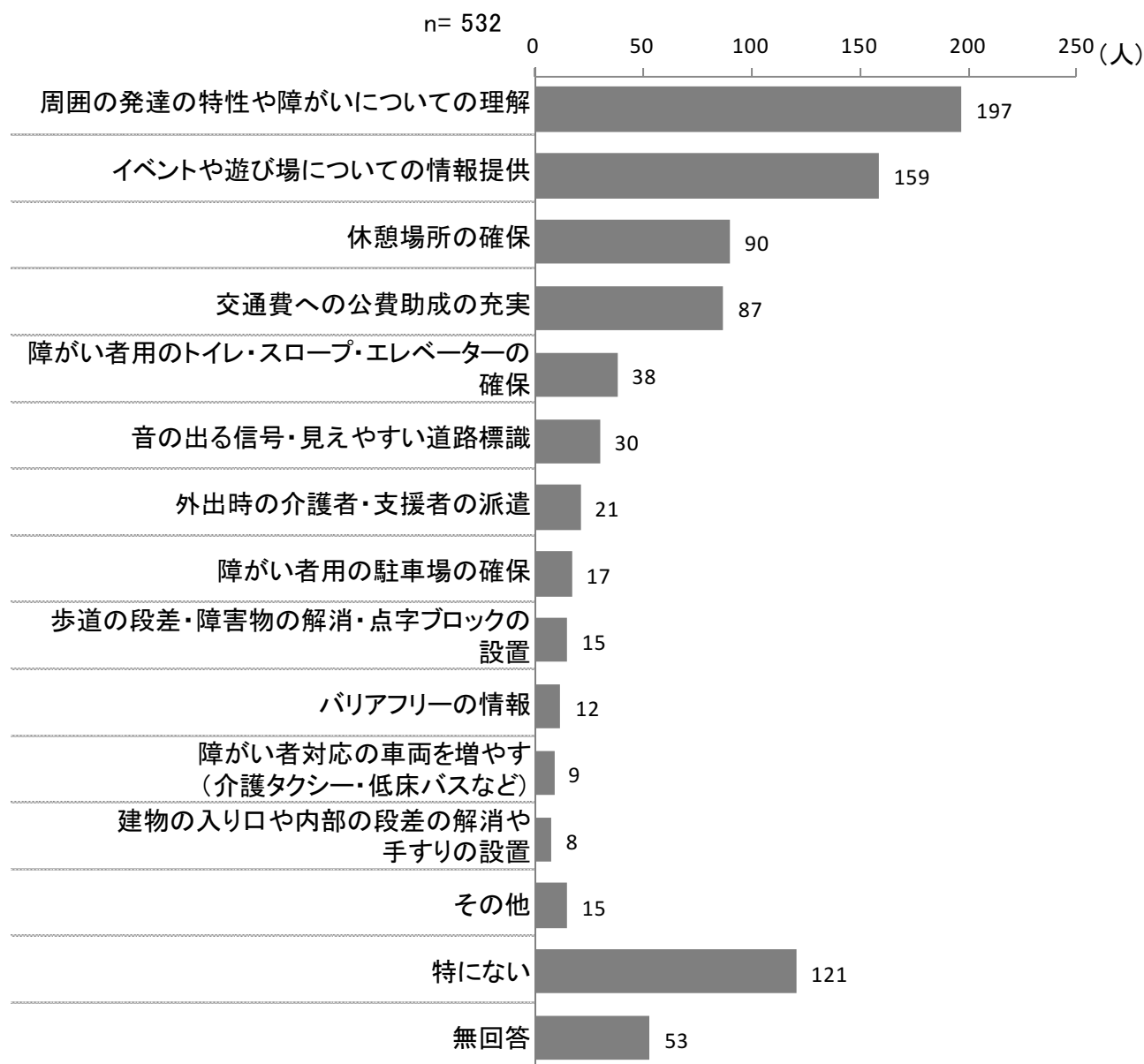
地域活動や外出に関する支援やサービスの満足度については、「満足」が7.3%、「ふつう」が72.9%、「不満」が11.8%となっています。



(4) 子どもと一緒に外出しやすくなるために必要と思うこと

問30 お子さまと一緒に外出しやすくなるために、必要と思うことは何ですか。
(あてはまるもの3つまで〇)

子どもと一緒に外出しやすくなるために必要と思うことについては、「周囲の発達の特性や障がいについての理解」が197人(37.0%)と最も多く、次いで「イベントや遊び場についての情報提供」が159人(29.9%)、「休憩場所の確保」が90人(16.9%)となっています。



■「その他」の主な内容

周囲の支援・障がい者への配慮／親へのフォロー／バス路線の充実・増便 等

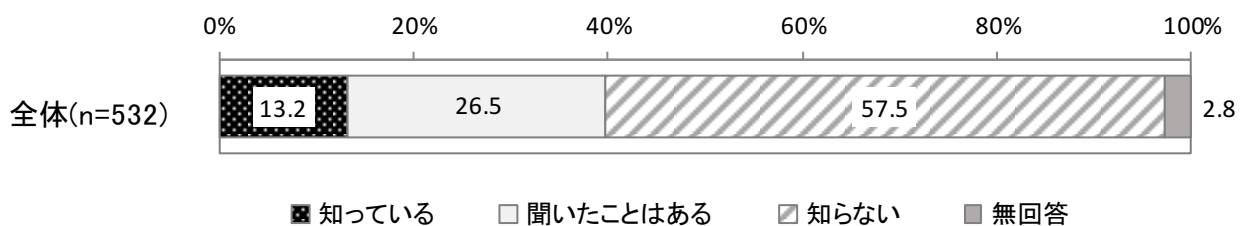
9. 差別解消について

(1) 障害者差別解消法の認知度

問31 あなた（保護者の方）は、障害者差別解消法※を知っていますか。（○は1つ）

※障害者差別解消法とは…障がいを理由とする差別の解消を推進するための法律です。平成28年4月1日から施行されました。この法律は、国や市町村、会社やお店などの事業者に対して、正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止しています。また、障がいのある人が何らかの対応を求めているときに、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。

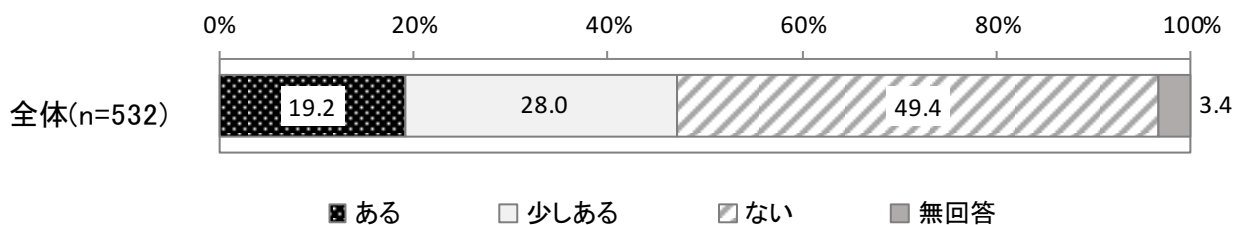
障害者差別解消法の認知度については、「知っている」が13.2%、「聞いたことはある」が26.5%となっており、これをあわせた39.7%の人が認知していることとなりますが、「知らない」と回答した57.5%を下回っています。



(2) 差別を受けたり、嫌な思いをした経験

問32 これまで発達の不安や障がいがあることによって差別を受けたり、嫌な思いをしたりしたことはありますか。（○は1つ）

発達の不安や障がいがあることによって差別を受けたり、嫌な思いをした経験については、「ある」が19.2%、「少しある」が28.0%となっており、これを合わせた半数近くの人にその経験がみられます。

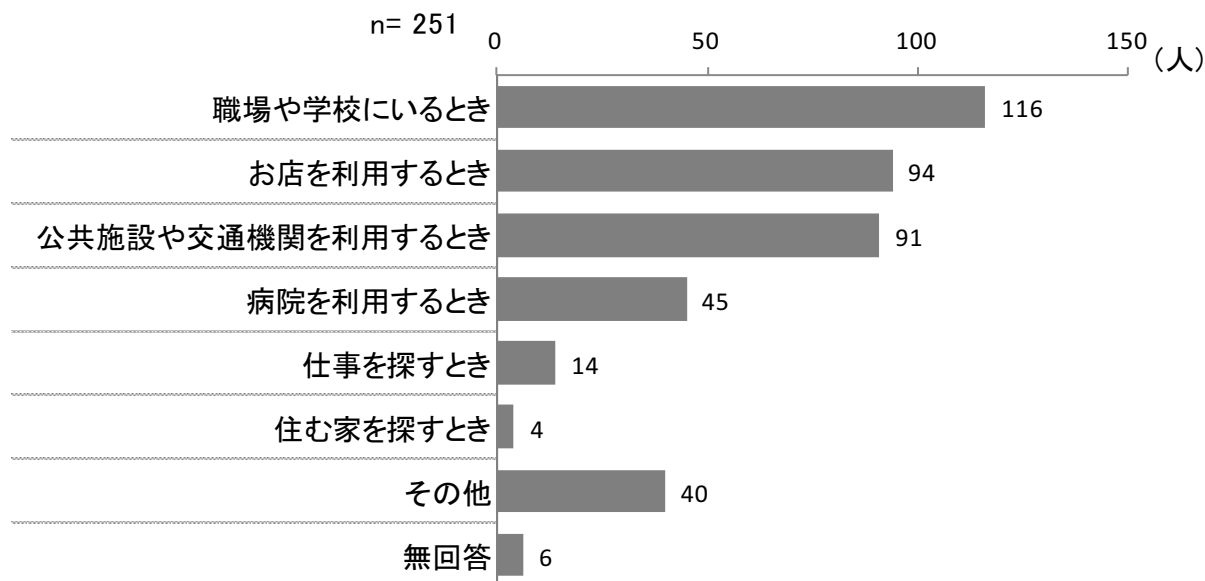


(3) 差別を受けたり、嫌な思いをしたりした場所（場面）

【問32で「ある」、または「少しある」と回答した方にお聞きします。】

問32-1 差別を受けたり、嫌な思いをしたりした場所（場面）について教えてください。
（あてはまるものすべてに○）

差別を受けたり、嫌な思いをしたりした場所（場面）は、「職場や学校にいるとき」が116人（46.2%）と最も多く、次いで「お店を利用するとき」が94人（37.5%）、「公共施設や交通機関を利用するとき」が91人（36.3%）となっています。



■「その他」の主な内容

保育園・幼稚園を探すとき／習い事・少年団・クラブ活動／公園や近所／子供同士の関わりの中で 等

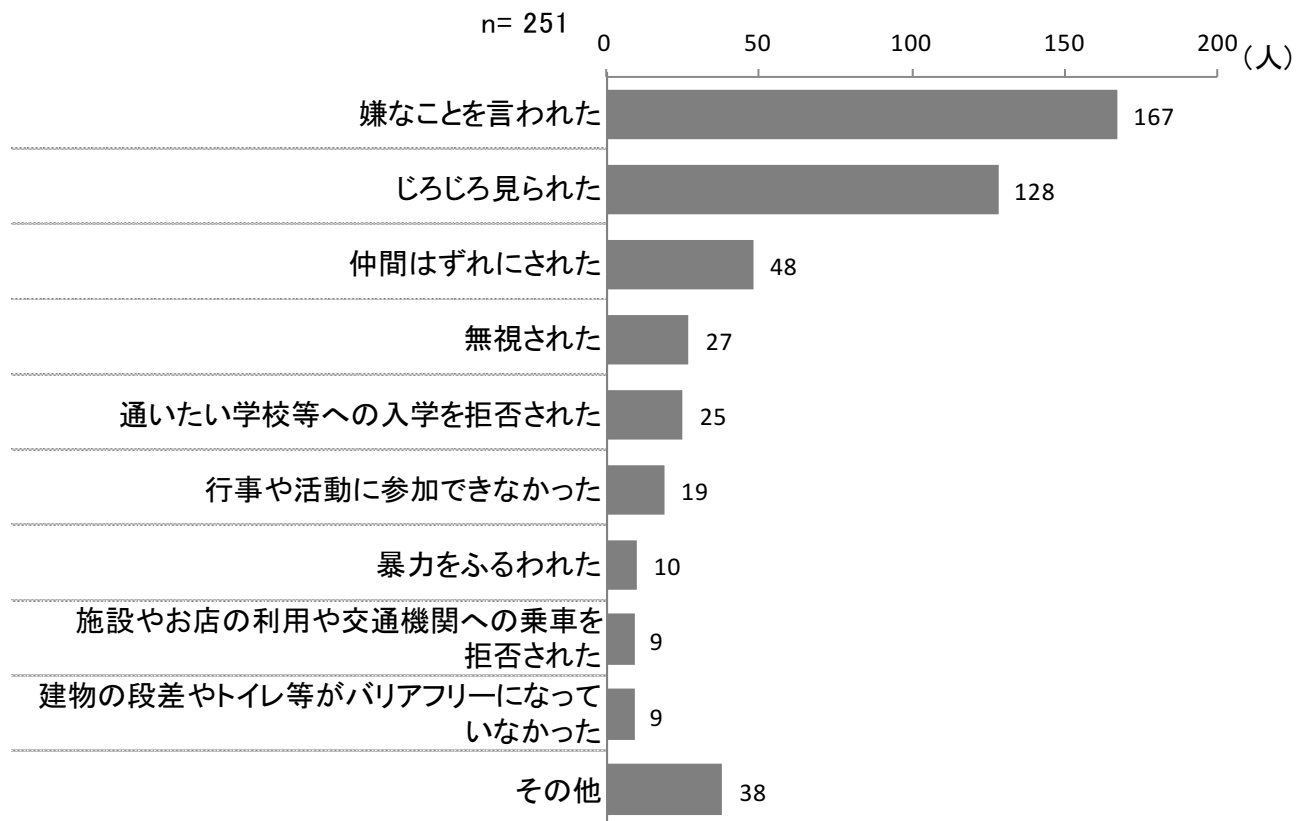
(4) 差別を受けたり、嫌な思いをした内容

【問32で「ある」、または「少しある」と回答した方にお聞きします。】

問32-2 差別を受けたり、嫌な思いをしたりしたのはどのようなことが教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

差別を受けたり、嫌な思いをした内容については、「嫌なことを言われた」が167人 (66.5%) と最も多く、次いで「じろじろ見られた」が128人 (51.0%)、「仲間はずれにされた」が48人 (19.1%) となっています。



■「その他」の主な内容

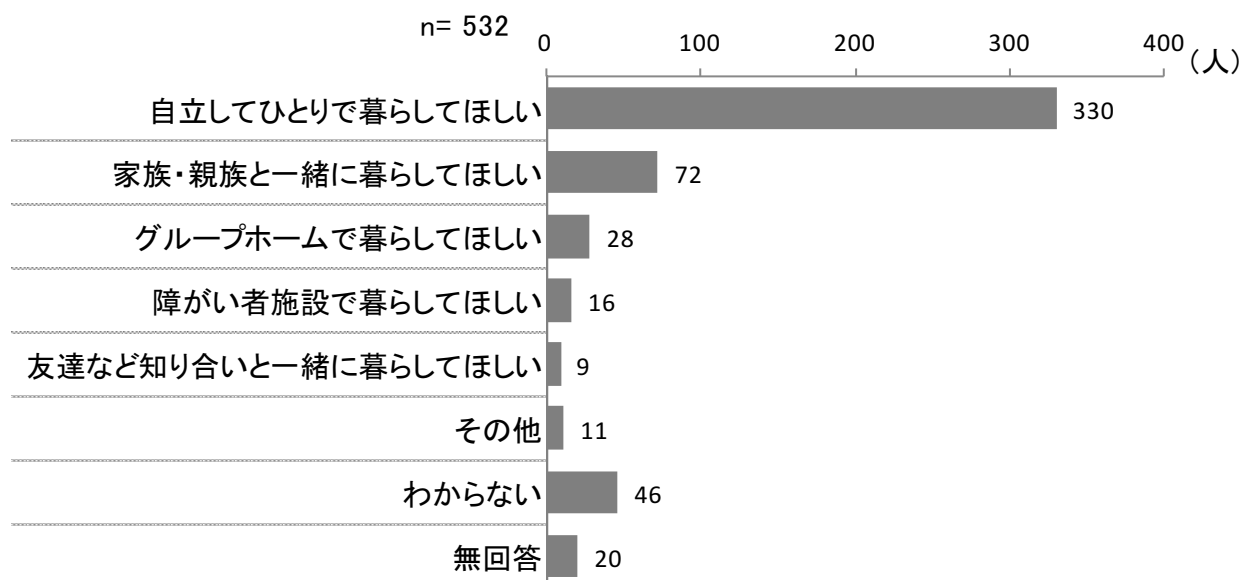
行動に対して否定される事が多かった／笑われた・からかわれた／迷惑そうにされた／役所の窓口の対応が不親切 等

10. 将来について

(1) 子どもに望む将来の暮らし方

問33 お子さまには、将来どのように暮らしてほしいですか。(〇は1つ)

子どもに望む将来の暮らし方については、「自立してひとりで暮らしてほしい」が330人(62.0%)と最も多く、次いで「家族・親族と一緒に暮らしてほしい」が72人(13.5%)、「グループホームで暮らしてほしい」が28人(5.3%)となっています。



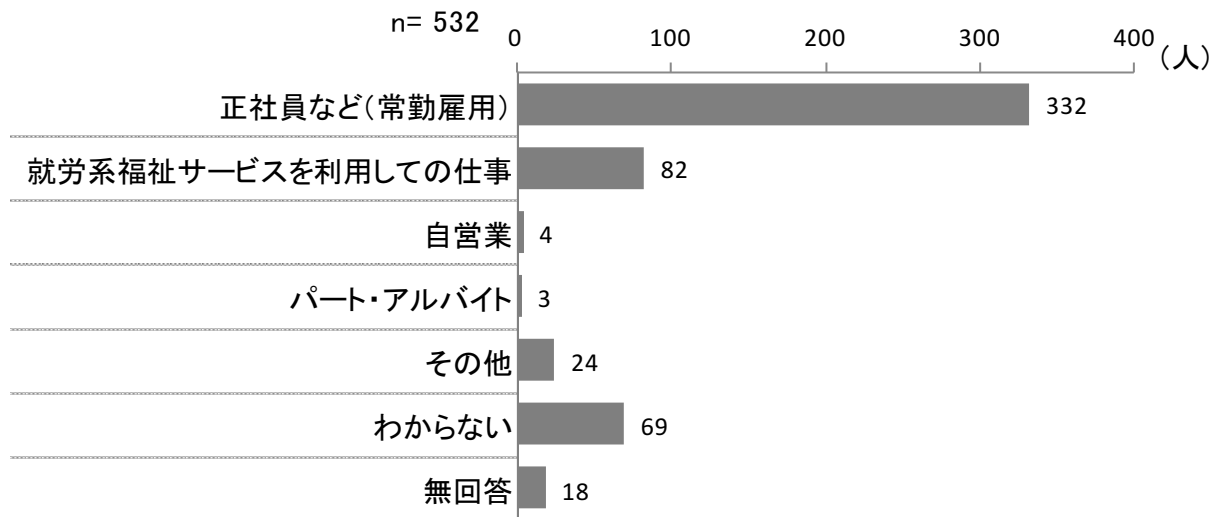
■「その他」の主な内容

本人が望む暮らし／自立を目指し生活してほしい／週末だけグループホーム 等

(2) 子どもに将来就いてほしい仕事

問34 お子さまには、将来どのような形で仕事に就いてほしいと思いますか。(〇は1つ)

子どもに将来就いてほしい仕事については、「正社員など(常勤雇用)」が332人(62.4%)と最も多く、次いで「就労系福祉サービスを利用する仕事」が82人(15.4%)となっています。



■「その他」の主な内容

本人の好きな事・やりたい事／能力を発揮することが出来る仕事／仕事には就けない 等

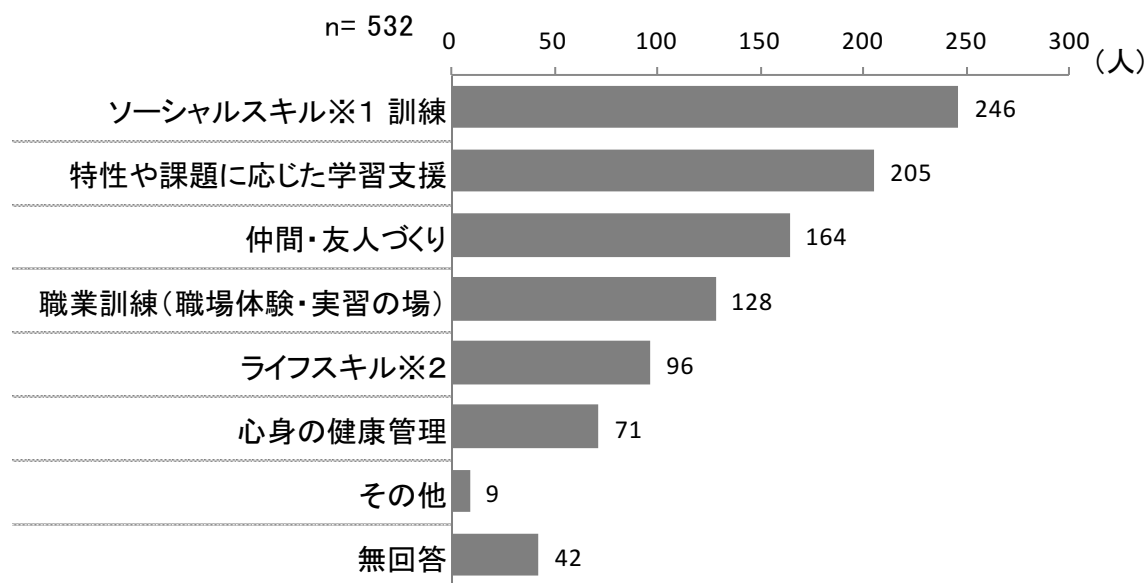
(3) 卒業後の日常生活等のために学齢期に必要な支援

問35 学校を卒業後も円滑な日常生活または社会生活を送るために、学齢期に必要なと思う支援は何ですか。(あてはまるもの2つまで○)

※1 ソーシャルスキルとは…社会生活を送る上で人との関係を確立し、円滑な人間関係を維持する術(すべ)

※2 ライフスキルとは…移動や買い物、福祉サービスの利用方法など生きていく術(すべ)

卒業後の日常生活等のために学齢期に必要な支援については、「ソーシャルスキル訓練」が246人(46.2%)と最も多く、次いで「特性や課題に応じた学習支援」が205人(38.5%)、「仲間・友人づくり」が164人(30.8%)となっています。



■「その他」の主な内容

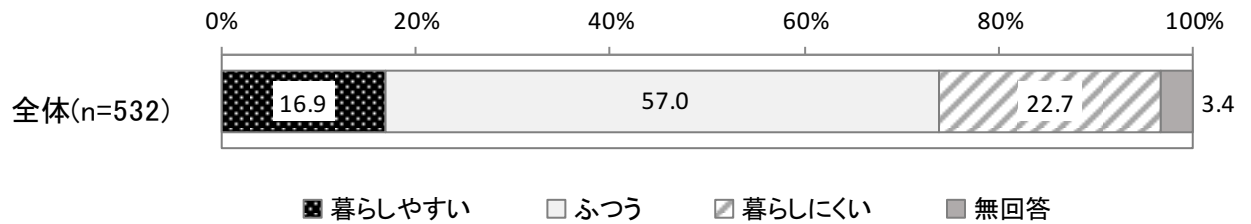
習い事や少年団など集団に所属すること／健常児と一緒にの学校で育つこと／医療との連携／小中学校の支援級に専門資格をもつ教員を配置すること／就職先を探す支援 等

11. 江別における子どもの生活について

(1) 江別のまちの暮らしやすさ

問36 江別のまちは、発達の不安や障がいのあるお子さまとその保護者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

江別のまちの暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が16.9%、「ふつう」が57.0%、「暮らしにくい」が22.7%となっています。

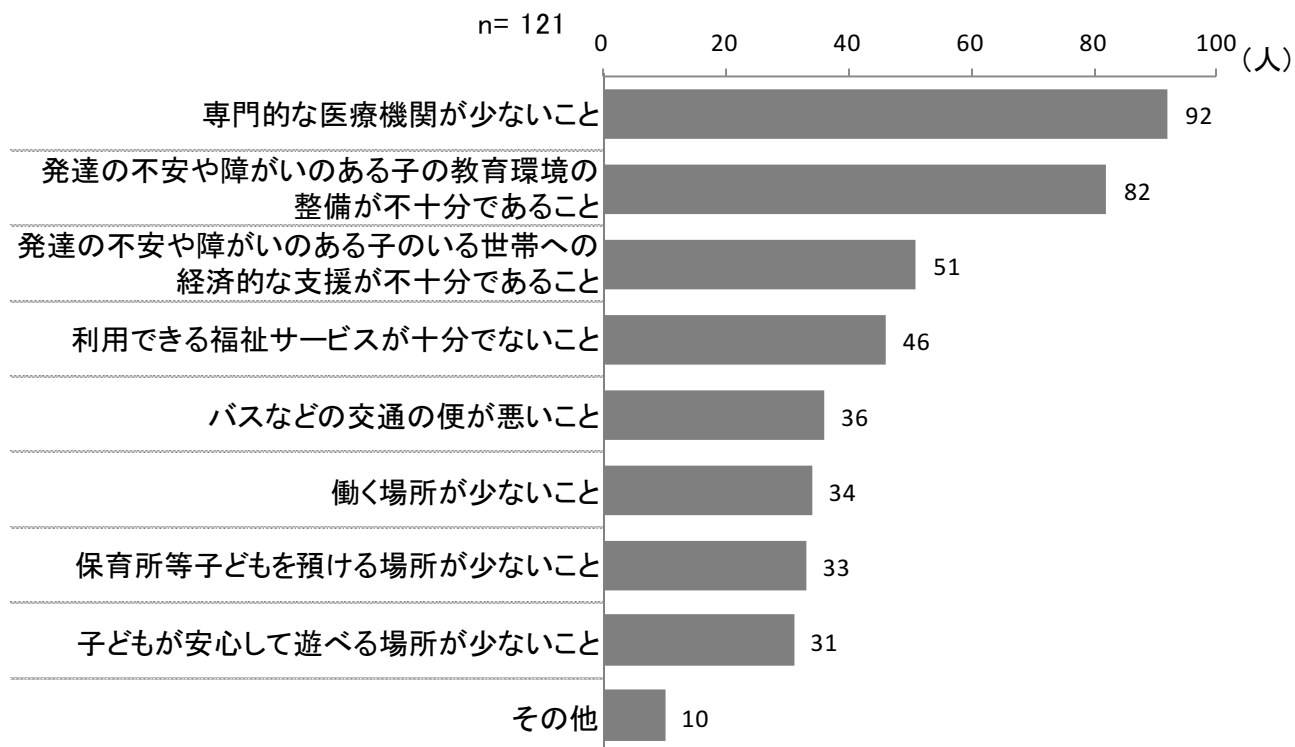


(2) 江別のまちが暮らしにくいと思う理由

【問36で、「暮らしにくい」と回答した方にお聞きします。】

問36-1 暮らしにくいと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

江別のまちが暮らしにくいと思う理由については、「専門的な医療機関が少ないこと」が92人(76.0%)と最も多く、次いで「発達の不安や障がいのある子の教育環境の整備が不十分であること」が82人(67.8%)、「発達の不安や障がいのある子のいる世帯への経済的な支援が不十分であること」が51人(42.1%)となっています。



■「その他」の主な内容

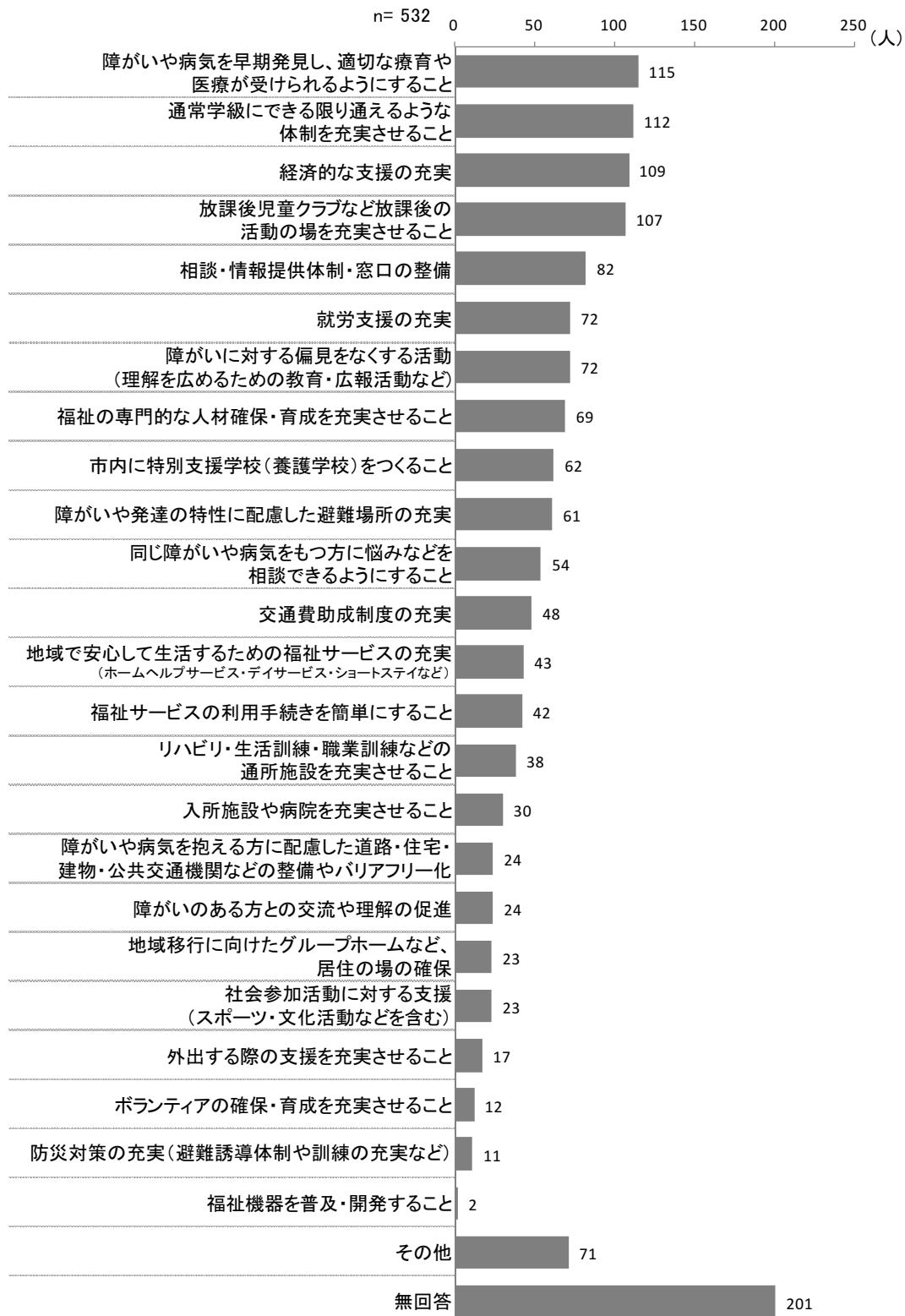
親への精神的・経済的支援が不十分／就労する場所が少ない／年配者には優しいサービスが沢山あるのに子育てに少し厳しい(助成金など) 等

12. 障がい福祉施策について

(1) 江別市が今後、力を入れるべきこと

問37 江別市が今後、力を入れるべきことは何だと思えますか。下記の各項目からあてはまると思うものを5つまで選んで○をつけてください。(あてはまるもの5つまで○)

江別市が今後、力を入れるべきことについては、「障がいや病気を早期発見し、適切な療育や医療が受けられるようにすること」が115人(21.6%)と最も多く、次いで「通常学級にできる限り通えるような体制を充実させること」が112人(21.1%)、「経済的な支援の充実」が109人(20.5%)となっています。



■「その他」の主な内容

小中学校の教職員・支援員の増員／高等養護高校／現存の施設の改修や修繕／未発見のグレーゾーンにいる子どもを出来るだけ早期に見出せる環境／中学からの学習のデイサービスを充実／診察場の充実／ 等

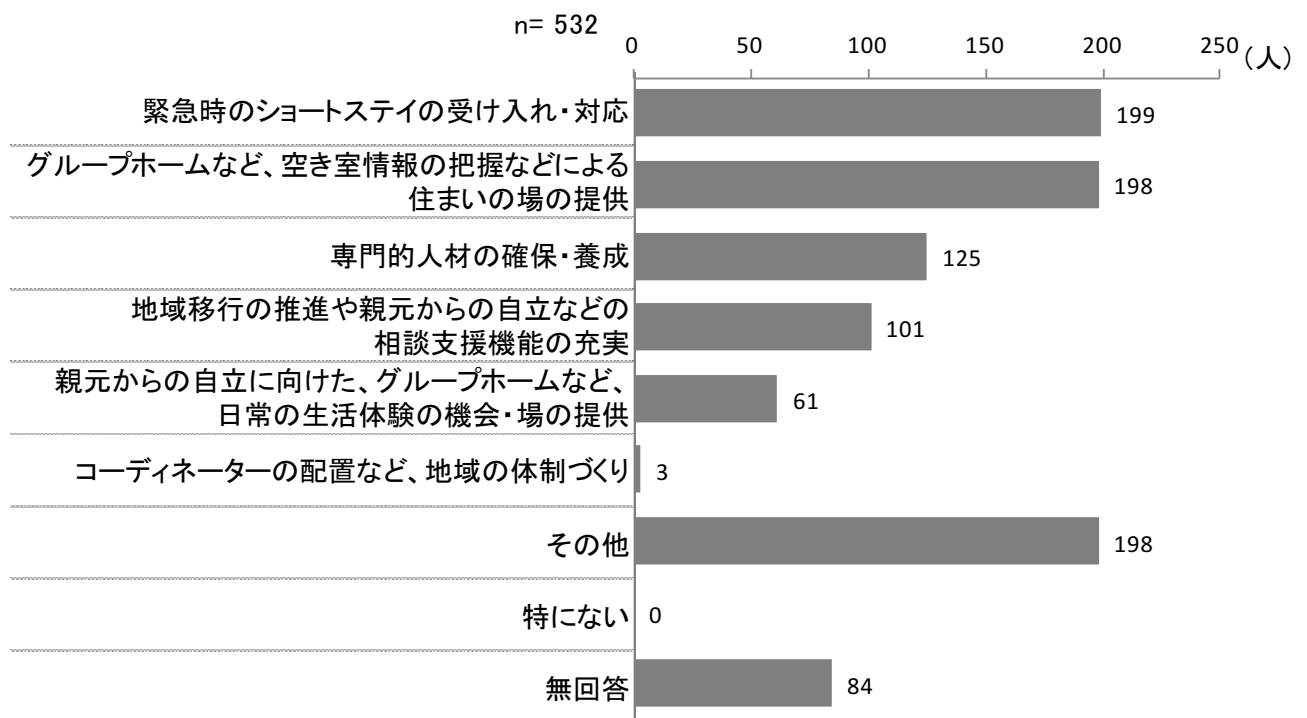
13. 地域の生活支援拠点について

(1) 江別に地域生活支援拠点ができた場合に期待する機能

問38 今後、市内に地域生活支援拠点※となる場所ができた場合、どのような機能を期待しますか。
(あてはまるもの3つまで○)

※地域生活支援拠点とは…障がい者の重度化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能や地域支援機能（相談・緊急時の受け入れ・地域体制づくりなど）を持つ場所や体制のことです。

江別に地域生活支援拠点ができた場合、どのような機能を期待するかについては、「緊急時のショートステイの受け入れ・対応」が199人（37.4%）と最も多く、次いで「グループホームなど、空き室情報の把握などによる住まいの場の提供」が198人（37.2%）、「専門的人材の確保・養成」が125人（23.5%）となっています。



■「その他」の主な内容

人材が充足し時間変更等の融通がきくようにする／就労の種類（人とかわからない）を増やす／医療ケアがあっても入居できるグループホームの設置／見守るべき対象者でもあるので、常時把握できる体制づくり 等

14. 自由記載

問38 今後の障がい児福祉施策や障害福祉サービスについて、ご本人、ご家族の意見や要望を自由にお書きください。

今後の障がい児福祉施策や障害福祉サービスについては、201人の方から404件のご意見・ご要望をいただきました。以下、15項目に整理し、各項目の主な意見・要望を抜粋、要約して掲載しました。

項目	件数
サービスに関する意見・要望	97
教育に関する意見・要望	66
療育に関する意見・要望	19
医療に関する意見・要望	31
障がいへの理解に関する意見・要望	21
差別・偏見に関する意見・要望	10
就労に関する意見・要望	16
今後・将来に関する意見・要望	20
外出に関する意見・要望	9
交流の機会に関する意見・要望	11
災害時の対応に関する意見・要望	3
関係機関の連携に関する意見・要望	15
情報提供・相談支援・窓口の整備に関する意見・要望	47
行政の対応に関する意見・要望	13
その他	26
計	404

【サービスに関する意見・要望】

- ・福祉サービスの申請はおいても、使える事業所が市内にない現状に今後のことを考えると不安です。
- ・通いたい放課後デイサービスがありますが、定員いっぱい空き待ちの状況です。他の施設をいくつか見学しましたが、症状の重いお子さんにスタッフの方がついていて、症状の軽いお子さんが放置されている状態の施設があるなど施設のレベルにばらつきがあるように感じます。
- ・学校（高等部）に行っている間は、サービスが充実していて満足しています。卒業後のサービスがほとんど使えなくなる事が理解出来ません。卒業後、進学や就職が決まった子は、いいのですが決まらない子が多い様なので、行き先が決まるまでのサービスも必要だと思います。

【教育に関する意見・要望】

- ・個別支援保育はなぜ働いている人しか入れないのでしょうか。幼稚園の入園を断られた子は5歳児まで集団の中に入れません。発達も遅れるし親も大変なのでなんとかすべきです。
- ・特別支援学級のみではなく、通常学級においても子ども達の教育に携わる全ての先生方に発達障がいを理解していただけるようになる事を望みます。
- ・支援級の生徒が支援員から声を荒げられているのを聞きました。対応は難しいとは思いますが、我が子

第3章 障がい児調査結果の詳細

がこんな扱いを受けるのかと思うと悲しくなりました。第3者による監視をしてほしいです。

- ・発達障害や敏感な子のためにも、普通級で学ぶインクルーシブ教育の充実を望みます。普通級の先生方にも基本知識として発達障害について理解していただきたい。
- ・中学校では支援員の数があまりにも少なすぎると思います。手のかかる子（外国人）につきっきりで見ただく事ができません。
- ・特別支援学校の設立を早期に希望しています。中学校卒業後、札幌や他の地域に行かないで進学できるようにしてもらいたいです。

【療育に関する意見・要望】

- ・個別療育を充実させてほしい。
- ・放課後デイサービスや療育機関の情報が少ない。利用したい人があふれかえっているので療育機関を増やしてほしいです。
- ・専門的な療育を受けたくても、市内にはそのような場所もなく、自己流で療育的なことを自宅で試みるも限界がある。専門の資格者の元で療育を受けたいです。
- ・発達に関する事を相談し「気になる点も見受けられる」とのことで、療育施設に通所していますが、今後も療育が必要であるのか、親自身では判断がつかず困っている為（施設の方に相談しても微妙な返答）、専門の方に定期的に診ていただく機会があればと思います。

【医療に関する意見・要望】

- ・発達障害の低年齢化に対して、早期発見、早期の療育が大切であると言われているが、江別に専門の病院や施設がなく、とても不便に感じる。
- ・今現在の発達の状況などを診断できる病院が江別市内にほしいです。
- ・小児精神科・精神ケア、小児心療内科、歯科、内科、耳鼻科、眼科、皮膚科、発達クリニック、など安心して通う事ができる病院や、障がいのある者でも大人になっても通える病院や、総合病院が市内にほしい（誘致してほしい）。
- ・定期受診等は札幌に通っているため、本人も親も通院が負担になっています。病院とは長いつきあいになるので、市内にあるといいなと思っています。
- ・江別市立病院での緊急（災害）時の身障児・者の受入組織的に行ってほしい。市民のための病院なのだから、受入拒否をしないでほしい。

【障がいへの理解に関する意見・要望】

- ・グレーゾーンに該当する子に対する支援や理解、協力が得られると良いと思います。子供の個性を大事にし、みんな違ってみんな良い世の中になってほしいです。
- ・障がいがあるからできないではなく1人の人間として自立、生活の質が上がることをはげましてくれる目線がほしいです。そのためには親はもちろんそこに関わる方も新しい知識やそれぞれの立場として、その人にあつた支援をする必要があると思います。本人が何を求めているか、何の可能性があるか、本気で関わってほしいです。

【差別・偏見に関する意見・要望】

- ・障がいがあるなしに関わらず住みやすい世の中になってほしい。まだまだ差別などがあると感じています。学校でもいじめ防止などやっていますが中学校の時は外と学校の中とでは子供の対応が違います。学校では普通に接してくれますが外で会うと無視をされた事もあります。
- ・「療育を利用＝障がい有」というような目で見られがちな世の中です。だから親のエゴで利用すべき子が利用を避けているように思うことが多々あります。もっと発達支援を受けることのハードルが低くなるといいと思います。全てはその子のためになるのだから、偏見などなく利用しやすい環境になればと思います。
- ・障害者が住みやすい生活とは一般の方の理解が必要。大人になってからの偏見はなかなかおらず、保育園、小学校、中学校で毎日のかわり理解の教育があり、あたりまえに平等に過ごせる環境を作らないと、社会に出てからの偏見は絶対になくならない。福祉と教育は一緒にやらないとダメだと思う。

【就労に関する意見・要望】

- ・第一線のような仕事はできませんが、人の役に立っている、と思えるような仕事をゆるくでもできるような場所が欲しいです。
- ・卒業後の就職先の確保や障がいの程度により幅広い分野での活躍の場があると良いと思います。将来約束された補助（障害年金）がはっきりしないと、援助なしの状態です立しなければならず、障害者雇用では生活していけません。
- ・今、就労支援事業所、生活介護など空きがなくなってきている様に思います。子供が何年後に卒業して就労先があるか不安です。
- ・障害者枠のある企業を巡回訪問したり、企業と当事者の間に入ってくれる仕組みが必要だと思う。企業に理解があっても、一緒に働くスタッフに全く理解がなく、大きなトラブルになっているのを見ました。一緒に働く仲間にも理解できるような何らかの仕組みが必要だと思います。
- ・今子どもは小学生ですが、やはり一番心配なのは就労と生活です。江別市内で自立し、働き、生活できる場があってほしいと願っています。

【今後・将来に関する意見・要望】

- ・親亡き後の居場所を、生まれ育った江別につくってほしいです。
- ・障がい児本人及び家族が社会的に将来、及び経済的に安心して生活できる環境に向けた行政を心よりお願いしたいです。
- ・今は、親がサポート出来るが、将来の生活が不安。早い段階から、自立に向けての特性にあった進学や職業の事を知ったり、学べたり出来る様になるとありがたいと思います。多少の障害、特性があっても生活に困らずに（金銭的にも）日常生活が送れる社会であってほしいと思います。

【外出に関する意見・要望】

- ・外出する際気軽に支援して下さる方がいると助かります。
- ・障害の軽度／重度に関係なく、暮しやすい街づくり、経済的支援がますます必要になってきていると感じています。どの街にも言えることですが、障害者が一人でも行ける、出来る街づくりを目指してほしいです。ベースを整えることで生活能力を高めてあげることができると思います。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の中、マスクをめぐって色々なトラブルが起きていますね。当たり前のようにはできないことができない人達がいることを知ってもらえたらと思います。ヘルプマークのように「事情が

第3章 障がい児調査結果の詳細

ありマスクができません」マークのようなものがあると嬉しいです。市で配布していただくことは可能でしょうか？ヘルプマークは広めるためにもランドセル、リュック（お出かけ）にはつけています。

【交流の機会に関する意見・要望】

- ・何より親の気持ちを支えるのは最初は同じ立場の仲間です。親の会、親のネットワークになんとか多くの方をつなげて下さい。救われる方がたくさんいるはず。これをできるのは行政だと思います。
- ・障がいがあるか、ないかにかかわらず、誰もが集まって楽しめるイベントや行事、習い事、楽しいこと、あそべる施設、公園を充実させてほしい。
- ・普段（平日時）発達障がい児がのびのび遊べる場が少ないように感じます。（小学以上～）児童館もほぼ無い状態でコミュニケーションが苦手な我が子のような子は友達作りもままならず自宅で遊ぶことが多く危惧しております。同じような発達障がいを持つ子が遊べる施設を作って頂けるとうれしいです。
- ・難聴の子が（乳幼児）通って手話などで学んだり遊んだり、また親どうしの交流できる場があってもよいなど思っている。手話を学びたいのは聴こえる大人だけではなく、ろう児、難聴児またその保護者も豊かなコミュニケーションをとるために必要だということを知ってほしい。

【災害時の対応に関する意見・要望】

- ・災害時の避難場所を確保してほしいです。不安時に奇声やパニック、多動のある子（小さな子はまだしも中高生だと）が大勢の人が体育館のような場所に避難しているところには絶対に居られません。障害に理解のあるスタッフやボランティアさんがいて「ここなら安心して身を寄せられる」と思える避難場を用意してほしいです。
- ・緊急時の対応。たぶん我が家は避難所に行くことが困難。車が通れない状況なら、子の体重は重いし、大人2人でも大変。こうした家庭と消防、行政とで、事前シミュレーションをすべきと思う。

【関係機関の連携に関する意見・要望】

- ・福祉と医療の連携があればより安心安全で過ごせると思います。市内に特別支援学校ができた場合、教育も合わせて必要になるかと思うので、横の繋がりを大切にしてより一層住みやすい江別市になると嬉しいです。
- ・小学校と幼児期療育の連携に際し、学校側の受け入れ体制や先生方の理解が不十分だと思います。
- ・教育、福祉、医療機関で情報を共有して学習支援、訓練等をしてほしいです。江別市民で良かったと思える環境づくりをお願いしたいです。
- ・進級するたびに引き継ぎが上手くできてないのかなと感じることがありました（学校）。
- ・子どもが安心して生きてゆけるために通所している施設、学校、家庭の情報共有がもっとスムーズに行えるようになればいいと思います。親が不安に感じていることや伝えたい情報を伝えやすい環境づくりをしてもらえたらなと思います。

【情報提供・相談支援・窓口の整備に関する意見・要望】

- ・グレーゾーンに対する対応（家族、支援内容）をわかりやすくしてほしい。どんな支援を受けたらいいのか？進学はどう選べばいいのか？医療機関を受けた方がいいのか？など。程度や判断基準がわからない。
- ・グレーゾーンの子供も支援がすぐに受けられるように、専門的な知識のある人が相談窓口を増えたらいいと思います。
- ・発達クリニックなどの医療機関の情報が乏しく敷居が高く感じてしまうので、気軽にかかれるような情報

提供や紹介などして欲しい。

- ・子供が受けることのできるであろうサービス支援、助成などの情報をどこで得たいのかわかりません。支援級に通っていますが、学校を通して「利用できる福祉の情報」などのお知らせを配布してほしいです。

【行政の対応に関する意見・要望】

- ・市の窓口で決めつけられる話し方をされる方がいました。すごく悩んで窓口へこられる方もたくさんいると思います。決めつけや思い込みで話すのはやめてほしいと思います。1人1人まったく子供達も違います。人それぞれ悩みも違います。
- ・病院の方や市役所の方、保健センターの方に心無い事をたくさん言われてきました。相談している時点で悩んでいる、困っていると思って頂いていると思いましたが、大した悩みではない様な事や、虐待を疑われた事もあります。専門的に理解をして頂ける人材は必要かと思えます。
- ・市の窓口の方はみなさん親切に対応してくれますが、内容によって窓口が違いあちこちで手続きが必要で時間がかかります。一ヶ所で済めばいいのになど毎回思います。又、他の市では受けられていた助成（交通費など）が江別では受けられない等、引越してきた時、市によって色々違うということに少しおどろきました。

【その他】

- ・発達支援を受けていた事業所の職員の方たちがたくさん退職されました。理由はわかりかねますが、子どもや保護者に対して親身に接して下さる先生方でした。利用者側だけでなく、受け入れて下さる職員の方たちの処遇についても改善されると良いなと考えております。
- ・福祉のサービスを行う人たちへの支援を手厚くすることでより良いサービスにつながるのではないのでしょうか。支援の必要な子に対し職員の数が少ないように感じます。児童発達支援について不満はありませんが、もう少し福祉、保育関係者への配慮をお願いします。
- ・様々な障がい子ども達がいるので、すべての障がい児・者をカバーすることは難しいと思います。ただ、こういった形で当事者の思いや要望、求めていることを聞いてくれる姿勢はとてありがたく思います。すべての人々が希望どおりの支援やサービスを受けられたら、それが一番ですが、少しでも市として私たち一人一人にできるだけ目や耳を向けてもらいながら、今後もよりよい策を考えてほしいと願っています。

第4章 調査票

調査票記入者

今回の調査は、調査票を身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、難病患者、障がい児の5つの区分に分けて作成し、アンケートを配布・回収しています。

調査票は、身体障がい者と難病患者の設問を統一、知的障がい者と精神障がい者の設問を統一し、障がいの区分によって一部表現を変え、「障がい者」は2種類の調査票を作成、「障がい児」は1種類の調査票を作成しました。

ここでは、「身体障がい者」と「知的障がい者」と「障がい児」に対する調査票を掲載しています。

調査票差し込み

調査票差し込み

江別市 障がい福祉計画等策定に関するアンケート調査
江別市 子どもの福祉に関するアンケート調査
集計結果報告書

令和3（2021）年3月

江別市健康福祉部障がい福祉課障がい福祉係

電 話：011-381-1031

ファックス：011-381-1073

江別市健康福祉部子育て支援室子育て支援課子ども家庭係

電 話：011-381-1408

ファックス：011-381-1070